

北洋大学紀要

第2号

(第1部)

教育研究論文

- | | | |
|---|----------|-----|
| モンゴル語の枝分かれ構造とピッチパターンの関係についての一考察
— 数詞および代名詞から始まる名詞句の場合 — | ◀ 植田尚樹 ▶ | 3 |
| 初等英語教育への提言 | ◀ 岡迫晃 ▶ | 17 |
| AIと語学教師、それぞれの役割分担 | ◀ 奥村訓代 ▶ | 27 |
| 地方経済を支える中小企業
(中小酒蔵を例に) | ◀ 瀧波慶信 ▶ | 41 |
| 中国語の複合名詞句と数量詞句のラベル付けについて | ◀ 馮一峰 ▶ | 53 |
| 若者言葉「まである」の意味機能に関する考察
— Twitterを用いた用例調査を基に — | ◀ 藤田航輝 ▶ | 69 |
| 現代日本社会での人間関係における敬語使用の考察
— 平成時代初期の小説やテレビドラマシナリオの中の会話例を通して — | ◀ 福本達也 ▶ | 81 |
| vP領域について | ◀ 福嶋剛司 ▶ | 97 |
| ユダヤ文化としてのハリウッド映画産業 | ◀ 山田利一 ▶ | 113 |
| 実践報告・研究ノート | | |
| 「SDGs」と北海道内企業・地域の実践事例 | ◀ 中田和則 ▶ | 129 |
| (第2部) 北洋大学のこの一年 | | 143 |

紀要第2号発刊に際して

まず初めに私たち北洋大学図書館は、今年も学生や地域の皆さんが知識を深めるための貴重な情報源として、また教員の皆さんが研究成果を発信するための重要な基盤として、多くの方々からご利用いただきましたことを心よりお礼申し上げます。

今年も、学生や地域の皆様には蔵書の充実やオンライン資料の充実、図書館の開館時間の拡大など、様々なサービスを提供してまいりました。また教員の皆さんには、論文検索や研究支援ツールの提供など、研究を進める上で必要な情報やツールでの支援に心掛けてまいりました。私たちは、学生の皆さんと教員の皆さんがそれぞれの目的に応じたサービスを提供し、図書館の使い勝手をより良くすることを目指しております。

そして、今年も昨年に引き続き内容のある研究紀要第2号が発行できたことは、私たちにとって非常に大きな喜びです。教員の皆さんが発信する研究成果は、学問の発展に貢献するだけでなく、学生の皆さんにとっても貴重な知識となります。私たちは、研究紀要を通じて教員の皆さんの研究成果を広く知っていただくことで、学生の皆さんの学問的な興味や知識の深化に貢献することを目指しております。

私たちは、今後も北洋大学の発展に貢献することを目指し、学生の皆さんと教員の皆さんがより快適に図書館を利用できるよう、図書館のサービスの向上に取り組んでまいります。また、新しいテクノロジーの活用や、学生と教員の皆さんからのフィードバックを積極的に取り入れることで、より使いやすく、より役立つ図書館を目指してまいります。

最後に、改めて今年度も多くの方々からご利用いただき、心より感謝申し上げます。引き続き、北洋大学図書館が皆さんの学問的な成長や研究活動に貢献できるよう、より一層努力してまいります。今後とも、北洋大学図書館をよろしく願いたします。そして、より進化した紀要第3号を次年度発行できるよう邁進したいと願っております。

令和5年3月吉日
図書館長 奥村 訓代

第 1 部：教育研究論文

モンゴル語の枝分かれ構造とピッチパターンの関係 についての一考察

— 数詞および代名詞から始まる名詞句の場合 —

植田 尚樹
北洋大学

A Study of the relationship between branching structure
and pitch pattern in Mongolian:
The cases of noun phrases beginning with a numeral or a pronoun

UETA Naoki
Hokuyo University

Abstract

In general, the syntactic branching structure of compounds and phrases affects their phonological structure. In Japanese, for example, a compound with a left-branching structure, such as [[Nyuu Yooku] Yankiisu] “New York Yankees,” is integrated into one accentual unit, while one with a right-branching structure, such as [Bosuton [Reddo Sokkusu]] “Boston Red Socks,” is divided into two accentual domains. However, it remains unclear whether the branching structure of phrases affects their pitch pattern in Mongolian. The present study, thus, investigates the relationship between the branching structure and pitch pattern of Mongolian noun phrases beginning with either a numeral or a pronoun and composed of three constituents. The acoustic analysis in this study reveals that the difference in the fundamental frequency (F_0) between the first and the second constituent of a phrase is slightly larger in phrases with a right-branching structure than those with a left-branching structure. However, this difference is not statistically significant. This result suggests that the pitch pattern in phrases is not affected by their syntactic structure or that the effect might be obscured by other factors, such as the syllable structure of each constituent.

1. はじめに

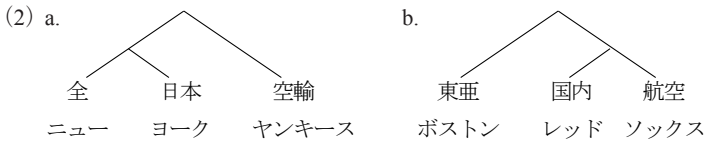
1.1 枝分かれ構造と音韻規則

言語は形態統語的・意味的な構造を持つ。形態素をはじめとする構成素は時間軸において一列に並ぶという線状性の特徴を持つが、同時に構成素は複数が結合してより高次の構成素を形成する。例えば「モンゴル人力士」という表現は、(1)のような構造を持つと考えられる。



(1) では、「モンゴル」と「人」が結びついて「モンゴル人」という構成素を形成し、そこに「力士」という要素が結びつくことで「モンゴル人力士」という構成素が出来上がっている。

3つの要素が結びつく際、(1)のように第1要素と第2要素が先に（形態統語的・意味的に）結びつく場合のほか、第2要素と第3要素が構成素をなす場合もある。前者は「左枝分かれ構造 (left-branching structure)」、後者は「右枝分かれ構造 (right-branching structure)」と呼ばれる。両者の構造と例を(2)に示す。



(窪 蘭 1995: 84 (63))

(2a) のような左枝分かれ構造と (2b) のような右枝分かれ構造では、音韻規則の適用にも差異が生じることが知られている。例えばアクセントに関して、(2a) のような左枝分かれ構造では基本的にアクセントが全体として1つにまとまり、「ニューヨークヤンキース」のようにアクセント核が1か所に現れるのに対し、(2b) のような右枝分かれ構造ではアクセントが1つにまとまらず、「ボストン レッドソックス」のようにアクセント核が2か所に現れる (窪 蘭 1995: 83)。同様の現象は英語にも見られ、右枝分かれ構造ではアクセントが1単位にまとまらないことが指摘されている (Lieberman and Prince 1977)。

上に挙げた例は全て複合語であるが、句のレベルでも左枝分かれ構造と右枝分かれ構造に音声的な差異があることが知られている。斎藤 (2006: 131) は「文法構造によってもピッチのパターンは異なる」と述べ、「[あの庭の] 梅」と「あの [庭の梅]」ではピッチが異なることを示している。

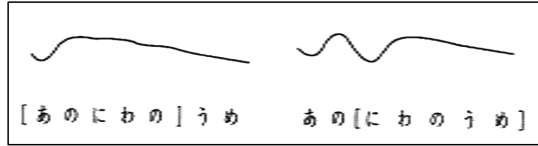


図1：句の文法構造によるピッチの違い (斎藤 2006: 131 図3)

図1より、左枝分かれ構造である「あの庭の」梅」ではイントネーション句が1つにまとまるのに対し、右枝分かれ構造である「あの」庭の梅」では途中でピッチの立て直しがあることがわかる。

1.2 モンゴル語のピッチパターン

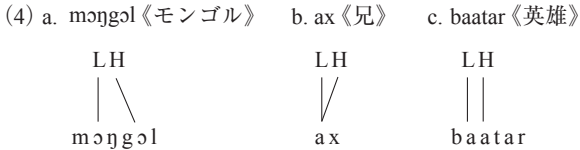
モンゴル語ハルハ方言 (以下モンゴル語) は、モンゴル国で広く話されている、いわゆる標準モンゴル語である。モンゴル語のアクセントは固定アクセントであり、語を弁別する機能がいないことは疑いないが、モンゴル語のアクセントの特徴、具体的にはストレスアクセントであるかピッチアクセントであるか、アクセントがどの位置に置かれるかなどについては、長い間統一的な見解がなく、様々な提案がなされてきた。近年ではストレスの存在が音響的に確認されないことなどを根拠に、ストレスアクセントを認めない立場が主流である (モンゴル語のアクセントのタイプに関する議論については、Svantesson et al. (2005)、Karlsson (2005)、植田 (2019) などを参照されたい)。

モンゴル語のピッチの特徴は山越 (2022: 34-35) に簡潔にまとめられており、「低くはじまり、その後高くなり、語の最終音節で低くなる」「1音節のみの単語の場合、語頭が高く、直後で低くなる」と述べられている。モンゴル語のピッチについての音韻論的研究としては、角道 (1982)、Karlsson (2005; 2007; 2014)、植田 (2019) が挙げられる。角道 (1982) は、音節ともモーラとも違った「ピッチ単位」という概念を導入し、モンゴル語のピッチアクセントを記述している。ピッチ単位は、単語を前から順に見ていき、母音の直後にピッチ単位の切れ目を挿入するという規則で設定される。なお、長母音や二重母音はVVとみなされ、2つのVの間にピッチ単位の切れ目が挿入される。語のピッチパターンは、(i) 語の最後のピッチ単位は必ず低い、(ii) 最後から2番目のピッチ単位は必ず高い、(iii) 3つ以上のピッチ単位を持つ場合、最初のピッチ単位は低い、(iv) その他のピッチ単位は高い、と記述される。具体的には (3) のようになる (Pはピッチ単位を表す。また、*はそのような構造が現れないことを表す)。

- (3) a. *P
 b. $\bar{P}|_x$ 《兄》
 c. $P|\bar{P}|P$ $a|xa|a$ 《兄-REF》 $ma|ngol|$ 《モンゴル》
 d. $P|\bar{P}\cdots\bar{P}|P$ $a|xaara|a$ 《兄-INST-REF》 $ma|ngol|ii|$ 《モンゴル-GEN》

複合語のピッチパターンに関して角道 (1982) は、 $\upsilon\text{laa}\eta\text{-baatar}$ 《ウランバートル》($\langle \upsilon\text{laa}\eta$ 《赤い》+ baatar 《英雄》) に対して、 $\upsilon\text{[laa}\eta\text{]baata[r]}$ 、 $\upsilon\text{[laa}\eta\text{]baatar}$ 、 $\upsilon\text{[laa}\eta\text{]ba[ata[r]}$ の 3 通りのピッチパターンがあること、 $\upsilon\text{ls tor}$ 《政府》($\langle \upsilon\text{ls}$ 《国家》+ tor 《行政》) は、 $\upsilon\text{[lsto}\eta\text{[r]}$ のように 1 語のように発音されるのに対して、 $\text{tsaga}\eta\eta\ \text{tolgoi}$ 《アルファベット》($\langle \text{tsaga}\eta\eta$ 《白い》+ tolgoi 《頭》) は、 $\text{tsa[ga}\eta\eta\ \text{to[}l\text{goi}$ または $\text{tsa[ga}\eta\eta\ \text{tolgoi}$ となり、1 語のように発音されない(「低高…高低」というパターンではない)ことを指摘している。しかし、このような違いがなぜ生じるかは明らかでない。また、3 つ以上の要素からなる複合語や句のピッチパターンについても明らかではない。

Karlsson (2005) は、モンゴル語に語彙ストレス (lexical stress) が無いことを明らかにしたうえで、モンゴル語の語アクセント (word accent) は語の最初の 2 モーラ²に LH (低高の上昇トーン) が結びつけられるものであり、主に語の始まりを表示する機能 (境界表示機能) を持つことを指摘した。Karlsson (2014) では上記の内容を一部修正し、語頭に結び付けられる LH トーンは語アクセントではなくアクセント句の境界 (accentual phrase boundary) を示すものであり、後語彙的 (post lexical) な機能のみを持つと主張している。語頭 LH トーンの概要を図示すると、(4) のようになる。



複合語のピッチパターンに関して、Karlsson (2005) は galt tereg 《列車》($\langle \text{galt}$ 《火の》+ tereg 《車》) が 1 つの音韻語であり、LH は 1 回しか出現しない一方、 $\upsilon\text{laa}\eta\text{-baatar}$ 《ウランバートル》($\langle \upsilon\text{laa}\eta$ 《赤い》+ baatar 《英雄》) は 2 つの音韻単位からなり、LH が 2 回出現するという例を挙げている。また、 $\text{e}\eta\text{x taiwanii}$ 《平和の》($\langle \text{e}\eta\text{x}$ 《平和な》+ taiwan 《平和》+ ii < 属格 >³) は話者によってピッチパターンが異なるという例を挙げ、複合語のアクセントに関しては詳細な研究が必要であると述べている。

さらに、Karlsson (2005; 2007; 2014) はモンゴル語のイントネーションについて詳しく述べている。Karlsson の一連の研究によると、モンゴル語では LH が句の境界を表す機能を持っており、統語的な句 (名詞句 (NP) や動詞句 (VP)) の最初に位置する語の語頭 2 モーラに LH が結びつけられる。このピッチは、Karlsson (2005) では句境界アクセント (phrase boundary accent) と名付けられ、%LH と表示されているのに対し、Karlsson (2014) では特に名前は付けられておらず、「中間句 (intermediate phrase) の左端を表示する」と説明され、-LH と表示されている。この %LH (-LH) が結びつけられる句頭の 2 モーラでは、H ピッチのピークは高められる (アップステップする)。一方、句の後方に現れる LH (Karlsson

(2005) の用語で言えば語アクセント (word accent) のピッチの山は低くなる (ダウンステップする)。以上のピッチパターンを概念的に示すと、図2のようになる。なお、図中の縦の破線は中間句 (intermediate phrase) の境界を表す。

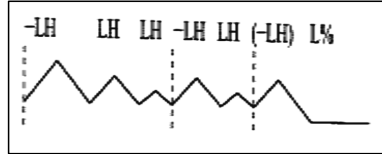


図2：モンゴル語のイントネーションの概念図 (Karlsson 2014: 195 (3))

Karlsson による一連の研究は、モンゴル語のイントネーションの全体像を明らかにした点で、非常に意義がある。しかし、句の内部構造によって LH ピッチの現れ方に差があるかどうかまでは言及されておらず、枝分かれ構造がピッチに影響を及ぼすかどうかも明らかでない。

植田 (2019) は、地名複合語、一般名詞の複合語、句 (動詞句および名詞句) のピッチパターンについて記述し、これらのピッチパターンに形態統語構造は関わっておらず、音韻構造のみが関わっていることを明らかにした。具体的には、2 要素からなる複合語および句において、要素間の結びつきの強さはピッチパターンにほとんど影響を及ぼしておらず、複合語であろうと句であろうと「前部要素が1音節語で母音が短く、コーダ子音のソノリティーが低い」という条件で LH (前部要素が相対的に低く、後部要素が相対的に高いピッチパターン) が現れやすく、そうでなければ HL が現れやすいと述べている。しかしながら、3 要素以上からなる複合語や句においても要素間の結びつきの強さがピッチパターンに影響を及ぼさないかどうかは、議論の余地がある。とりわけ、枝分かれ構造の違いは構造上の大きな違いであるため、ピッチパターンに影響を及ぼすか否かを検討する必要がある。

1.3 本稿の目的

1.1 節および 1.2 節からわかるように、一般に枝分かれ構造は音韻規則に影響を与えるが、モンゴル語のピッチパターンにおいて枝分かれ構造による影響が見られるか否かは明らかでない。これを踏まえ、本稿ではモンゴル語における枝分かれ構造とピッチパターンとの関係について、実験音声学的手法に基づいて記述する。具体的には、3つの要素からなる句に注目し、モンゴル語では左枝分かれ構造と右枝分かれ構造ではピッチパターンに差が見られるかを検証していく。以下、2 節で調査の概要を述べ、3 節で結果を示したうえで、第4 節で考察とまとめを行う。

2. 調査

2.1 データ

本調査では、データとして岡田・向井（2006 [2016]）「東京外国語大学言語モジュール：モンゴル語：文法モジュール」に公開されている音声を用いる。このモジュールでは、文法項目別に例文が用意されており、各例文の音声ダウンロードできるようになっている。この音声を利用し、モンゴル語の枝分かれ構造とピッチパターンとの関係を実証的に調査する。

具体的な手続きは以下の通りである。まず、岡田・向井（2006）にある全ての例文を確認し、3つの音韻語からなる名詞句⁴を抽出する。次に、それだけでは数が多いので、第1要素が数詞、指示代名詞、人称代名詞の属格形のいずれかであるものを選出する。そしてこれらを左枝分かれ構造を持つものと右枝分かれ構造を持つものに分類し、調査対象とした。ただし、左枝分かれ構造か右枝分かれ構造かが判然としないもの（両方の解釈ができるものも含む）は除外した。また、当該の名詞句が文末に位置するものは、文末のイントネーションがかかることによって句のピッチパターンが見えなくなる可能性が高いため、対象から除外した。その結果、調査対象となる句は、左枝分かれ構造を持つものが14、右枝分かれ構造を持つものが8となった。表1に、調査対象となる句を示す。

表1：調査対象⁵

	左枝分かれ	右枝分かれ
数詞	xɔjɔɾ jil-iij daraa 《2 年後に》 2 年-GEN 後に gʊɾwaŋ ʊdaa-giij xɔɔl 《3 回の食事》 3 回-GEN 食事 gʊɾwaŋ tsag-iij daraa 《3 時間後に》 3 時間-GEN 後に xɔjɔɾ ɛrɛθ-tei bairan-d 《2 部屋ある住居に》 2 部屋-POS 住居-LOC	naimaŋ gadaad ɔjɔvstaŋ 《8 人の留学生》 8 外国 学生
指示代名詞	en emnelg-iij sɔwilaɡč 《この病院の看護師》 この 病院-GEN 看護師 en ug-iij ʊtaɡ 《この単語の意味》 この 単語-GEN 意味 en zɔxiol-iij tʊxai 《この作品について》 この 作品-GEN ついて	ter tɔlʲ biçig 《その辞書》 その 辞典 書物 ter jaaxaŋ xuuxed 《その小さい子供》 その 小さい 子供

	左枝分かれ	右枝分かれ	
人称代名詞 (属格形)	minii mašin-ii akkəmɔljətər 《私の車のバッテリー》 私の 車-GEN バッテリー	tanai ixer duu-tei 《あなた達の双子の弟と》 ⁶ あなた達の 双子 弟-COM	
	manai aaw-iiŋ tsaliŋ 《うちの父の給料》 私達の 父-GEN 給料	manai emegtei duu 《うちの妹》 私達の 女 妹	
	tanai egč-iiŋ tsarai 《あなた達の姉の顔》 あなた達の 姉-GEN 顔	minii tɔl ¹ bičg-iiŋ 《私の辞書を》 私の 辞典 書物-ACC	
	manai jaam-nii jɔlɔɔč-id 《私達の省の運転手たち》 私達の 省-GEN 運転手-PL	tanii xadgalam-iiŋ dewter 《あなたの現金通帳》 あなたの 口座-GEN ノート	
	manai egč-iiŋ tɔxai 《うちの姉について》 私達の 姉-GEN ついて	manai eregtei duu 《うちの弟》 私達の 男 弟	
	činii ireedui-n tɔləə 《君の将来のために》 君の 将来-GEN ために		
	činii šireen deer 《君の机の上に》 君の 机 上に		

2.2 音響分析

音響分析には、音響分析ソフト praat (Boersma and Weenink 2021) を使用する。岡田・向井 (2006) から調査対象となる句を含む例文の音声データをダウンロードしたのち、WAV ファイルに変換して praat に読み込み、分析を行う。まずは、当該の名詞句を各音韻語 (3つの構成要素) に分け、さらにセグメンテーション (各分節音に区切る) を行う⁷。そして、以下の2つの観点から基本周波数 (100 Hz を基準としたセミトーン値) の測定および観察を行い、左枝分かれ構造と右枝分かれ構造でピッチパターンに差があるか検討する。

- (5) a. 各構成要素 (第1要素/第2要素/第3要素) におけるピッチのピーク時の基本周波数を測定し、句内の各構成要素間で比較する。これにより、各構成要素においてダウンステップ (およびアップステップ) がどの程度起こっているかを観察する。
- b. 第2要素の初頭母音および第3要素の初頭母音の中間点における基本周波数を測定する。そして、第1要素のピークと第2要素の初頭母音の基本周波数、および第2要素のピークと第3要素の初頭母音の基本周波数を比較する。これにより、要素間でピッチがどの程度下がるか (ピッチの谷ができるか) を観察する。

ただし、(5b) において、2つの句 (en zɔxiɔl-iiŋ tɔxai 《この作品について》および manai egč-iiŋ tɔxai 《うちの姉について》) で第3要素の初頭母音 (いずれも *v*) が無声化したため、基本周波数が測定されなかった。したがって、これらの句に関しては、第2要素と第3要素の基本周波数の差については調査対象としない (第1要素と第2要素の間の差、およびピーク時周波数については調査対象となる⁸)。

3. 結果

3.1 ピーク時基本周波数の比較

各構成要素におけるピッチのピーク時の基本周波数（100 Hz を基準としたセミトーン値）の平均値を図3に示す。また、第1要素におけるピーク時基本周波数を0としたときの、第2要素と第3要素におけるピーク時基本周波数の相対値の平均を図4に示す。

図3および図4から、左枝分かれ構造、右枝分かれ構造ともに、基本周波数のピーク値は句の後部に行くほど下がっていることが窺える。言い換えれば、句内でダウンステップが起こっていると言える。その上で左枝分かれ構造と右枝分かれ構造を比較すると、第1要素から第2要素へのピッチの下がり方が、左枝分かれ構造では緩やかなのに対し、右枝分かれ構造では急であるように見える。しかしながら、第1要素と第2要素の基本周波数の差の平均値について、左枝分かれ構造と右枝分かれ構造で違いがあるかどうかをt検定で調べたところ、5%水準で有意差は見られなかった ($p = .278$)。このことから、枝分かれ構造によってダウンステップの程度が異なるとは言えない。

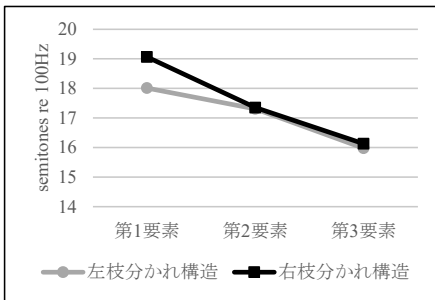


図3：ピーク時基本周波数の平均値

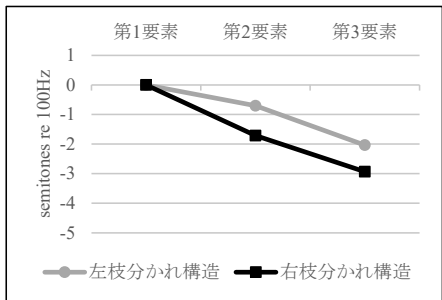


図4：ピーク時基本周波数の相対値の平均

3.2 要素間の基本周波数の谷

続いて、要素間の基本周波数の差を示す。図5は、第1要素のピーク、第2要素の初頭母音、第2要素のピーク、第3要素の初頭母音それぞれの平均基本周波数を、折れ線で繋いだものである。なお、第2要素が単音節語の場合をはじめとして、第2要素の初頭母音と第2要素のピークの基本周波数が一致することもあり、必ずしも1つの句が図5のような基本周波数の軌跡を描くとは限らないが、句のピッチパターンのイメージをつかむために1つの表にまとめている。また、図6は第1要素のピーク時基本周波数を0としたときの、第2要素初頭母音の基本周波数の相対値の平均、図7は第2要素におけるピーク時基本周波数を0としたときの、第3要素初頭母音の基本周波数の相対値の平均を示している。

図5および図6から、第1要素から第2要素にかけては、左枝分かれ構造よりも右枝分かれ構造の方が基本周波数の下降幅が大きい（ピッチの谷が深い）ように見える。この傾

向は、1.1節で見た日本語の傾向と同じであり、予測にも合致する。つまり、右枝分かれ構造では第1要素と第2要素の間に構造的な境界があるため、この位置でピッチの立て直しが起こることで第2要素の初頭でピッチが大きく下がることが予測され、本調査の結果も一見するとこの予測に合致しているように見える。しかしながら、第2要素初頭の基本周波数相対値の平均について、左枝分かれ構造と右枝分かれ構造で違いがあるかどうかをt検定で調べたところ、5%水準で有意差は見られなかった ($p = .097$)。つまり、両者の差は統計的に有意だとは言えないということになる。

同様のことが、第2要素から第3要素にかけてのピッチの下降についても当てはまる。図5および図7から、第2要素から第3要素にかけては、さきほどとは逆に、右枝分かれ構造よりも左枝分かれ構造の方が基本周波数の下降幅が大きい（ピッチの谷が深い）ように見える。ここでも、左枝分かれ構造では第2要素と第3要素の間に構造的な切れ目があるのに対し、右枝分かれ構造ではその位置に切れ目がないことを考えると、この結果は自然であるように思われる。しかしながら、第3要素初頭の基本周波数相対値の平均について、左枝分かれ構造と右枝分かれ構造で違いがあるかどうかをt検定で調べたところ、5%水準で有意差は見られなかった ($p = .252$)。ここでもやはり、両者の差は統計的に有意だとは言えない。

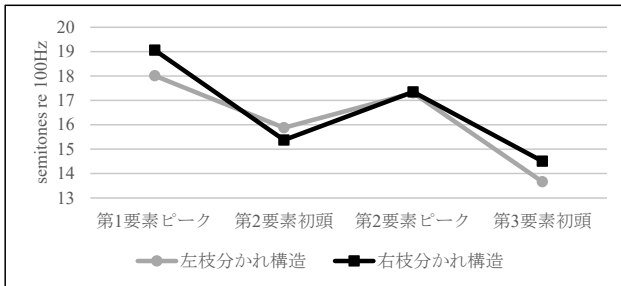


図5：各要素における基本周波数の平均値

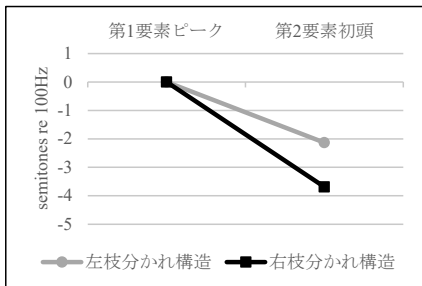


図6：第2要素初頭の基本周波数相対値の平均

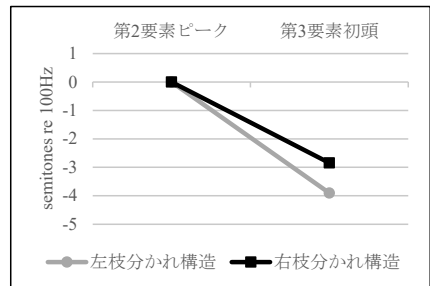


図7：第3要素初頭の基本周波数相対値の平均

3.3 具体例

3.1 節および 3.2 節では、本調査において左枝分かれ構造と右枝分かれ構造で基本周波数にわずかな違いが見られるものの、統計的に有意な差ではないことが示された。しかし、これらの結果は全調査対象の平均値の比較であり、個々の句におけるピッチの動きは明らかでない。特に、1.2 節で見たように、モンゴル語のピッチは「低くはじまり、その後高くなり、語の最終音節で低くなる」「1 音節のみの単語の場合、語頭が高く、直後で低くなる」(山越 2022: 34-35) と指摘されており、語の音節数によってピッチの動きが異なる。また、長母音や二重母音を含むものと含まないものではピッチの動きが異なる可能性があるが、そのようなピッチの動きの違いは考慮されていない。

そこで、左枝分かれ構造と右枝分かれ構造の句の中から、音節数や長母音・二重母音の位置の観点からできるだけ似た音韻構造のペアを選び、それらを比較することで、枝分かれ構造とピッチパターンに関連があるかを探る。具体的には、(6) (7) の 2 つのペアを対象とする。

- (6) a. (左枝分かれ構造) [xɔjɔr jil-iin] daraa 《[2 年] 後に》
 b. (右枝分かれ構造) naimaŋ [gadaad ɔjɔɮtaŋ] 《8 人の [外国の学生]》
- (7) a. (左枝分かれ構造) [činiɪ ʃireen] deer 《[君の机の] 上に》
 b. (右枝分かれ構造) manai [eregtei duu] 《うちの [(男の) 弟]》

(6a, b) および (7a, b) の実際のピッチパターンを図 8、図 9 に示す。

図 8 では、左枝分かれ構造の [xɔjɔr jil-iin] daraa 《[2 年] 後に》と右枝分かれ構造の naimaŋ [gadaad ɔjɔɮtaŋ] 《8 人の [外国の学生]》のピッチパターンの間で、若干の違いが観察される。前者では、第 1 要素 xɔjɔr の第 2 音節 jɔr でピッチが上昇した後、第 2 要素 jiliin、第 3 要素 daraa にかけて緩やかにピッチが下降している。それに対し後者では、第 1 要素 naimaŋ の第 2 音節 maŋ でピッチが上昇した後、第 2 要素 gadaa の初頭音節 ga (図中の矢印の位置) で一旦ピッチが急激に下降し、その後第 2 音節 daa でピッチの立て直しが起こっている。これは、統語的な切れ目がピッチに反映された結果だと推察される。言い換えると、このペアでは、枝分かれ構造の違いがピッチパターンの違いとして観察されると言える⁹。

しかし、このようなピッチパターンの差異が必ず観察されるとは限らない。図 9 では、左枝分かれ構造の [činiɪ ʃireen] deer 《[君の机の] 上に》と右枝分かれ構造の manai [eregtei duu] 《うちの [(男の) 弟]》で、特に大きなピッチパターンの差異は観察されず、いずれも第 2 要素の初頭で若干のピッチの下降があり、その後ピッチの立て直しがある。すなわち、こちらのペアでは枝分かれ構造の違いがピッチパターンの違いに反映されていないと言える。

なお、本調査では、たとえ音韻構造が類似していても、(6a, b) のように枝分かれ構造に

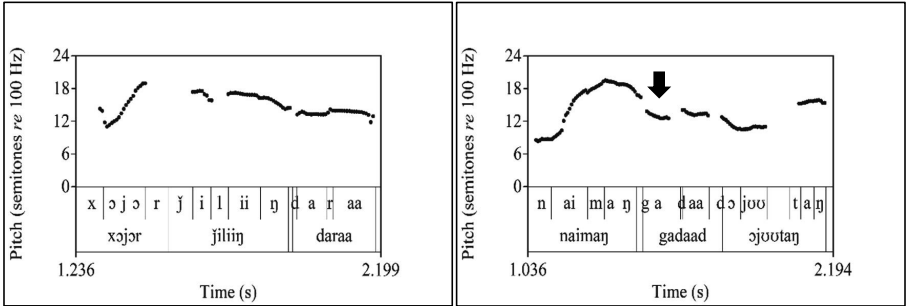


図8：[xɔjɔr jil-iij] daraa のピッチパターン（左）と naimaŋ [gadaad ɔjɔutaŋ] のピッチパターン（右）

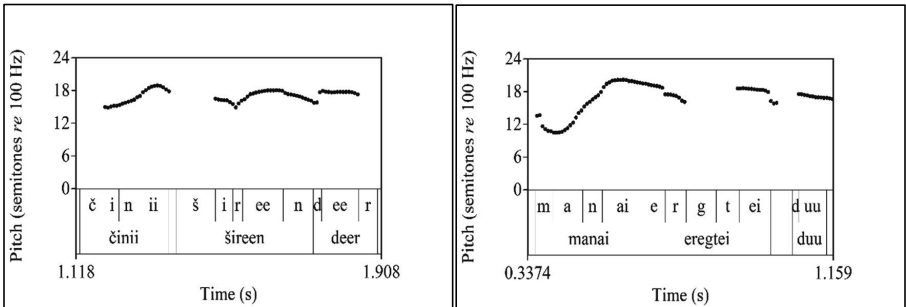


図9：[činii šireen] deer のピッチパターン（左）と manai [eregtei duu] のピッチパターン（右）

よってピッチパターンに若干の差異が観察されるペアと、(7a, b) のようにピッチパターンに差異が観察されないペアの両方が見られたが、なぜそのような違いが見られたか、現時点では明らかでない。

4. 考察とまとめ

3.1 節で見た通り、基本周波数のピーク値に注目すると、第1要素から第2要素への基本周波数の下がり方が左枝分かれ構造よりも右枝分かれ構造において急であるという結果が得られたが、この差に統計的な有意差はなく、枝分かれ構造によってダウンステップの程度が異なるとは言い切れないことが明らかとなった。また、3.2 節で見た通り、要素間の基本周波数の差に注目すると、第1要素から第2要素にかけては右枝分かれ構造において基本周波数の下降幅が大きく、逆に第2要素から第3要素にかけては左枝分かれ構造の方が基本周波数の下降幅が大きいが、いずれも統計的な有意差はなく、やはり枝分かれ構造によってピッチの下降幅に差があるとは言い切れないことが明らかになった。さらに3.3 節では、枝分かれ構造がピッチパターンの違いに反映されているような例も観察されるが、

それは一貫性のある傾向ではなく、枝分かれ構造とピッチパターンに関係がないような例も観察されることが明らかになった。

以上の結果から、2つの可能性が考えられる。1つ目は、統計的検定の結果が示す通り、モンゴル語では枝分かれ構造とピッチパターンの間に関係はないという可能性である。1.2節でも述べた通り、モンゴル語の(ピッチ)アクセントは固定アクセントであり、語を弁別する機能を持たない。言い換えれば、モンゴル語ではピッチの機能負担量が小さいということになる。3要素からなる句においても同様に、たとえ枝分かれ構造が異なっても、ピッチによって構造的差異を反映することがないということは十分にあり得る。

一方で、もう1つの可能性がある。それは、一部の調査結果が示す通り統語構造によってピッチパターンに差異はあるが、音韻構造などの要因によりその差異が覆い隠されてしまい、結果的に統計的有意差が出なかった、という可能性である。本調査はウェブ上に公開された音声を利用したものであり、音韻構造や当該名詞句の出現位置、意味役割などは統制されていない。3.3節でも触れたように、音韻構造に関して言えば、例えば語の音節数や長母音・二重母音の位置もピッチパターンに影響を及ぼすことが考えられる。今後さらなる精密な調査を行うことによって、音韻構造などの要因によるピッチパターンへの影響を排除し、改めて統語構造とピッチパターンの関係を考察できる可能性がある。この点については、今後の課題としたい。

謝辞

本稿の執筆に際し、査読者から有益なコメントを賜った。ここに記して感謝申し上げる。なお、本研究は日本学術振興会・科学研究費・基盤研究(B)(研究課題名:「疑問詞文のプロソディーに関する音声学・言語学の融合的・実証的研究」、研究代表者:田中真一、課題番号:21H00523)および日本学術振興会・科学研究費・研究活動スタート支援(研究課題名:「分節音の内部構造に関する音韻論的研究—モンゴル語・中国語・日本語の対照研究—」、研究代表者:植田尚樹、課題番号:21K20015)の助成を受けている。

略号一覧

ACC:対格 COM:共同格 GEN:属格 INST:造格 LOC:与位格 PL:複数
POS:所有 REF:再帰

注

- 1 「力士」は2つの漢語形態素「力」「士」からなっていると考えられるが、ここでは表記の簡潔さを優先し、「力士」を1つの形態素のように表示しておく。
- 2 ただしモーラを担うのは母音と成節子音のみであり、コーダ子音はモーラを担わない。
- 3 モンゴル語には、2つの類義語を複合させ、全体としてもそれぞれの語と同じ意味を表すような

複合語が多く見られる。ここに挙げた enx《平和な》+ taiwan《平和》→ enx taiwan《平和》もその例である。

- 4 純粋な名詞句のほか、最終要素が後置詞 (daraa《～後に》、deer《～の上に》、teleo《～のために》、toxai《～について》など) のものも含まれている。これらは厳密には名詞句ではないが、韻律上は最終要素が名詞である名詞句と違いはないと考えられるため、調査対象に含めている。なお、以下ではこれらも含めて「名詞句」と呼ぶ。
- 5 スペースの都合上、句頭の数詞、指示代名詞、人称代名詞 (属格形) のグロスは日本語訳としている。
- 6 モンゴル語の duu は《年下のキョウダイ》という意味であり、通常 eregtei《男》を付けて「弟」、emegtei《女》を付けて「妹」を表す。
- 7 例えば母音が連続する箇所など、厳密なセグメンテーションが難しい箇所は存在するが、その場合でもフォルマントの遷移や音声波形の情報などから分節音の境界を推定することで、セグメンテーションを行っている。
- 8 toxai では二重母音 ai のところにピッチのピークが来ることが予想されることから、たとえ *ɥ* が無声化してもピーク時周波数には影響がないと判断し、対象に入れてある。
- 9 なお、naiman [gadaad ɔjɔɔtan] で最終音節の tan のピッチが上昇しているのは、言い差しのイントネーションがかかった結果だと考えられる。

参考文献

- Boersma, Paul and David Weenink (2021) Praat: Doing phonetics by computer (ver. 6.1.50). <https://www.fon.hum.uva.nl/praat/>
- 角道正佳 (1982) 「ハルハモンゴル語のピッチアクセント」『大阪外国語大学学報』56: 31–49.
- Karlsso, Anastasia M. (2005) *Rhythm and Intonation in Halh Mongolian*. Lund: Lund University.
- Karlsso, Anastasia M. (2007) Mongolian intonation. 『音声研究』11 (2): 28–39.
- Karlsso, Anastasia M. (2014) The intonational phonology of Mongolian. In: Jun Sun-Ah (ed.) *Prosodic Typology II: The Phonology of Intonation and Phrasing*, 187–215. Oxford: Oxford University Press.
- 窪齒晴夫 (1995) 『語形成と音韻構造』くろしお出版.
- Lieberman, Mark and Alan Prince (1977) On stress and linguistic rhythm. *Linguistic Inquiry* 8: 249–336.
- 岡田和行・向井晋一 (2006) [2016改訂] 「東外大言語モジュール：モンゴル語：文法モジュール」
<http://www.coelang.tufs.ac.jp/mt/mn/gmod/steplist.html> (最終閲覧日 2022/11/30)
- 斎藤純男 (2006) 『日本語音声学入門 改訂版』三省堂.
- Svantesson, Jan-Olof, Anna Tsenedina, Anastasia M. Karlsson and Vivan Franzén (2005) *The Phonology of Mongolian*. Oxford: Oxford University Press.
- 植田尚樹 (2019) 『モンゴル語の母音——実験音声学と借用語音韻論からのアプローチ』京都大学学術出版会.
- 山越康裕 (2022) 『詳しくわかるモンゴル語文法 [新版]』白水社.

植田 尚樹 (n_ueta@hokuyo.ac.jp)

初等英語教育への提言

岡迫 晃
北洋大学

Recommendations for Elementary English Language Education

OKASAKO Akira
Hokuyo University

Abstract

There are several problems with the current draft of the Courses of Study for Elementary Schools. The objectives include speaking “exchange” and “presentation” and writing. Furthermore, it says that grammar is not taught. The first and most important step in learning a foreign language is learning vocabulary. Next, it is necessary to learn the basics of grammar. However, elementary school students are still in the process of developing their native language. The question for the future is how to teach grammar in such a difficult situation.

1. はじめに

筆者は小学生、中学生、高校生、大学生に英語教育をした経験を持っている。その経験を通して改めて実感したことは、特に中学生、高校生の大半が文法力は勿論、語彙力が不足し英文も正しく読めないということだった。当然リスニング力も低かった。その主な原因として次のようなことが考えられる。

- (1) 中学校・高等学校の初期の段階で英単語の音（発音記号も含む）と文字のルールについてほとんど指導されていない。又、適切なマニュアル（解説書）もない。
- (2) 指導出来たとしても、学習指導要領、テキストの定められた学習量を消化しなければならぬ為、時間が足りない。

以上のような理由から、以前より私は英語教育の中で、特に初等英語教育では、単語の学習、基本的な文法学習に最重点をおくべきだと考えていた。

しかし2020年4月より小学3・4年生「外国語活動」小学5・6年生「教科」として英語の授業が完全実施されることになった。これは上記に述べた、英語の発音そして単語学習の指導を徹底して行える良い機会と考える。ただ小学校学習指導要領に問題点もいくつか存在する。

この本稿では2章にその問題点3章に改善策を提言していく。

2. 初等英語教育、学習指導要領の問題点

文部科学省、小学校学習指導要領（平成29年告示）外国語活動・外国語編・第2節英語1目標に聞くこと、読むこと、話すこと「やり取り」、話すこと「発表」、書くことの5つの領域別に設定する目標の実現を目指すとする。

上の目標の中で特に問題なのが、話すこと、書くことと考える。理由は、小学生の段階ではまだ日本語の語彙数も少なく、日本語運用能力の基礎がまだ出来上がっていない。そのような状況の中、実際の検定教科書NEW HORIZON Elementary English Course (2022)を見ると過去形、wh疑問文、命令文等が入っていて旧課程の中学校1・2年の教科書と内容があまり違ってない上に、文法は教えないことになっている。鳥飼・斉藤(2020, P. 38)は文法を教えずに外国語を教えるというのは、ルールを教えないでスポーツをするものと指摘している。これでは小学生にとって、英文を理解することがかなり難しいと考える。しかも現場の教職員が言語体系の全く異なる英語を文法抜きで、授業展開するのは非常に難しい。これでは混乱を招くだけなので、あえて5・6年生では、英文法の基本といえる文型の中の1、2、3文型をこの二か年で指導することを提案する。岡迫(2010, PP. 1-3)では、英語はどんな順番で単語が並ぶのかということが大変重要であるかということを示した。鳥飼・荻谷・荻谷(2019, PP. 78-80)でも英語という別の言語体系を取り込む作業が母語の力をも磨くことに繋がる可能性があるとしている。したがって生徒が文型を学習することで、英語と日本語の語順の違い、すなわち思考パターンの違いが理解しやすくなる。そして小学校中学年3・4年生は、英単語の学習と発音指導に絞るべきと考える。

3. アルファベットの導入の仕方について

下の表のように、今まで学校ではアルファベットを普通に A～Z を一種類の読み方すなわちアルファベットの名前 (A エイ、B ビー、C スィー、D デイ) のような名前読みだけ学習して終了だった。これからは実際の単語の中で発音されるもう一つの読み方 (A ア、B ブ、C ク、D ドゥ) つまり音読みも学習する必要がある。音感の良い小学生には好都合とされる。

先ずアルファベットの名前読みは、できれば小学校を卒業するまでに発音記号を読めるようにするのが望ましい。

- ① 先ず、文字の名前である名前読みを学習後、音読みに移る。

表-1 アルファベット音読み表

アルファベット 音読み			
A	ア	N	ヌ
B	ブ	O	オ
C	ク、ス	P	プ
D	ドゥ	Q	ク
E	エ	R	ウル
F	フ	S	ス
G	グ	T	トゥ
H	フ	U	ウ、ア
I	イ	V	ヴ
J	ジュ	W	ワ
K	ク	X	クス
L	ル	Y	ヤ、ユ
M	ム	Z	ズ

- ② 音読みの学習では、日本の 50 音をローマ字で書けるように指導すると、英単語を読んだり、書いたりする際、大変役立つ。また菊池 (2016, P. 112) は英単語として聞こえるのは母音一つだけ、子音はほぼ聞こえないと指摘している。このことを小学生に知らせることにより、リスニングにもつながる。

表-2 ローマ字表

	a	l	u	e	o	ya	yu	yo
	ア a	イ i	ウ u	エ e	オ o			
k	カ ka	キ ki	ク ku	ケ ke	コ ko	キャ kya	キュ kyu	キョ kyo
g	ガ ga	ギ gi	グ gu	ゲ ge	ゴ go	ギャ gya	ギュ gyu	ギョ gyo
s	サ sa	シ shi	ス su	セ se	ソ so	シャ sya	シュ syu	ショ syo
z	ザ za	ジ ji	ズ zu	ゼ ze	ゾ zo	ジャ jya	ジュ jyu	ジョ jyo
t	タ ta	チ chi	ツ tsu	テ te	ト to	チャ cya	チュ cyu	チョ cyo
d	ダ da	ヂ ji	ヅ zu	デ de	ド do	ヂャ ja	ヂュ ju	ヂョ jo
n	ナ na	ニ ni	ヌ nu	ネ ne	ノ no	ニャ nya	ニュ nyu	ニョ nyo
h	ハ ha	ヒ hi	フ fu	ヘ he	ホ ho	ヒャ hya	ヒュ hyu	ヒョ hyo
p	パ pa	ピ pi	プ pu	ペ pe	ポ po	ピャ pya	ピュ pyu	ピョ pyo
b	バ ba	ビ bi	ブ bu	ベ be	ボ bo	ビャ bya	ビュ byu	ビョ byo
m	マ ma	ミ mi	ム mu	メ me	モ mo	ミャ mya	ミュ myu	ミョ myo
y	ヤ ya	—	ユ yu	—	ヨ yo			
r	ラ ra	リ ri	ル ru	レ re	ロ ro	リャ rya	リュ ryu	リョ ryo
w	ワ wa							
	オ o							
	ン n							
	シェ she	ジェ je	チェ che			/		
	ウィ wi	ウェ we	ウォ wo					
	ティ ti	トゥ tu	チュ thu					
	ディ di	ドゥ du	デュ dhu					
	ファ fa	フィ fi	フェ fe	フォ fo				
	ヴァ va	ヴィ vi	ヴ vu	ヴェ ve ヴォ vo				

- ㉔ ㉕の学習後、実際の単語に触れ、例外的な読み方を学びながら応用力をつけていく。又次のような読み方の必要最低限のルールも伝えなければならない。

母音 + 子音 + e

- ㉔ silent “e”

英単語には、eで終わる単語が非常に多い。基本的に発音しないが、上のような順になると (have, are を除いて) 前の母音字をアルファベットの名前読みに変わる。

write, game, take, cute, note, smoke (小学校学習指導要領より)

3.1 英単語の導入の仕方について

- ㉔ 日本語と英語の音の数をざっくり比較すると、日本語は約70個、英語は約600個。英語が音の数が豊富ということは音と意味のつながりが日本語よりずっと強いといえる。実際、小学校で学習する英単語には、耳あたりのいい単語や綺麗な響きの英単語は良い意味を持つものが存在する。逆に耳あたりの悪い単語は悪い意味を持っている場合がある。

耳あたりの良い単語

happy fantastic flower

耳当たりの悪い単語

bad angry sad

特に音感の優れた小学生に単語指導する際、まず音に注意を向けさせる指導が必要である。

- ㉔ さらにもう一点英単語の指導で留意したいのが次の点である。小学生にとって英単語はアルファベットの塊に見え、苦手意識を持ちがちである。その苦手意識を持たせないようまた漢字よりも簡単ということを印象付けるため、次のような説明を行うべきである。英単語はA～Zの26文字の中の文字の組み合わせで出来ているが、1つの単語の平均文字数は、4.5文字である。これはおそらく人間の呼吸と関係している。10文字以上が少ないのは、それが理由と考えられる。又、強い意味を持つ単語は圧倒的に5文字以内である。短い言葉の方がより早く伝わり、より心に残ると思われる。

上記のことを伝えることにより、小学生に英単語を覚えさせる際、抵抗感を持たせないように指導する。

(例)

「Run!」(逃げろ)	「Good」(よい)
「Do it!」(それをやれ)	「Great」(すごい)
「Stop!」「Freeze!」(止まれ)	「why?」(なぜ?)

3.2 実践例

3.2.1 小学生の英語指導

実際に2017年4月より2020年3月までの3か年、小学生に上記のことを常に意識した指導を行った。以下はその経過報告である。

表-3 小学生受講者の内訳

	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
2017年	1	1	3	4	3	12
2018年	0	1	2	3	4	10
2019年	0	2	3	4	3	12

2017年この時期小学校では英語の授業が行われていなかったため、2年生(1人)を除いては、3年生から6年生の混在クラスであったが、学習能力の差がほとんどなかった。この年5年生と6年生全員が英検5級を取得した、2018年2年生はいなくなったが昨年から受講した生徒は全員5級を取得し6年生の4人は4級を取得した。2019年は、受講して3年になる5、6年生は、全員が4級を取得し、残りの3、4年生は5級を取得した。

3か年を通して毎回、後藤(2016)単語学習に重点を置きなら、英検対策テキスト山田(2016)5級または4級の中に出てくる簡単な会話文を練習した。里中(2019, PP. 143-145)は会話にあっても英文を組み立てる力を支えているのは、文法の知識と指摘している。授業では文法用語を極力使わず、第2文型、第3文型の違いを日本語と英語を比較させ、語順の変化を繰り返し説明した。結局3か年学習を続けた生徒は全員4級を取得した。

3.2.2 実施日時

毎週日曜日午前中 60分

3.2.3 授業展開方法

1. 毎時間授業開始直後、アルファベットを正確に発音できるように、必ずアルファベット表-1の発音トレーニングをさせた。
2. その後単語テキスト後藤(2016)の新出単語の発音練習そして単語の綴りを見ながら音読み表-2の解説をした。

表-4 学習指導案(授業展開例)

生徒の活動	教師の活動	教材
あいさつ 1. アルファベットの発音練習(5分)	白版にAからZまで発音しながら書く。 その後、アルファベット(1文字)カードをアトランダムに見せ、発音させる。	白版(アルファベットを書く) アルファベットカード
2. 新出単語の発音 絵を見ながら教師の後にリピートする(10分)	2種類のテキストを使って発音練習絵と音と意味をリンクさせる (毎回1レッスンずつ) 3~5個の比較的短い英単語を取捨選択させる (例) bed, chair, coin, bag 英検4、5級のテキスト (毎回1レッスン、上記のように3~5個の英単語を選んで学習させる) (例) letter, money, phone, wall (英検5級より)	「ドラえもん英語図解辞典」 「英検4、5級をひとつひとつわかりやすく」
3. 単語暗記ゲーム 単語を覚える ペアで覚えた単語を発音する。 ペアで日本語と英語を交互に言い合って覚えたかチェックし合う。 (15分)	まず1回だけノートに学習した単語を書かせ、その中から好きな単語を3個選び暗記させる。 覚え方は以下の通り ①発音 ②綴り ③意味 以上の①から③を口頭で4、5回練習させる。	「ドラえもん英語図解辞典」 「英検4、5級をひとつひとつわかりやすく」
4. 会話練習会話を教師の後にリピートする。 その後生徒同士でペアワークをする (15分)	テキストの会話文のデモを行い、その後リピートする。 (例) A: I like tennis. 私は 好きです テニスが B: How about you? どうですか あなたは A: Me, too. 私もです (英検5級テキストより)	「英検4、5級をひとつひとつわかりやすく」
5. 英文の理解英文の理解を深める 最後に会話文のコーラスリーディングをする(15分)	英文の説明をする。 (例) I like tennis. 私は 好きです テニスが 前から順番に、語順通りに意味をとらせることによって日本語と英語の違いに気づかせる。	
	復習と予習の指示をして終了	

小学生にとってアルファベットの塊のように見える英単語を抵抗なく覚えさせる為、時折あえてアルファベット3~6文字からなる比較的短い英単語を集め次のような表にしたものを使った。小学生の授業の最初の単語学習の際、折に触れて使い、結果的に生徒たちは、抵抗なく英単語を覚えられるようになった。その後、長い単語も覚えられようになった。

表-5 使用した表の一部抜粋したもの

	からだ		家の中にあるもの			家族		
3文字	arm	うで	3文字	bed	ベッド	3文字	boy	男の子
	eye	目		can	缶		son	息子
	toe	つま先		key	カギ		man	男の人
4文字	bone	ほね	4文字	desk	机	4文字	baby	赤ん坊
	fist	こぶし		door	ドア		girl	女の子
	hand	手		fork	フォーク			
5文字 5文字	blood	血	5文字 5文字	chair	イス	5文字 5文字	child	子ども
	elbow	ひじ		floor	床		woman	女の人
	mouth	口		knife	ナイフ			
6文字			6文字			6文字	family	家族
							father	父
							mother	母

上記の通り、年間を通して徹底的に発音指導を行った。その後英語検定試験のテキスト山田（2016）の中の基本的な会話文を中心に口頭練習を行った。英文に関しては基本文型である1文型、2文型、3文型についてはその都度説明を行った。

英文の説明の際、前述の学習指導案で触れたように、不自然な日本語であっても、I like tennis. 私は好きです テニスを（が）のように前から意味を取っていくことを徹底した。このことにより、生徒たちは日本語と英語の語順の違いに気づくと同時に、物事を考える順番、つまり思考パターンの違いについても気づいていくことになった。

また、音は前から消えていくので、英文の意味を前からとっていくトレーニングをすることによって、リスニング能力の向上にも繋がっていくことになる。

3.2.4 アルファベットの略語について

次のこともアルファベット頭文字には、1文字で1語を表せるという便利さがある。例えば人工知能を英語では artificial intelligent、しかし社会生活では頭文字をとって AI。もはや AI が一つの単語の扱いになっている。

これらの指導を通して小学生が英語の文字と音声の美しさに気づくと同時に、単語学習

と語順に興味を持ち、ひいては英語学習そのものに意欲が持てるようになると思われる。

表-6 アルファベットの略語

ATM	Automated Teller Machine	現金自動受け入れ・支払い機
BBS	Bulletin Board system	電子掲示板
BS	Broadcasting satellite	放送衛星
CG	Computer Graphics	コンピューター・グラフィックス
DM	Direct mail	(宛名広告)ダイレクトメール
OS	Operating system	基本ソフトウェア

上記略語の元の英語は、教室では略語のみ紹介し発音だけで済みます。

4. おわりに

実際に小学生を3か年、英語の指導をして改めて分かったことは、次の2点である。1点目は、単語学習の重要性、勿論発音指導も含まれる。2点目は、やはり必要最低限の文法(特に第1、第2第3文型)の指導も必要とのことだった。このことについては、現場の声も含め関係者による学習指導要領の文法指導についても改善策の継続審議が求められる。

参考文献

- 岡迫晃 近畿大学付属東広島高等学校 研究紀要1号 2010年 『文型の書き換え指導の問題点』
 菊池健彦 泰文堂 2016 『新TOEIC テスト最強勉強法』
 後藤正一郎 ウィング編 小学館 2016年 『ドラえもん英語図解辞典』
 里中哲彦 ちくま新書 2019年 『日本人のための英語学習法シンプルで効果的な70のコツ』
 鳥飼玖美子 荻谷夏子 荻谷剛彦 ちくま新書 2019年 『ことばの教育を問いなおす 国語英語の
 現在と未来』
 鳥飼玖美子 斉藤孝 president 2020年 『小学生に(アイムバナナ)といわせる英語授業のダメダ
 メさ』
 山田暢彦 学研 2016年 『英検5級をひとつひとつわかりやすく』
 山田暢彦 学研 2016年 『英検4級をひとつひとつわかりやすく』
 東京書籍 2022年 『NEW HORIZON Elementary English Course 5』
 東京書籍 2022年 『NEW HORIZON Elementary English Course 6』外国語活動、外国国語編 文部
 科学省
 小学校学習指導要領(平成29年告示)解説

岡迫 晃 (a_okasako@hokuyo.ac.jp)

AI と語学教師、それぞれの役割分担

奥村 訓代
北洋大学

Division of Roles between AI and Language-Teacher

OKUMURA Kuniyo
Hokuyo University

Abstract

Recent developments in the uses and potential for AI have been nothing short of remarkable. The far reaching effects of AI do not only apply to travel abroad. It can even be used in life and death situations, such as disaster prevention. The concern that casualties will increase because of the lack of linguistic information has been greatly reduced by the introduction of AI. If you can use Wi-Fi, you can go to almost any country without experiencing major linguistic difficulties. There is practically no difficulty in exchanging information in an emergency even if the mother language is different. Thanks to AI, it such communication has become a very convenient. There is no doubt that AI has issued in a new age in communication. But that doesn't mean you don't need language education. AI can translate the speech input, text input and photo input of what you want to say or ask right away. The problem is that it is transient and there is no process of settlement. The more AI develops, the more the gap between translation and learning languages grows. I welcome the development of AI from the viewpoint of language education. But I would like to draw a specific analogy to some of the problems in language education that can be found if the use of AI is pursued at the expense of overall language education. In the end, it is important to consider the different, but sometimes overlapping roles of AI and language education.

はじめに

2013年9月、オックスフォード大学のマイケル・A・オズボーンが発表した「職業の未来 (The Future of Employment)」という論文は、まだ記憶に新しい。そこでは今後10年でなくなる仕事や逆に生き残る仕事がピックアップされている。その後10年近く経ち、その変化が非常に興味深い所である。確かにサービス業の窓口は音声案内や機器にとって代わり、係りの人数はかなりの減少が見受けられる。そしてその興味の本質は、単に職業的な向き不向きや必要性の有無という視点だけではなく、職業の将来性にAIがいかに関わっていくかという点である。予言通りアメリカ・サンフランシスコのタクシー会社であったイエローキャブが破産し(2015年12月 https://biz-journal.jp/2016/02/post_13663.html)、ウーバーにとって代わられた例をみても分かるように、情報が与えられないと仕事ができない時代から、情報を自分で自由にとれる時代への変化が職業体質や社会体制を変化させたといっても過言ではない。言い換えると、人的パワーが主流だった情報部分がAIにとって代わることにより、生活スタイル事態に大きな変化が生じたといえる。この傾向は、少子高齢化の中でますますマンパワー中心の情報収集の時代からAIによる情報収集の利用に移り行く変化を象徴している。そしてそれは、情報をもらう烏合の衆から、情報を使いこなす個人への変化をも意味している。

その意味で、個人がAIを自由に駆使することにより、海外旅行も特段の言語的知識どころか全くの会話力すらなくても現地で困らない時代となった。一見するとこのままでは外国語学習や言語教育、そして語学教員すらも不要になるかもしれないという心配すら出てくる。しかし、結論からいうと、当分は役割分担や棲み分けにおいてAIと人間は、担当分野や目的が明確に異なるので、急に語学教員の仕事がなくなるという心配はない。しかし、語学教師や教育には従来の方法に加えAIの発達に合わせた教育内容やカリキュラムの変更を常に考慮しなければならないのは明らかである。

AIの世界は日進月歩を辿っている。どの翻訳機も不自由を感じないまでに進歩し、時間や翻訳内容に違和感が少なくなってきた。一瞬、外国語や語学(教育)の必要性すら感じさせない勢いである。

この小論においては、AIと語学教師(ここでは特に日本語教師)との共生のあり方と役割分担を例示することを目的としている。尚、AIの使用例としては防災関係で使用されているVoiceTraを例にとりながらAIの日本語教育への利用や応用の素晴らしさを紹介しつつ、同時に日本語教師の役割分担によるAIと語学教師の棲み分けを探り、共栄共存のあり方を模索する。

1. VoiceTraの有効性

今回は、無料で精度が高く、防災でも大いに利用されている携帯アプリVoiceTraを参考に、AIの素晴らしさと、語学教育や教員の必要性について言及する。

1.1 VoiceTraの優れている点

ここでAIの代表として採用するVoiceTraに関して説明したい。VoiceTraを簡単に説明すると以下の6点に集約される。①入力（音声・文字の両方）を瞬時に希望言語に翻訳できる。②使い方が簡単（ボタンを押しながら話すだけ）。③入力内容自体を表示できるので、聴覚障害者にも視覚情報として提供できる。④入力内容に対する翻訳のみならず、その訳を同時に入力母語に再翻訳し提示するので、自分の母語での翻訳内容の正確度を理解・確認できる。⑤現時点で世界31か国語に対応できる。⑥なんといっても無料アプリである。

特徴に関して一番わかりやすい説明が<https://mihd.co.jp/news/566/>にある。その要約は以下の通りである。

VoiceTra開発の目的：インバウンドの対応における一番大きな壁が言語であるが、多言語対応の可能な人員確保は難しい。そこで国が翻訳アプリの開発に注力。そして生まれたアプリがVoiceTra（ボイストラ）である。

VoiceTraとは：国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）が開発した多言語音声翻訳アプリで、管轄は総務省である。

このアプリは個人の旅行者の試用を想定して作られた研究用アプリであり、研究目的のサーバーを使用している。

OSはiOSとAndroidの両方に対応しているが、パソコンでは利用できない。日常のあらゆる場面での使用を念頭に置いているため、スマートフォンで利用を念頭においている。

問題点：インターネットに接続されていないと使えない。つまりWi-Fi環境にないと機能しない点が大きな課題である。

対応言語（31言語）：日本語、英語、中国語（簡体字）、中国語（繁体字）、韓国語、タイ語、フランス語、インドネシア語、ベトナム語、スペイン語、ミャンマー語、アラビア語、イタリア語、ウルドゥ語、オランダ語、クメール語、シンハラ語、デンマーク語、ドイツ語、トルコ語、ネパール語、ハンガリー語、ヒンディ語、フィリピン語、ポーランド語、ポルトガル語、ポルトガル語（ブラジル）、マレー語、モンゴル語、ラーオ語、ロシア語

上記31言語中、音声入力に対応している言語は18言語：日本語、英語、中国語（簡体字）、中国語（繁体字）、韓国語、タイ語、フランス語、インドネシア語、ベトナム語、スペイン語、ミャンマー語、クメール語、ネパール語、ドイツ語、フィリピン語、ポーランド語、ポルトガル語（ブラジル）、ロシア語（ネパール語、ポーランド語以外は、音声出力にも対応）

「VoiceTraは、多くの民間企業にも採用されているが、総務省消防庁消防研究センターが救急本部向けのサービスとして「救急ボイストラ」を採用するほど精度の高い音声認識と翻訳レベルのツールである。」とも述べられている。

防災士である筆者も、基本的には防災時の多言語適応ツールとして接触したが、その精度の良さを本業である日本語教育や留学生支援、語学教育並びに多文化共生社会における生活者としての外国人支援において利用しようとしている。

1.2 VoiceTraの実力と利用例

総務省消防庁のHPでも紹介されているように、救急現場における多言語音声翻訳アプリ「救急VoiceTra」¹としてVoiceTraを利用した情報提供と避難活動が、実際に多くの都道府県で導入されている。令和4年度末までに全国726消防本部のうち677本部(93%以上)²で使用されるほどの優れたものである。(総務省 障害者白書 第4章第1節 7. 防災、防犯対策の推進)

基本的には、よく使用されると想定された定型文機能が装備されており、その性能は大変充実しており、また日常の会話内容においてもほとんどの内容は問題なく翻訳できる。

実際の使用画面は、以下の通りである。(筆者の携帯使用例)

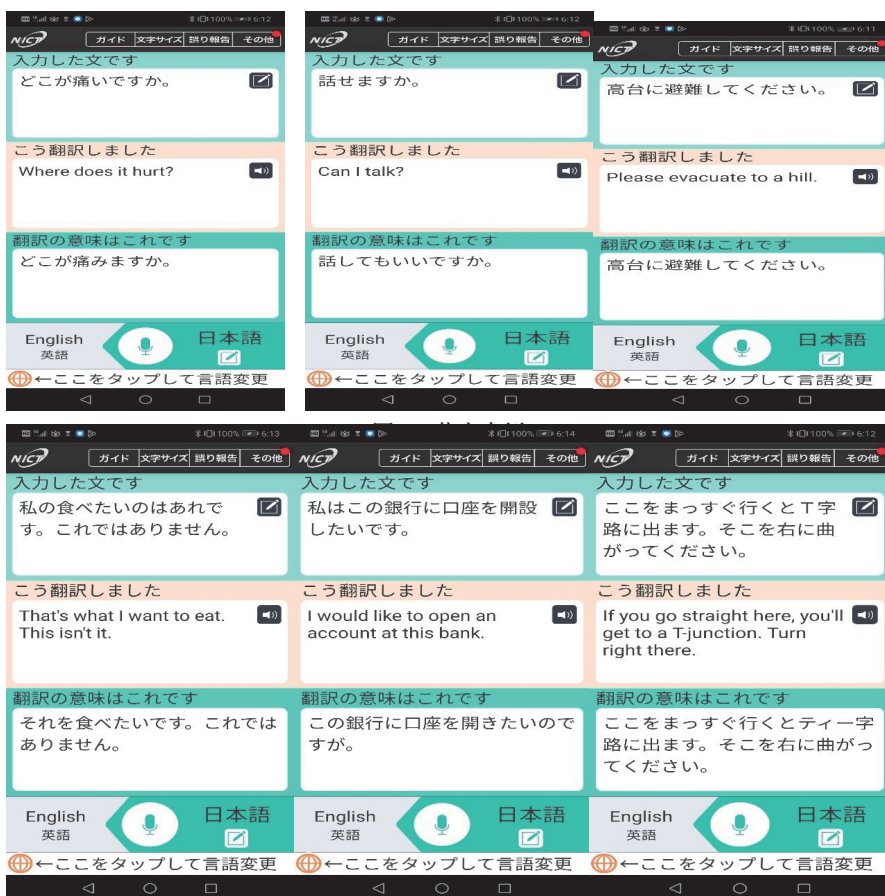


図2 日常会話例

なお、上記基本文には本来定型文が準備されており、TPO に合わせた文言が準備されている。

また、日常会話文はコミュニケーションに必要な短めの文章なら2文ほどが収録でき、翻訳の意味により自分の意図が正しく翻訳されているかを確認できるところが素晴らしい。

2. 日本語教育への利用

平成27年(2015年)4月14日の関東総合通信局³「言葉の壁を越えて「おもてなし」で、誰でもマルチリンガル」において、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて公開されたイメージ図が以下である。(https://www.soumu.go.jp/soutsu/kanto/e-komfo/27/0414kk.html 参照)



図3 東京オリンピック時のイメージ図

図のように VoiceTra を利用することにより、訪日外国人は日本語に関する特段の知識や努力を必要とせず、日本の観光地や生活を満喫することができることがイメージ化されている。実際にその能力は高く、全く日本語で不自由をすることなく日本人とのコミュニケーションをとることができた。

2.1 日本語教育の視点から

それでは語学教育自体が今後、学習項目として不要なのではないかという疑問や不安に関して私論を述べてみたい。ここでは日本語教育の視点から、その目的や基本的スタンス

の違いについて観察してみたい。資料としては、よく知られている『みんなの日本語』16課の基本文型を例にとりながらAI（前述の VoiceTra）の凄さと問題点について述べるとともに日本語教育（教師）の仕事や目的を中心にその棲み分けを図ってみたい。

例1：デパートへ行って、靴を買います。（みんなの日本語 16 課 基本文型 1）

A 日本語 → 英語訳 → 英語の日本語訳（VoiveTra 以下 VT と記す）

- ① デパートへ行って靴を買います。
- ② → I'll go to a department store and buy shoes.
- ③ → デパートへ行って靴を買います。

B 日本語 → 中国訳 → 中国語の日本語訳（VT）

- ① デパートへ行って靴を買います。
- ② → 去百貨店買靴
- ③ → デパートへ靴を買いに行きます。

C 日本語 → 英語訳 → 英語の日本語訳（VT）

- ① デパートへ靴を買いに行きます。
- ② → I'm going to a department store to buy shoes.
- ③ → デパートへ靴を買いに行きます。

この例に見るように、同じ日本語を音声入力しても英語の日本語訳（A ③）と中国語の日本語学（B ③）を見ると2か所の違いに気づく。まず1か所目が、中国語訳である。

cf 1. A ① デパートへ行って靴を買います。VS B ③ デパートへ靴を買いに行きます。この課（みんなの日本語 16 課）は、「動詞+動詞」の学習箇所であり、動詞の「-て形」の学習が目的であるため、上記の中国語訳では意味は理解できるが「-て形」の説明にはならない。

また同様に英語文においては、

cf 2. A ② I'll going to…。 VS C ② I'm going to…。のように、cf 1. 同様意味は理解できるが、話者の意思の有無による感情の違いは、うまく表現できていない。単なる旅行や緊急時の意思疎通時においては問題視しなくともよいが、語学学習の視点からするとともに大きな相違点であり、こういう点が教師ならではの指導ポイントとなる。

例2：～は・・・が（形容詞）です。

D 日本語 → 英語訳 → 英語の日本語訳（VT）

- ① 象は 鼻が 長い。
- ② → Elephants have long noses.

③ → 象は 鼻が 長い。

E 日本語 → 中国語 → 中国語の日本語訳 (VT)

- ① 象は 鼻が 長い
 ② → 大象的鼻子很長。
 ③ → 象の鼻は長いです。

F 中国語 → 日本語 → 日本語の訳 (VT)

- ① 大象的鼻子很長
 ② → 象の鼻は長いです。
 ③ → 大象的鼻子很長

と例2の文型においても英語表現も中国語表現も日本語では「～は…が+形容詞」とする文型が、それぞれの訳では英語は英語的慣習表現となり、中国語訳では「～の…は+形容詞」の別文型となってしまっている。勿論、(翻訳的・意味的)には何も問題ではないが、ここで求められている学習項目としての日本語文型が、それぞれの国の言語表現となり日本語文型の導入や説明にはなっていないことがわかる。

(※みんなの日本語 初級1 翻訳・文法解説 中国語版 2001年第4刷の解説では、最初の名詞「は」は人や物の属性などの「主題」を表し、二つ目の名詞「が」は事物の状態などを表す形容詞の「主語」となる。筆者による意訳)

2.2 2章のまとめ

つまり、翻訳機 (AI) は、意味の伝達には非常に有効であるが、翻訳として意味の通じる分の生成ができればよいというのが主目的である。コミュニケーションとして意味が通じる、意思疎通ができれば文法や使い方を論議する必要はなく。

一方言語学習は、言語を理解する、つまり日本語で言えば「てにをは」の違いによる主体や目的、意図や方向、話者と聞き手の人間関係などをより明確にする学問である点が、AIとは大きく異なっている。そしてその異なる点の一つ一つ埋めていくのが語学教育や語学教師の仕事であり、AIとの大きな目的の違いであり、役割分担となりうる部分であることが理解できる。

3. 今後増加する外国人の日本語支援での AI と日本語教育の棲み分け

少子高齢化の日本の課題は、①いかに若人を海外から来日・定着して貰えるか ②経済の発展と維持を担ってもらえるかである。そのためには、労働者としてのマンパワーと、高度外国人としてのマンパワーと両方を必要としている。現在 300 万人近い在留外国人の内訳とその人々に対する共生のあり方を、2019年6月28日に施行された「日本語教育の

推進に関する法律」並びに2022年11月29日に公表された文化庁の「地域における日本語教育の在り方について」⁴を参照に、日常生活言語としての日本語に対するAIと日本語教育の関係を担当者や環境も踏まえて考察したい。

3.1 日本にいる外国人はどんな人で、どれくらいの人が日本語で不自由しているのか

図4と図5から、2021年(令和3年)6月段階では、前年度に比べコロナの影響で減っているとはいえ日本には282万人以上の在留外国人がおり、そのうちの172万人以上が労働者であることがわかる。

特に図5においては、人数の多い順から「身分に基づく在留資格」を筆頭に、「技能実習生」、「資格外活動」つまり留学生、「専門的・技術的分野」、「特定活動」の順で、2019年からは留学生数よりも技能実習生の数のほうが多いことが注目に値する。ここで問題になるのが、それぞれの在留資格におけるコミュニケーション能力としての日本語力である。前述のように、旅行や買い物ならAIを使い、その研究成果と効能を利用し十分に用が足りると思われる。仕事で四六時中翻訳機を持ちながらでは、特に力仕事や両手を使用する仕事には不向きであり、非生産的となる。

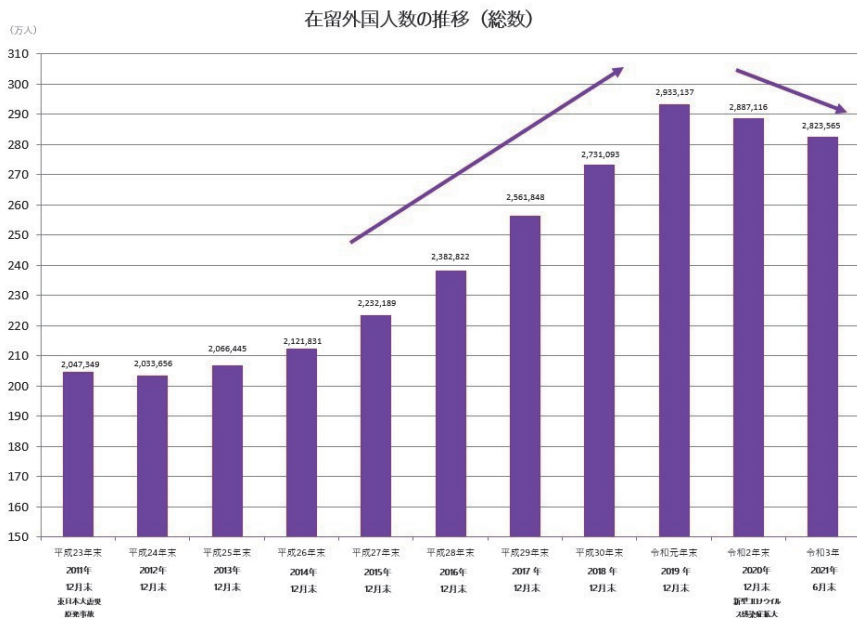


図4(出典:出入国管理庁令和3年6月末データによる)

図1-1 在留資格別外国人労働者数の推移

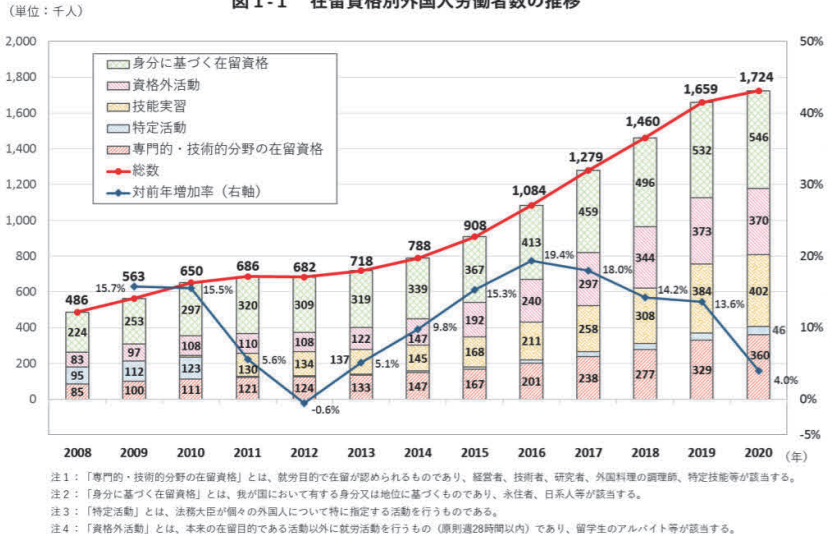


図5 (出典：出入国管理庁令和3年6月末データによる)

となると、労働者にも十分な日本語力が必要となる。果たしてそれが、どの程度の日本語力を意味しているかは大きな課題の一つであるが、明確でないのも確かである。この小論では、一つの判断基準として文化庁が2022年11月29日に発表した「地域における日本語教育の在り方について」を一つの指針として生活者としての外国人の日常生活に必要な日本語力を再考してみたい。

3.2 文化庁の求める日本語力

ここでは、2022年11月29日に発表された「地域における日本語教育の在り方について」よりいくつかの文章を抜粋しながらポイントを押さえない。

まずP19には、

「在留外国人に対する基礎調査(令和3年度)調査結果報告書」によると、在留外国人の国籍・地域別の日本語能力では、近年増加傾向にある非漢字圏の出身者については「話す・聞く」「読む」いずれも、いわゆる漢字圏の出身者と比較し、低い傾向が見られた。そして、日本語能力が低い者ほど、生活環境全般の満足度について、「どちらかといえば満足していない」や「満足していない」と回答する割合が高くなる傾向であった。」

同様に、同じページに

「また、日本語教育に関する経済的な問題を除くと、都合のよい時間帯に利用できる日本語教室等がないこと、日本語教育に関する情報が少ないこと、自分のレベルに合った日本語教育が受けられないこと、近くに日本語教育機関がないことといった、日本語教育へのアクセスに関する課題を、多くの在留外国人が回答している。日本語能力の低い在留外国人ほど日本語学習に困難を感じ、日本語の学習をしていない者の割合が高くなる傾向にある。」

と、日本語力の低い学習者を分析している。同様に P20 においては、

「このほか、日本・東京商工会議所が実施した「多様な人材の活躍に関する調査 19」では、特定技能外国人の受入れ経験及び関心があると回答した企業のうち、特定技能が円滑に機能するために政府が実施すべき取組等は、「外国人材に対する日本語教育の充実」が最も多く、47.0% となり、約半数の企業が日本語教育の取組・支援を希望しているというデータ 20 もある。」

と記しているように、2 番目に多い技能実習生の日本語力不足を指摘している。一方で P26 においては、

「日本語教育小委員会（第 8 期）では、「生活者としての外国人」が日本語で行うことができるようになることが期待される項目を「生活上の行為」として整理し、この内容をもとに、その必要性を探索的に日本人・外国人に尋ねるアンケート調査が行われ、その結果、必要性が高いと評価された生活上の行為について具体的な事例（「生活上の行為の事例」）を選び出し、必要に応じて追加すべき事例を記述した。(01) 医療機関で治療を受ける (02) 薬を利用する (03) 健康に気を付ける (04) 事故に備え、対応する (05) 災害に備え、対応する (06) 住居を確保する (07) 住居を確保する (08) 住環境を整える (09) 住居を管理する (10) 物品購入・サービスを利用する (11) 物品購入・サービスを利用する (12) お金を管理する (13) 金融機関を利用する (14) 電車、バス、飛行機、船等を利用する (15) タクシーを利用する (16) 徒歩で移動する (17) 自転車を利用する (18) 車・オートバイ等を使用する (19) 出産に備える (20) 出産し育児をする (21) 家庭で子供を育てる (22) 地域で子供を育てる (23) 幼稚園・保育所で教育・保育を受けさせる (24) 小・中・高等学校で教育を受けさせる (25) 特別支援教育を受けさせる (26) 就職活動をする (27) 労働条件について理解する (28) 職場の安全を確保する (29) 個別業務を遂行する (30) 協働業務を遂行する (31) 勤務評価に対応する (32) 職業能力の開発を行う (33) 事務機器等を利用する (34) 職場の人間関係を円滑にする (35)

人と付き合う (32) 異文化を理解する (33) 住民としての手続をする (34) 住民としてのマナーを守る 16 地域社会に参加する (35) 地域社会に参加する (36) 福祉等のサービスを利用する (37) 社会保険を利用する 18 人生設計をする (38) 生活設計をする (39) 学習する (40) 学習を管理する (41) 学習方法を身に付ける (42) 日本語を学習する (43) 日本について理解する 20 余暇を楽しむ (44) 余暇を楽しむ (45) 郵便・宅配便を利用する (46) インターネットを利用する (47) 電話・ファクシミリを利用する 22 マスメディアを利用する (48) マスメディア等を利用する。」

とし、また続く P41 では、

「地域における日本語教育の教育内容として、「日本語教育の参照枠」を踏まえた「生活Cando」を参照しつつ、地域の実情に応じた日本語教育プログラムを設計することが必要である。その際、自立した言語使用者である B1 レベル以上を到達目標とした 320～520 時間程度の 1 年～2 年のコースカリキュラムが設計されることが望ましい。」

とあるように、特定技能等で既に日本語能力試験の N4 能力をもって日本に来る外国人を視野に入れ、文化庁は「生活 can-do」の CEFR 基準でいう A2 をもっていることを前提にし、生活者としての外国人に CEFR 中級である B1 を到達目標としていることがわかる。これは専門家が 500 時間をかけて到達できるレベルなので、地域ボランティアだけでは不可能に近いこともわかる。

その点、3 番目に多い留学生だけは、心配不要である。日本語学校で N2 か N1 を取得してから専門学校なり大学へと進学しているからである。(つまり日本語学習に、それだけの時間をかけている。) が、一方で労働を主目的とする人々は、その学習時間や能力に幅があり、特に技能実習生には最低限の日本語学習時間しか与えられていない場合が多いにも関わらず、近年はその数が留学生以上に増加している点に対応の必要性を感じている。

おまけに従来巷で考えられていた N4 レベルや「やさしい日本語」レベル、つまり CEFR 基準の A2 レベルから、今回の文化庁が生活者としての外国人の目安にしている CEFR 基準の B1 (学習時間 500 時間) を想定しているという事実には驚くのは筆者だけではない。

文化庁自身が「地域における日本語教育の在り方について」で述べているように、学習時間の確保が難しく、日本語力の低い学習者ほど満足度も低いというデータに基づけば、諸外国が行っている移民のための言語習得時間としての 500 時間の確保を保障しなければならないだろう。

そのための「日本語教育推進に関する法律」であり、その実施基準を今、国(文化庁)が決め、各都道府県におろし、各市町村に十分な予算が付き、外国人集住地域のみならず散在地域においても十分な日本語教育が日本中の隅々まで浸透し、滞在する、あるいは生活する人々の日本語によるコミュニケーションが、よりスムーズとなり不便がなくなり満足

感や生活レベル向上に役立てばと願うばかりである。

そのためには、市町村との連携を背景にしながら、日本語教育専門家と地域日本語ボランティアとの連携もさることながら、AIとの連携を視野に入れたカリキュラムやシラバスの構築による、短時間で到達度目標に辿りつくための方策や実施プランを明示する「CEFR用バイパス日本語」の必要性を感じている。このCEFR用バイパス日本語に関しては、別の機会にゆっくりと模索したい。

おわりに

AIの発達は目覚ましく、簡単な仕事を人間より正確に早く、しかも文句の一つも言わないで黙々と24時間働き続けることができ、その効果は大きい。翻訳においてもその正確さとスピードは人間以上であるといえる。グローバル化と少子高齢化が進む世界においては、ますます多くの職場や環境でAIが中心となることは間違いない。そして、特に観光や簡単な意思疎通の会話には、確かに語学に、無駄な労力・時間・お金をかける必要もなくなるだろう。少し前の外国映画が、すぐに翻訳されて吹き替えとして母語で楽しめる我々の時代の喜びに似た観桜が、今やそのタイムラグさえなく世界に同時通訳網が張り巡らされており、どこにいてもどんな環境でも誰とでもコミュニケーションが容易に楽しめる時代となっている。

しかし、語学を専門に学ぼうとするとき、あるいは自分の感情や意図をより正確に表現しようとするときは、AI翻訳の限界を知り、自分で訂正・調整しなければならない。そこにこそ各自のアイデンティティが存在するからだ。そのような意味を込め語学教師は、より一層感性を研ぎ澄まし、AIに寄り添いながら現実に出される言葉との乖離を説明しなければならない。特に日本語のようなハイ・コンテクスト言語においては、その使命は他の言語より重要で大切となることを記述しておきたい。2045年問題とされているシングルリタイアまでは、当分の間、語学教師の存在価値はまだまだありそうだ。

注

- 1 救急voicetraは、通常のvoicetraと異なり単なる旅行や会話、翻訳に留まらず、特に医療従事者が緊急時に必要とする医療用語や症状名などを網羅した辞書機能を備えている。
- 2 採用の詳細は、各都道府県や自治体の消防庁や消防本部のウェブサイトで確認が必要。
- 3 総務省の行政機関の1つで、放送や通信分野における行政手続きの監督や指導、周波数の割り振りや電波の管理、また災害時の通信機器の確保などを行っている。
- 4 <https://www.gov.jp> にその趣旨、目的等がある。日本語を学ぶ必要のある外国人の増加とその多様性に対してニーズに合うカリキュラム、教材、また教師不足の解消、日本語教育と地域社会との連携を取りやすくする為の提言などを行っている。

参考文献

石沢弘子他監修『みんなの日本語初級1』2001年第4刷 スリーエーネットワーク

石沢弘子他監修『みんなの日本語初級1 翻訳・文法解説 中国語版』2001年第4刷 スリーエーネットワーク

参照URL

国立研究機関が開発した翻訳アプリ VoiceTra (ボイストラ) ってどんなもの？

<https://mihd.co.jp/news/566/> (2022年11月3日参照)

総務省 VoiceTra (ボイストラ) 2020年の利用イメージ

<https://www.soumu.go.jp/soutsu/kanto/e-komfo/27/0414kk.html> (2022年11月3日参照)

総務省 救急現場における多言語音声翻訳アプリの利用

https://www8.cao.go.jp/shougai/whitepaper/r02hakusho/zenbun/pdf/s4_1-5.pdf (2022年11月4日参照)

Business Journal

https://biz-journal.jp/2016/02/post_13663.html (2022年10月23日参照)

YouTube『救急VoiceTra』救急現場での多言語対応

https://www.youtube.com/watch?v=46My31YLXA_c (2022年10月8日参照)

文化庁 (報告・答申・建議等)

https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/kokugo/hokoku/pdf/93798801_01.pdf (2022年11月29日参照)

奥村 訓代 (k_okumura@hokuyo.ac.jp)

地方經濟を支える中小企業

(中小酒蔵を例に)

瀧波 慶信
北洋大学

The Medium and Small-Sized Enterprises which Supports Local Economy

TAKINAMI Yoshinobu
Hokuyo University

提要

泡沫经济崩溃已久，经济停滞仍然是常态。由于收入增长乏力，消费者的思维变得更加注重价格而不是注重质量。当然，许多旨在生产高附加值产品的公司已经尝尽了倒闭或停业的惨痛经验。日本各地的中小型企业面临的形势总体来说是严峻的。其中一些行业正面临着行业本身存活的问题。

即使在这样的状况下，在地方，中小酒窖作为当地的中小企业，在继承历史和传统的同时，发挥了自己的独特性，在搞活地区文化和地方经济方面发挥了作用。本文着眼于中小酒窖，并提出了它们的存在和举措如何为地区作出贡献。

はじめに

今日、人口減少、少子高齢社会、限界集落の増加など地方の状況は危機的状況に陥っている。空き家・空き店舗問題、地方経済の担い手不足、経済縮小に伴う税収減などさまざまな課題がある。これまで、地方の中小企業は地方経済を支えることに大きな役割を果たしてきた。

しかしながら、景気の低迷をはじめ様々な要因により、存続、成長の困難な状況に直面し、やむを得ず廃業や破綻する企業が数多くあるという事実もある。このような状況における、これまでの中小企業の貢献とこれからの展望を探る。

本稿では、その具体的な例として、中小酒蔵を取り上げて分析する。

中小の酒蔵を取り上げる一つ目の理由としては、「老舗企業」の実態調査(2019)によると、中小酒蔵は国内の産業の中でも比較的長く続いていて歴史がある企業が多いことが挙げられる。業種を細分類別に見ると、「貸事務所」(894社)がトップとなったが、2位は「清酒製造」(801社)となっている。清酒は1300年前から日本に存在していたと伝えられており、古くから定着している産業の一つとなっている。

上位10業種の数

1	貸事務所	894
2	清酒製造	801
3	旅館・ホテル	618
4	酒小売	611
5	呉服・服地小売	568
6	婦人・子供服小売	535
7	木造建築工事	492
8	一般土木建築工事	479
9	酒類卸	475
10	土木工事	434

(株)帝国データバンク データソリューション企画部 情報統括課(2019)

二つ目の理由として、中小酒蔵はほとんど場所を移動することなく地域に存在してきていることである。中小酒蔵が立地している場所の資源や気候などの自然環境が大きな役割を果たしていると考えられる。そして、中小酒蔵の多くが今日まで歴史的に家族を中心として経営してきている。

三つ目の理由として、地方の地域的特性である地域消費者の消費文化や嗜好が大きく関係していると考えられる。つまり、中小酒蔵の存在はその地域の特色の消失問題とも大きく関係する。

これらの理由から、中小酒蔵を取り上げて研究を行うことにした。地方の中小の酒蔵に

焦点を当てて、その現状と新たな取り組みを検証することにより、その取り組みがいかにして地方の経済活性化に寄与するかについて考察する。

1. 地方の酒蔵の現状

1.1 日本酒の種類と製造工程

1.1.1 種類

日本酒は、日本固有のアルコール飲料であり、今日では「国酒」とも呼ばれることもある。

酒蔵で作られる日本酒、すなわち清酒は精米歩合とアルコール添加の違いによって、普通酒と特定名称酒に分類される。

清酒の定義は、酒税法第3条第7項に規定されている。

今日では、中小酒蔵の経営戦略および消費者の志向が高品質なものを求める傾向から特定名称酒が増加している。

日本酒の種類

特定名称	使用原料	精米歩合	香味等の要件	麴米使用割合
純米大吟醸酒	米、米こうじ	50%以下	吟醸造り、固有の香味、色沢が特に良好	15%以上
純米吟醸酒	米、米こうじ	60%以下	吟醸造り、固有の香味、色沢が良好	15%以上
特別純米酒	米、米こうじ	60%以下（又は特別な製造方法）	香味、色沢が特に良好	15%以上
純米酒	米、米こうじ	—	香味、色沢が良好	15%以上
大吟醸酒	米、米こうじ、醸造アルコール	50%以下	吟醸造り、固有の香味、色沢が特に良好	15%以上
吟醸酒	米、米こうじ、醸造アルコール	60%以下	吟醸造り、固有の香味、色沢が良好	15%以上
特別本醸造酒	米、米こうじ、醸造アルコール	60%以下（又は特別な製造方法）	香味、色沢が特に良好	15%以上
本醸造酒	米、米こうじ、醸造アルコール	70%以下	香味、色沢が良好	15%以上

引用元：「清酒の製法品質表示基準」（国税庁告示）による、高級酒に位置づけられる「特定名称酒8種」の分類

1.1.2 製造工程

1. 精米（せいまい）

最初の工程で、米を削っていく。米を削ることを、日本酒の工程では「磨く」と言う。日

本酒はさらに雑味をなくすために、通常の白米よりも磨きをかける。

2. 洗米・浸漬（せんまい・しんせき）

磨いたあとの米は削りカスが付いているため、水で洗い流す。水に漬けるのは水分を米に吸収させるため。

3. 蒸米（むしまい）

適量の水を含んだお米を甑（こしき）という大きな釜で蒸していく。蒸すことで、このあとの工程である「麴菌」の作用を受けやすくする。

4. 麴づくり（こうじづくり）

蒸米を麴室（こうじむろ）に移動させる。麴にはお米のデンプンをブドウ糖に変える役割がある。このブドウ糖がアルコール発酵することで、酒になる。

5. 酒母づくり（しゅぼづくり）

麴と水を混ぜ合わせたものに、酵母、蒸米を加え発酵させる。そうすることで酵母がたくさん増える。酵母がたくさん増えたものを酒母という。

酵母にはブドウ糖をアルコールに変える役割があり、酵母が大量になれば日本酒はできない。

6. 仕込み（もろみ作り）

酒母を大きなタンクに移し、麴・蒸米・水を3回に分けて加え、もろみを作ります。この作業を「仕込み」と呼ぶ。全量を一気に入れ発酵させると、酵母菌の増殖が間に合わなくなるから、3回に分ける。

7. 搾り

もろみに圧力をかけて、濾して（こして）いきます。搾ることで、水分と固形物に分かれます。簡単に言うと、「日本酒」と「酒粕」に分けるとのこと。

8. 濾過（ろか）

搾りの工程は大きな固まりと水分を分ける作業だが、この工程では水分に含まれている、分けきれなかった小さな固形物を取り除いていく作業を行う。

9. 火入れ（ひいれ）

濾過した後は、すぐに1回目の火入れを行う。味が変わるのを防ぐため、熱を加えて酵母を失活させる。

10. 貯蔵（ちょぞう）

火入れの後は、熟成させるために貯蔵する。火入れをしてから約半年から1年間、タンクの中でじっくり時間をかけて貯蔵する。

11. 調合（ちょうごう）

熟成したお酒を、別のタンクの日本酒と合わせたり、加水（割り水）したりする。

合わせる理由は同じ造り方をしていてもタンクごとに微妙に味わいが変わるためである。

12. 瓶詰め（びんづめ）

瓶やバックに詰める最終工程。

1.2 地方の中小酒蔵の現状

酒類製造業及び酒類卸売業の概況（2021年調査分）国税庁課税部酒税課によると、その数は全国に約1400ある。しかし全国満遍なくあるのではない。つまり日本酒造りが盛んな地域とそうでない地域がある。日本酒造りは、それに携わる職人の経験が必要である。その人材は元来農民であったことから、酒米とともに地域との結びつきが強い結果となった。また日本酒の原料としての水は日本酒の品質に大きな影響を与えるので、水源地の場所に左右され、移転することは容易ではない。

近年は日本酒の国内出荷量は、他のアルコール飲料との競合などにより減少傾向にある。また新型コロナウイルス感染症拡大の影響が、業務用の日本酒を中心に減少傾向に拍車をかけている。人々の生活様式の変化や価値観の多様化なども影響している。地方の中小酒蔵は地元の酒蔵として地域に愛され支持を受けているものの、規模の大きい酒蔵の販売戦略や、若年層の日本酒離れなどの時代の変化などから、中小酒蔵はその経営存続の危機に直面しており今後ますますその数は減少する可能性がある。中小酒蔵の中には、自分たちが目指す味が再現できないから、経営を断念するという酒蔵もある。

さらに、中小酒蔵のように丁寧な手法を重視する伝統産業では、高齢化による後継者不足問題が深刻である。

1.3 井波酒造

井波酒造は福井県鯖江市にある酒造会社である。鯖江市市街地の西郊外で、北陸最大のツツジの名所として知られる、日本の歴史公園100選に認定されたシンボル公園である西山公園の南端付近に蔵を構える。創業は江戸時代後期の1806年（文化3年）で、酒銘の七ツ星は、この蔵に滞在した僧侶が詠んだという歌「空高く仰ぐ北斗の七ツ星 井波にうつれ名も響くなり」に由来しているとのことである¹。

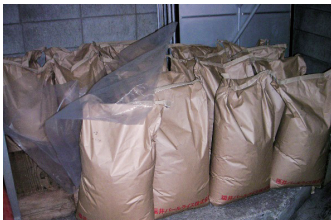


写真1（筆者撮影）

日本酒は、米と米麴と水を原料とするが、酒米の種類の一つである山田錦は1936年（昭和11年）に兵庫県立農事試験場で誕生した品種で脂質やタンパク質などの余分な成分が少ない。主な産地は兵庫県である。



写真2 (筆者撮影)

蒸した米に麴を加える。蒸すことで麴菌の作用を受けやすくする。



写真3 (筆者撮影)

麴には米のデンプンをブドウ糖に変える役割がある。ブドウ糖がアルコール発酵することで日本酒になる。



写真4 (筆者撮影)

作業には必ず職人の作業が求められる。機械や道具だけでは進められない部分がある。酒蔵で使われる木製道具のほとんどは、丈夫ですぐに折れたりしないように、素材は桜の木などの硬い素材が多く使われている。



写真5 (<https://www.sakeno.com/kuramoto/1319/>)

井波酒造の銘柄七ツ星。
写真は上撰の一升瓶詰め。
左の瓶を包装したものが右。

酒造りにおいて求められるのは、質の高い原材料はもちろんであるが、手作業による各工程の作業には、人の手作業が必要不可欠であり、機械による代替は不可能である。現在に至るまで長い間使われてきた酒造りの道具は、日本の文化として独自の発展を遂げてきた。

近年は原材料としての酒米は、上記の山田錦に加えて、福井県農業試験場が2010年から独自に開発・栽培し、約8000種の候補の中から選抜された酒米の品種が使われるようになってきているとのことである。日本一おいしいお酒になるように、一般公募により名付けられた「さかほまれ」という酒米である。福井県は、米の栽培も酒の醸造も盛んに行われているが、精米歩合40%を超えるような高精白の醸造に適した酒米品種が無く、最上級酒を醸す際は上記の山田錦を使用するしかなかった。

そこで、福井県の自然環境のもとでしか醸すことのできない、最上級酒に適したオリジナル酒米を開発するべく、全県を挙げての一大プロジェクトが2010年に始まり、新品種「さかほまれ」が誕生した。「さかほまれ」100%の酒も誕生しているとのことである。

日本酒の味と質を決めるとまで言われる杜氏は、まさに酒造りの最高責任者でもある。杜氏は米の磨きの度合いについて見ただけでわかるとのこと。日本酒の味と質を左右するものとして杜氏の勤が大きく影響する。現代の情報技術を駆使しても杜氏の持つ経験と勘は超えることができない領域である。

これは、まさに暗黙知である。暗黙知とは、マイケル・ポランニーがいう、簡単には説明できないが理解して使っている知識である。つまり、経験や勘に基づく知識のことで、言葉などで表現が難しいものである。中小酒蔵の伝統の味を造り出す酒造りには必要不可欠の知識である。

2. 先行研究

加護野忠雄・石井淳蔵(1991)は『伝統と革新——酒類産業におけるビジネスシステムの変貌——』において、日本酒の流通の観点から酒類の産業の研究をしている。

また熊坂敏彦(2014)は『地域活性化における地域の酒の効用』筑波総研株式会社において以下のような分析をしている。

それぞれの地域に根差した酒蔵は、地域の水と米を用い、農村地域の冬場の出稼ぎ労働力を雇用して酒を醸し、地域の人々に「まつりや祝い事の酒」「庶民の楽しみの酒」を販売することを生業としてきた。また、それら地域の「特産品」ともいべき酒は、「地域ブランド」そのものであった。さらに、酒蔵の中には、収益の一部を地域文化・地域芸術の創造に充て、「パトロン」として芸術家を育て上げたところもあった。このように、古来より地域社会と酒・酒蔵の関係は極めて密接なものがある。と述べている。

また佐藤淳(2021)は、『國酒の地域経済学』において日本酒と観光の分析を通して、地域経済活性化への様々な影響を示している。観光が地域経済のポイントになることを示しながら、観光を活性化させるために日本酒が大きな役割を果たすと分析している。さらに

伝統や地域の個性を活かすことが出来れば、世界的に認められる可能性も少なくない。現代化すべき伝統とは何か。地域の個性に意味を与えるにはどうしたら良いのかについて検討している。

中小酒蔵のなかには存続の危機の問題を抱えている酒蔵もあるが、一方で再活性化に成功している酒蔵もある。地方の中小酒蔵が存続していくため、生産時の提携関係や地域おこしのための地酒の開発過程で地域に得られるものやマーケティング戦略等が主に研究されている。しかし、地方の中小酒蔵の経営における戦略的な価値の傾向や、その酒蔵自体や酒蔵従事者の持つ文化資本がいかにして地方の経済活性化に貢献するかについての研究はまだ少ない。本稿ではこれらの研究動向を再確認した上で、中小酒蔵のもつ文化資本的な価値が地方の経済活性化にどのように寄与するかを検討する。

3. 地元中小酒蔵を活かす取り組み事例

3.1 東京都福生市の取り組み

東京都福生市では、「日本酒」に対する国内外からの認知度が向上していることから、観光産業としての位置づけを行っている。そこで、市の魅力的な「ふるさと名物」として日本酒や酒蔵ツーリズムを指定し、これらを活かした事業者の取り組みを応援することで「福が生れる地酒のまち」としての地域ブランド強化を図り、観光・地域振興につなげるとともに地域経済活性化を図る取り組みを行っている²。

3.2 秋田県新政酒造の取り組み

秋田の新政酒造は、酒造りの原点回帰を進めてきた。これまで実践してきた、地元の米を、あまり磨かずに、地元の水と地元の蔵で採取された酵母で醸すことで、秋田の過疎地に酒蔵を新設し、地域を丸ごと引き受けながら酒造りの好循環を生み出すことを目指している³。

3.3 京都市伏見区の取り組み

学生たちに、日本酒の魅力や文化的背景、歴史などの話聞く機会を設け、また酒造会社の経営者からも話を聞く機会を設け、日本酒業界の現状や将来的な可能性について知る活動を行っている。それらを踏まえて実際に伏見の町を歩くことで伏見や日本酒の知識がより身につく活動を行っている⁴。

4. 中小酒蔵の存在意義

地方経済の活性化には地方の中小酒蔵の存在が欠かせない。日本酒の作り方から次のことが言えよう。美味しい日本酒にかかせない条件は、よい原材料と酒造りに携わる職人の腕である。米と水が良いものでないと、いくら腕のある職人が酒造りをしても美味しい日本酒はできない。米は農家がつくっている。米の土づくりから、育成に必要な水、そしてた

くさんの時間をかけている。自然の恵みである土、水を基本に麹菌の働きを受けて日本酒は完成する。近年は酒蔵が原料米の自家栽培に乗り出す事例も増えている。その背景には、高品質の原料米の安定供給に留まらず、従業員の通年雇用、地域貢献など様々な動機・目的があるようである。このようなケースでは、酒蔵が別途農業法人を設立する形もあり、より継続的に地域の雇用に貢献する。酒蔵による原料米の調達、地方の経済、さらには環境に貢献しうる重要な行為だと言える。中小酒蔵は、地元資本の企業として、事業・雇用・納税などを通じて地方経済とつながる。

日本人は美味しいお酒を味わうために様々な努力と工夫を重ねてきた歴史がある。

それぞれの地方の中小酒蔵で作られた日本酒は地酒として認知されている。地酒はまさに銘柄と酒蔵の所在地が一体的に認知されることが多い。したがって酒蔵の活動が話題性やマーケティングの面からも地方をアピールすることになる。

日本人の文化的活動、例えば神社や寺を中心に行われる祭りなどの場面では必ずと言っていいほど日本酒が活用されてきた。日本では神々にお供えしたお酒をみんなで飲むことで、神様とのつながりを深めようとするなど、日本酒を神聖なものとして扱ってきた。現代でも、お酒は神棚へのお供えや、お清め、儀式や行事に用いられ、神様と人々をつなぐ役目を果たしている。日本人の夢や幸福を願う儀式にも日本酒は用いられてきた。

今日のコロナ感染によって社会が閉ざされる危機的な状況から一日でも早くコロナ前の生活に戻すためには、地域の人が多く集まり、交流の輪が広がる活動が求められる時代である。日本酒造りを行っている地方の中小酒蔵はその一役を担う。それは、地方の中小酒蔵が地域に根付いており、その地方において旧家として名門になっていて地元の住民も地元の酒に愛着を感じていることが多いからである。中小酒蔵は、それぞれの地方の経済と長く、深い関係を築いている。またそれぞれの酒蔵が工夫して、例えば大吟醸などの高級な日本酒を作り出している。先述したが、酒蔵によっては銘柄に地元の山や川の名称を付けているものもある。例えば福井の九頭竜酒造の「九頭竜」は、福井県を流れる一級河川の名前である。富山県の林酒造の「黒部峡」は富山県にある日本の秘境百選の一つの峡谷の名称である。日本酒銘柄に地方に関係するものの名称が使われるとその地方の認知度が増すことが考えられる。今後はさらなる地元への密着、製品の差別化に力を投入していくべきである。

5. 文化資本としての中小酒蔵

オーストラリアの経済学者であるデイビット・スロスビーは文化資本という概念を提唱している。彼によると、文化資本は文化的価値と経済的価値の双方を生み出すという。文化資本は二つの形態で存在する。一つは有形で、建物や様々な規模・単位の土地、絵画や彫刻のような芸術作品、工芸品などの形で成立している。二つめは無形で、集団によって共有されている概念や慣習、信念や価値といった形式をとる知的資本として成立している。私たちは、所与の時点においてある資本ストックとして存在する、有形・無形の文化

資本を考察することができる。

筆者は地方に根差し、地方に長く存在してきた酒蔵の存在をその地方の伝統産業としてとらえ、日本酒の作り方を通して伝統産業に従事する職人の技能に着目した。その際、先述した暗黙知に注目した。杜氏が積み重ねてきた経験は、その人しか知ることのできない暗黙知として杜氏の身体にある。このことは、杜氏の存在如何で伝統の味を造り出すことができるかどうかが決まるということである。身体にある文化資本としての暗黙知を後継者にどのように継承していくかが喫緊の課題である。先述したが、杜氏を代表とした酒造りに関わる職人の身体的な記憶として蓄積された暗黙知が文化資本として継承されていかなければならない。またさらに、造り手と売り手あるいは消費者との交流が活発化することにより、そして地域固有の文化のシンボルとしての中小酒蔵を見直すことにより、自分たちの飲んでいる日本酒や住んでいる地方を見直し、地方活性化が図られる。さらにそれぞれの地方における伝統産業の現場において職人のもつ技能や職人の生き方、酒蔵経営者の信念を通して伝統や言語や慣習などのより広い文化現象が無形の文化資本として、個人個人の能力の向上、さらには地方の再生・発展に貢献することにつながると考える。産業面だけでなく、これまで中小酒蔵が果たしてきた文化的な面に対する評価を再認識する必要がある。

6. おわりに

新型コロナウイルスの流行による酒蔵への影響は甚大であり、既に報道されている酒造好適米の生産減少に始まり、今後は日本酒製造量の減少、酒蔵の従業員の雇用減少、そして廃業の増加という状況悪化が懸念されている。そのような状況下において地方の中小酒蔵は、文化資本を活かすと同時に様々な経営革新を遂行することによって、新しい時代に適合したモデル産業として地方の活性化を可能にする。

すなわち、

- ①職人の持つ伝統的な技法や製法を文化資本として保持・活用しながら次世代対応の革新を展開する
- ②地方の文化活動との融合を図り成長する
- ③「観光立国」推進への貢献

今日、中小酒蔵に限らず、地方の中小企業は新型コロナ感染症など目の前の危機に対応することに多くのエネルギーを注ぐ状況にあるが、地方経済の根本的な再生に貢献する可能性を持っている。今後の動きに注視し、新たな時代への挑戦を行うことが求められる。

本稿は地方の中小酒蔵が地方経済を牽引する存在としてなぜ必要であるかについて考察したものである。なかには酒造りに関する工程のIT化を推奨する声があることも事実である。しかし零細な中小酒蔵には大きな負担である。そのことで中小酒蔵が衰退しないように産学官の共働が必要である。もちろんIT化などの革新性を否定するものではない。これまで中小酒蔵自体が独自の文化を育んで来ている。ここに革新的な側面も取り入れるこ

とは重要である。つまり伝統の中に革新性が内在することが必要である。文化資本としての地方の中小酒蔵の存在が地方の活性化に果たす役割は大きく、逆に地方の活性化が中小酒蔵の成長に資するのである。

今後ますます地方の中小酒蔵の果たすべき役割は大きい。

注

- 1 井波酒造社長談
- 2 <https://www.city.fussa.tokyo.jp/enterprise/industry/industrial/1008302.html>
- 3 <https://xtrend.nikkei.com/atcl/contents/18/00643/00006/>
- 4 https://pbs.doshisha.ac.jp/attach/page/PBL-PAGE-JA-710/133406/file/pj2019_imadegawa_08.pdf

参考文献、資料

- ・池上惇(2003)『文化と固有価値の経済学』岩波書店
- ・小川雅人(2010)『地域小売商業の再生とまちづくり』創風社
- ・加護野忠雄、石井淳蔵(1991)『伝統と革新——酒類産業におけるビジネスシステムの変貌——』千倉書房
- ・清成忠男(1975)『地域の変革と中小企業』日本経済評論社
- ・熊坂敏彦(2012)「清酒製造業の現況と老舗企業の革新への取組み——茨城・栃木両県を中心に——」
- ・熊坂敏彦(2014)「地域活性化における地域の酒の効用」筑波総研株式会社
- ・佐藤淳(2021)『國酒の地域経済学：伝統の現代化と地域の有意味化』文真堂
- ・関満博、及川孝信(2006)『地域ブランドと産業振興』新評論
- ・西山周三、三矢裕(2015)「日本酒業界に学ぶ伝統産業の変革——しがらみを超える」
- ・横田茂(1990)『地域経済学』有斐閣
- ・国税庁課税部酒税課(2015)『酒のしおり』
- ・Throsby, C. David, Culture, economics and sustainability, Journal of Cultural Economics (1995)
- ・<https://sakestreet.com/ja/media/what-is-jizake-3>

(謝辞) 本研究に関して、ヒヤリングをさせていただいた福井県鯖江市の井波酒蔵社長井波俊一氏から多大なるご協力をいただいた。ここに記して感謝したい。

龍波 慶信 (y_takinami@hokuyo.ac.jp)

中国語の複合名詞句と数量詞句のラベル付けについて*

馮 一峰
北洋大学

Labeling of Complex Noun Phrase and Numeral Phrase in Mandarin Chinese

FENG Yifeng
Hokuyo University

提要

在最简主义的理论框架当中，合并 (Merge) 是最简单、最基本的运算操作。通过合并形成的结构需要经过正确的加标运算 (Labeling) 才能在 LF 界面正确解读。Saito (2016, 2018)、斎藤 (2020) 主张日语和英语不同，日语中没有 ϕ 一致特征，相反日语中的格助词以及谓语后面的屈折要素是弱中心语起到一个反加标的作用。本文主要考察 Saito (2016, 2018)、斎藤 (2020) 的主张是否可以解决同样不存在 ϕ 一致特征的汉语中的复合名词短语以及数量短语的加标问题。通过考察，本文发现如果假设关系从句后面出现的“的”以及数量短语中的量词为弱中心语，不仅可以解决汉语复合名词短语以及数量短语的加标问题，而且能够解释其他相关的语言现象。

1. はじめに

Chomsky (2015b, 2021) は、併合 (Merge) が言語の最も単純な計算的操作であると主張している。併合は、二つの対象 — α と β — を取ってきて、新たな対象 $\gamma = \{\alpha, \beta\}$ を作るというものである。Chomsky (2013) は、解釈部門では併合によって作られた γ の性質に関する情報が必要となるため、 γ のラベル (label) を決定するメカニズムが必要であると主張している。極小モデルは、併合とラベル付け (Labeling) を中心に構成されている。

Chomsky (2013, 2015a) では、ラベル付けメカニズムが詳しく論じられており、 ϕ 素性一致が重要な役割を果たしている。Saito (2016) は、少なくとも顕在的には ϕ 素性一致が観察されない日本語では、時制文にどのようにラベル付けがなされるのかが問題となると指摘し、日本語の接辞文法格と述部屈折が反ラベル付け要素として機能すると提案している。Saito (2016) は、日本語の文法的特徴を、二つの句を併合した場合の $\{XP, YP\}$ 構造のラベル付けメカニズムにより説明しようと試み、現象としては、多重主語、自由語順、広範な空項の分布、生産的な複合述語形成などを取り上げている。Saito (2018) は、Chomsky (2015a) の弱主要部の提案に基づいて Saito (2016) のラベル付けメカニズムに説明を与えることを試み、斎藤 (2020) は、Saito (2016, 2018) の提案を日本語の比較的自由的な複合名詞句の形成と遊離数量詞の分布に分析を広げた。

中国語は、日本語と同じように少なくとも顕在的には ϕ 素性一致が観察されない言語であるため、中国語ではラベル付けがどのように行われているのかが問題となる。本稿では、Saito (2016, 2018)、斎藤 (2020) で提案されているラベル付けメカニズムが中国語に適用することができるかどうかを考察し、中国語の複合名詞句と数量詞句のラベル付けメカニズムを明らかにしたい。

2. 理論的枠組み

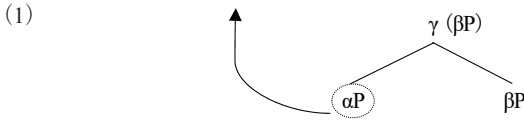
2.1 Chomsky (2013, 2015a) が提案したラベル付けメカニズム

Chomsky (1995) は、 α と β という二つの統辞体が併合される場合、 α と β のいずれかが投射すると仮定していたが、Chomsky (2013, 2015a) は、併合は集合を作る最も単純な操作であり、ラベルは統辞体の特性に基づいて最小探査によって決定されると仮定している。

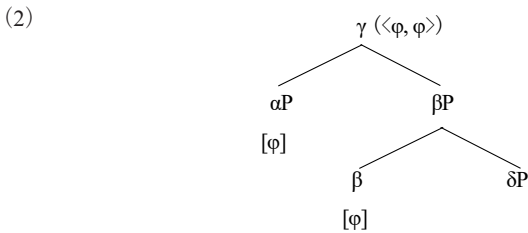
併合が形成する構成素には、三つのパターンがある。一つ目は、主辞 H が最大投射 αP と併合する場合である。二つ目は、最大投射 αP と βP が併合する場合である。三つ目は、主辞 H_1 と H_2 が併合する場合である。主辞 H が最大投射 αP と併合する場合、単一的主辞 H が探査によって見出されることから、主辞 H がラベルになると仮定できる。それに対し、最大投射 αP と βP が併合する場合と主辞 H_1 と H_2 が併合する場合、単一の主辞が探査によって見出されないため、併合によって構築された構造が基本的には排除される。

最大投射 αP と βP が併合する場合のラベル付けの問題について、Chomsky (2013) は、次のように提案した。一つ目は、最大投射 αP と βP のどちらかを移動することである。 αP と βP が併合して対称的な構造を成すため、LA (Labeling algorithm) が統辞体のラベルを決定

できない。したがって、 αP と βP のどちらかを移動してその対称的な構造を破る必要がある。例えば、(1) に示すように、 αP を移動する場合、 αP は γ に含まれていないため、 γ にラベルを与えることはできない。それに対し、 γ に残っている βP がそのまま γ にラベルを与えることができ、 βP が γ のラベルになる。



二つ目は、主要素性の共有によるラベル付けである。Chomsky (2013) は、 α と β が φ 素性を共有することによって一致すれば、最小探索は、共有する φ 素性を見出すことができ、 $\langle \varphi, \varphi \rangle$ が $\{\alpha P, \beta P\}$ のラベルになると仮定している。



Chomsky (2015a) は、主語の義務性を説明するために、英語の T は、ラベルを供給しえない弱主要部であると仮定し、ラベル付けに答えを求めた。英語の T は弱主要部であるため、時制文は素性共有によってのみラベル付けがなされることになり、主語の義務性が導かれる。また、素性共有が T を強主要部とし、最終的には T がラベル付けを行うとしている。

2.2 日本語におけるラベル付けメカニズム

Chomsky (2013, 2015a) が提案したラベル付けメカニズムにおいては、 φ 素性一致が重要な役割を果たしている。Saito (2016) は、少なくとも顕在的には φ 素性一致が観察されない日本語では、時制文にどのようにラベル付けがなされるのかが問題となると指摘している。

Kuroda (1988) などでは、日本語の格助詞は、日本語を英語のような言語から区別する重要な役割を果たしていると指摘されている。Saito (2016) は、日本語の接辞文法格を伴う句が投射しないことに注目し、日本語の接辞文法格が、句をラベル付けにおいて不可視にする反ラベル付け要素として機能すると提案している。また、文法格と同様に、屈折を

伴う要素が構造上投射することはないので、述部の屈折が反ラベル付け要素として機能すると提案している。

(3) $a.\gamma = \{\alpha\text{-Case}, \beta\}$

(Saito 2016: 131)

Saito (2016) の提案は、日本語の時制文のラベル付けを可能にするだけでなく、多重主語文が許容されることや日本語における自由なスクランプリングの適用を正しく予測することができる。ここでは、多重主語文の例のみ取り上げて説明する。

(4) $[_{TP} \text{ 文明国が } [_{TP} \text{ 男性が } [_{TP} \text{ 平均寿命が } [_{TP} \text{ 短い}]]]]]$

(久野 1973: 41)

(4) に示すように、すべての主語が文法格「が」を伴っている。文法格「が」が「文明国」、「男性」、「平均寿命」を句のラベル付けにおいて不可視的にするため、ラベル付けに問題は生じない。したがって、Saito (2016) の提案は、日本語では多重主語文が許容されることを正しく予測できると言える。

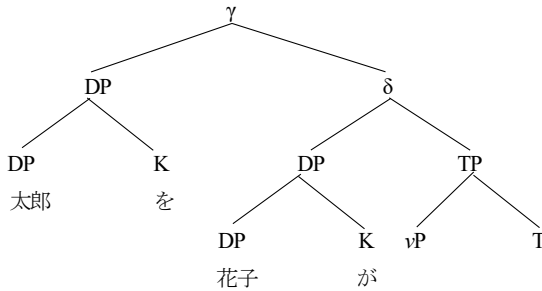
Saito (2018) は、なぜ日本語の接辞文法格と述部屈折が反ラベル付け要素として機能するかが問題となると指摘し、Travis and Lamontagne (1992)、Fukuda (1993) などが提案する KP 仮説を採用し、文法格が主要部であると仮定し、文法格 K を Chomsky (2015a) が提唱する弱主要部であると提案している。それと同時に、弱主要部を伴う構成素のラベル付けメカニズムに修正を加えた。

(5) Search $\{\alpha, \beta\}$ for a label. If α is a weak head or search into α yields a weak head, then search on the α side is suspended and it continues only on the β side.

(Saito 2018: 387)

(6) a. [_{TP} 太郎を [_{TP} 花子が 叱った]] (こと)

b.



(斎藤 2020: 8)

(6a) は日本語のスクランプリングの例であり、(6b) はそれに対応する簡略化した統辞構造である。斎藤 (2020) は、 δ のラベルを決定するとき、DP と TP を探査する。DP 内の探査は、弱主要部 K を見出すため、 δ のラベルは、TP 内の探査によって決定され、T が δ にラベルを与える。 γ のラベルを決定するとき、DP と δ を探査する。DP 内の探査は、弱主要部 K を見出すため、 γ のラベルは、 δ 内の探査によって決定され、T が δ にラベルを与える」と分析している。

本稿では、Saito (2016, 2018) で提案されているラベル付けメカニズムが同じく顕在的には ϕ 素性一致が観察されない中国語に適用することができるかどうかを考察し、中国語の複合名詞句と数量詞句のラベル付けメカニズムを明らかにしていく。

3. 複合名詞句のラベル付けについて

3.1 日本語の複合名詞句のラベル付けについて

久野 (1973) では、日本語において、文による名詞修飾が比較的に自由に行われると指摘されている。中国語は、日本語に類似しており、文による名詞修飾が比較的自由に行われる。

(7) a. [[魚が焼ける] 匂い]

b. *[the smell [that fish burns]]

c. [[鱼烤熟的] 味道]

(8) a. [[誰かがドアを閉める] 音]

b. *[the sound [that someone closes the door]]

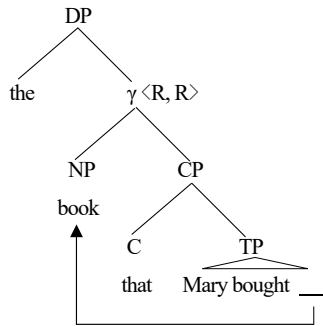
c. [[谁关门的] 声音]

(斎藤 2020: 9)¹

Kayne (1994) は、(9a) のような英語の関係節は (9b) のような構造を持つと提案している。斎藤 (2020) は、(9b) の構造では γ のラベル付けが問題になると指摘し、NP は関係演算子で、C は関係節の素性 (R) を持っているため、 γ は $\langle R, R \rangle$ とラベル付けされると提案している。また、(7b) と (8b) の例が許容されない理由については、関係節構造を持たないことで、NP と CP の素性共有が認められず、 γ にラベルが与えられないためであると主張している。

(9) a. [_{DP} the [_{NF} book [_{CP} that Mary bought]]]

b.



(斎藤 2020: 9)

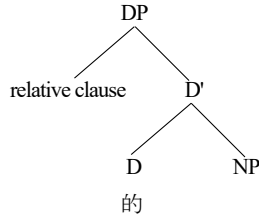
なぜ (7a) と (8a) のような日本語の例が許容されるのかについて、斎藤 (2020) は、名詞修飾節の述部が連体形となることに注目し、Saito (2016, 2018) で提案されているラベル付けメカニズムをもとに、(7a) と (8a) の名詞修飾節の述部屈折が弱主要部であると仮定し、それを伴う要素がラベル付けに関与しないからであると説明した。つまり、Saito (2016, 2018) が提案しているラベル付けメカニズムは、日本語において、文による名詞修飾が比較的自由に行われることを予測することができる。

3.2 中国語の複合名詞句のラベル付けについて

Saito (2016, 2018) が提案しているラベル付けメカニズムは、日本語において、文による名詞修飾が比較的自由に行われることを予測することができるが、斎藤 (2020) の分析は、そのまま中国語に適用することはできないと考えられる。それは、中国語は屈折言語ではなく、述部が屈折を伴わないからである。したがって、なぜ (7c) と (8c) のような中国語の例が許容されるのが問題となる。

ここで、文による名詞修飾節の後ろに修飾標識の“的”が義務的に生起することに注目したい。Simpson (2002)、Saito, Lin and Murasugi (2008) は、中国語の修飾標識の“的”は D (決定詞) であると主張しており、関係節の構造は次のようになると主張している。

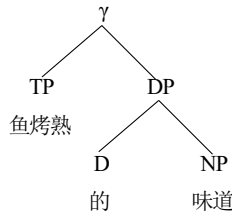
(10)



(Saito, Lin and Murasugi 2008: 313)

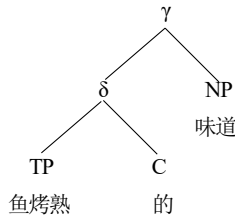
(10)の構造が正しければ、(7c)の例は、次のような構造を持つことになる。(11)の構造においては、DとNPが併合し、Dが主辞であるため、ラベルを決めることができる。しかし、TP²とDPが併合する場合、両方とも最大投射であるため、 γ のラベルを決めることができず、(11)の構造は排除されると考えられる。

(11)



一方、Cheng (1986)、何 (2011) は、中国語の関係節と共に現れる“的”はD (決定詞)ではなく、C (補文標識)³であると主張している。もし、Cheng (1986)、何 (2011)の主張が正しければ、(7c)の例は、次のような構造を持つことになる。

(12)



(12)の構造においては、CとTPが併合し、Cが主辞であるため、ラベルを決めることができ、 δ のラベルはCPとなる。しかし、CPとNPが併合する場合、両方とも最大投射で

あるため、 γ のラベルを決めることができず、(12) の構造も排除される。但し、中国語の関係節の後ろに現れる“的”が反ラベル付け要素として機能する弱主要部であると仮定すれば、 γ のラベル問題は解決できる。

中国語の関係節の後ろに現れる“的”が反ラベル付け要素として機能する弱主要部である場合、C が δ にラベルを与えないので、TP が δ のラベルを決めることになる。 γ のラベルを決める際に、まず δ と NP に探査をかける。 δ 側の探査は、弱主要部の C を見出すため、(5) の条件に従い、探査は停止される。NP 側の探査は、主要部の N を見出すため、N が γ のラベルを決めることができ、 γ のラベルは NP となる。したがって、中国語の関係節の後ろに現れる“的”が反ラベル付け要素として機能する弱主要部であると仮定することによって、(7c) のような中国語の複合名詞句のラベル付け問題は解決できる。

ここでの提案は、少なくとももう一つのメリットがある。それは、中国語の多重関係節現象を正しく予測することである。

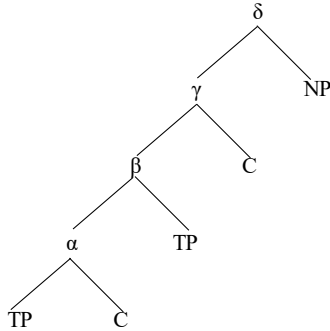
(13) [[[妈妈在北京买的] 爸爸一直不愿意给我的] 裤子]

母が北京で買った父がなかなか私にしてくれないズボン⁴

(作例)

(12) の構造が正しければ、(13) の例は次のような構造を持つことになる。(14) では、C が反ラベル付け要素として機能する弱主要部であるため、C は α にラベルを与えることはできない。したがって、TP が α のラベルとなる。 β のラベルを決める際に、 α と TP に探査をかける。 α 側の探査は、弱主要部の C を見出すため、(5) の条件に従い、探査は停止される。TP 側の探査は、主要部の T を見出すため、T が β のラベルを決めることができ、 β のラベルは TP となる。同じように、C は γ にラベルを与えることはできないため、 β のラベルの TP が γ のラベルとなる。また、 δ のラベルを決める際に、 γ と NP に探査をかける。 γ 側の探査は、弱主要部の C を見出すため、(5) の条件に従い、探査は停止される。NP 側の探査は、主要部の N を見出すため、N が δ のラベルを決めることができ、 δ のラベルは NP となる。つまり、(14) にはラベル付けの問題が生じず、許容される構造である。

(14)



本稿の中国語の複合名詞句のラベル付けメカニズムに関する提案は、(7c)の例を説明できるだけでなく、(13)のような多重関係節現象の例を正しく予測することもできるため、妥当なものであり、Saito (2016, 2018)、斎藤 (2020) で提案されているラベル付けメカニズムが中国語の複合名詞句に適用できると考えられる。

4. 数量詞句のラベル付けについて

4.1 日本語の数量詞句のラベル付けについて

斎藤 (2020) は、日本語の遊離数量詞句と英語の描写二次述語の共通性を指摘し、Miyagawa (1989) 等が指摘するように、日本語の遊離数量詞句は、描写二次述語であると主張している。

(15) a. John ate the meat raw.

b. John ate the meat naked.

(斎藤 2020: 13)

斎藤 (2020) は、(15a) の raw は目的語、(15b) の naked は主語を描写し、前者は VP 内、後者は vP 内にあると分析した。日本語の遊離数量詞の例に関しては、次の例を取り上げた。

(16) a. 学生が 3 人酒を飲んだ。

b. 学生が酒を 3 本飲んだ。

(斎藤 2020: 14)

(16a) では、「3 人」は主語の「学生」の数を表し、(16b) では、「3 本」は目的語の「酒」の数を表す。黒田 (1980) は、主語の数を表す遊離数量詞は、目的語に後続することができないと主張している。斎藤 (2020) は、(17) の例に基づき、主語に掛かる遊離数量詞が VP 外

に位置すると主張し、(18) の例に基づいて日本語の遊離数量詞も、英語の描写二次述部と同様に、主語に掛かる場合は VP 外、目的語に掛かる場合は VP 内にあると主張している。斎藤 (2020) は、Miyagawa (1989) 等の主張を踏襲し、日本語の遊離数量詞は、描写二次述部であると指摘している。

- (17) *学生が [_{VP} 酒を 3 人飲んだ]。
 (18) a. 学生が 3 人 [_{VP} 酒を 8 本飲んだ]。
 b. *学生が [_{VP} 8 本酒を 3 人飲んだ]。

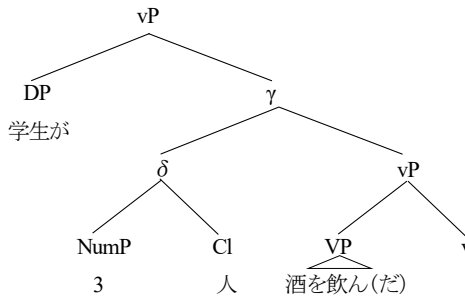
(斎藤 2020: 14)

日本語の遊離数量詞句のラベル付けについて、斎藤 (2020) は、(19) に示すように遊離数量詞にはスクランプリングが適用されるため、分類辞 (Cl = classifier) は弱主要部であると仮定している。

- (19) [_{TP} 3 本 [_{TP} 学生が酒を 飲んだ]]

(斎藤 2020: 15)

- (20) a. 学生が 3 人酒を飲んだ。
 b.



(斎藤 2020: 15)

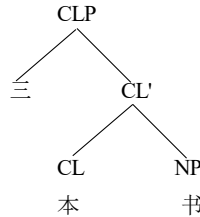
(20a) は、(19) と異なり、スクランプリングが適用されていない例である。ここでは、スクランプリングが適用されていない例を用いて数量詞句のラベル付けを説明する。(20a) は、(20b) のような構造を持つ。(20b) の構造では、 δ と γ のラベル付けが問題となる。しかし、もし Cl が弱主要部であれば、(5) の提案に従い、 δ のラベルは NumP によって決められる。 γ のラベルを決める際に、 δ と vP に探査をかける。 δ 内の探査が弱主要部の Cl を見出すため、ラベルは v によって決められ、vP となる。したがって、Cl が弱主要部であると仮定することにより、日本語の数量詞句のラベル付けが適切に行われる。

中国語にも分類辞がある。それは、日本語の分類辞と同じように弱主要部であるかがまだ明らかにされていない。また、中国語には遊離数量詞現象があるかどうかは明らかではないので、次節でこれらの問題について考察していく。

4.2 中国語の数量詞句のラベル付けについて

Tang (1990)、Cheng and Sybesma (1999)、Li (1999) は、中国語の名詞句構造においては、分類辞は主要部となり、以下の構造を持つと提案している。Cheng and Sybesma (1999) は、中国語の名詞句構造においては、数詞も主要部となると提案している。Saito, Lin and Murasugi (2008) は、数詞の統辞位置について、CLP の指定部にある可能性もあると指摘している。

(21)



(Saito, Lin and Murasugi 2008: 310)

Saito, Lin and Murasugi (2008) は、(21) に示すように中国語の数詞と分類詞は一つの構成素を成さないことに基づき、中国語には日本語のような数量詞遊離現象がないと主張している。また、(21) の構造を仮定することにより、中国語の NP 省略が認可されることを正しく予測することができる旨を指摘している。しかし、中国語には次のような数量詞遊離現象の例が観察される。

- (22) a. 三个学生喝了三瓶酒。(三人の学生が三本の酒を飲んだ。)
 b. 学生三个喝了三瓶酒。(学生三人が三本の酒を飲んだ。)
 c. 三个学生喝了酒三瓶。(三人の学生が酒を三本飲んだ。)
 d. 学生三个喝了酒三瓶。(学生三人が酒を三本飲んだ。)

(作例)

(22) に示すように、主語の“学生”の数をあらわす“三个”は、主語の前後に現れることができ、目的語の“酒”の数を表す“三瓶”は、目的語の前後に現れることができる。本稿は、中国語の数量詞句も二次述語であり、数詞と分類辞と共に一つの構成素を成すと仮定する。理由は二つある。一つ目は、中国語の数量詞も述部を形成しうるからである。斎藤

(20) は、二次述語であり得る要素は、繫辞の補部として、述部を形成できるものであると指摘し、これは、日本語の数量詞が二次述部として生起しうる理由であると主張している。(23) に示すように、中国語の数量詞も述部を形成しうる。

- (23) a. 学生是三个。(学生は三人である。)
 b. 啤酒是五瓶。(ビールは五本である。)
 c. 杯子是两个。(コップは二つである。)

(作例)

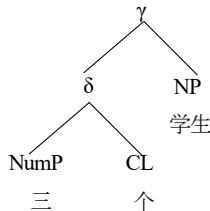
二つ目は、中国語の数量詞句も描写二次述語と同じ統辞的振る舞いを持つからである。(24) からわかるように、主語に掛かる数量詞は VP 外、目的語に掛かる数量詞は VP 内にある。

- (24) a. * 学生喝了三个三瓶酒。(学生が三人三本の酒を飲んだ。)
 b. * 学生喝了三个酒三瓶。(学生が三人酒を三本飲んだ。)

(作例)

これらの理由を踏まえて、本稿は、中国語の数量詞句が次のような構造を持つと考える。

(25)



(25) の構造を仮定すれば、少なくとも四つのメリットがあると考えられる。一つ目は、中国語の“的”と日本語の「の」の違いを説明できる。Saito, Lin and Murasugi (2008) は、次の例を取り上げて、中国語の“的”と日本語の「の」の違いを示した。

- (26) a. 三本 (* 的) 书
 b. 三册 * (の) 本

(Saito, Lin and Murasugi 2008: 298)

Saito, Lin and Murasugi (2008) は、中国語の修飾標識の“的”は D であると主張しており、

数量詞句の上の統辞位置にあると仮定している。もし、“的”が数量詞句の上の統辞位置にあるとすれば、(25)では、CLが数量詞句の主要部であり、Dの下の位置にあるはずである。階層構造を考えれば、CLのすぐ後ろに“的”が生起しないことを説明できる。

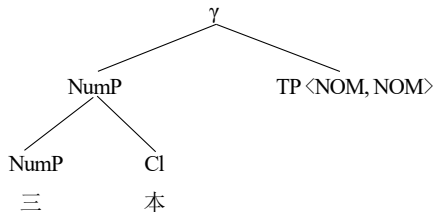
二つ目は、(25)の構造における中国語のCLが日本語のCLと同じように弱主要部であると仮定すれば、ラベル付けの問題が生じない。(25)の構造では、 δ と γ のラベル付けが問題となる。しかし、もしCIが弱主要部であれば、(5)の提案に従い、 δ のラベルはNumPによって決められる。 γ のラベルを決める際に、 δ とNPに探査をかける。 δ 内の探査が弱主要部のCIを見出すため、ラベルはNによって決められ、NPとなる。したがって、CIが弱主要部であると仮定することにより、中国語の数量詞句のラベル付けも適切に行われる。

三つ目は、中国語では数量詞スクランプリングが不可能であることを説明できる。斎藤(2020)は、日本語の遊離数量詞にはスクランプリングが適用されるため、分類辞は弱主要部であると仮定している。もし中国語のCLが弱主要部であれば、数量詞にはスクランプリングが適用されるはずであるが、しかし、(27)に示すように、中国語の数量詞にはスクランプリングが適用されない。その理由は、ラベル付け理論で説明できると考えられる。

- (27) a. 张三买了三本书。(張三が三冊の本を買った。)
 b. *三本, 张三买了书。(三冊, 張三が本を買った。)

(Saito, Lin and Murasugi 2008: 310)

(28)

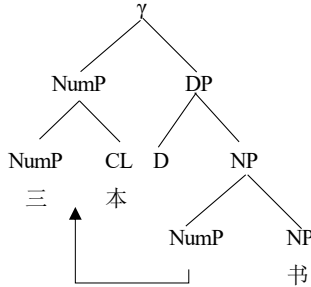


(28)に示すように、数量詞にスクランプリングが適用されると、 γ のラベル付けに問題が生じる。 γ のラベルを決定する際に、NumPとTPに探査をかける。NumP側の探査は、CIを見出すため、 γ にラベルを供給できない。また、Saito(2016)が主張するように、中国語のTPは、主格の共有⁵によりラベル付けされるので、 γ にラベルを供給することもできない。したがって、 γ はラベルをもらえずに排除される。

四つ目は、NP省略の認可の問題を解決できる。(29)に示すように、NumPがDの指定部に移動すると仮定すれば、(29)構造もNP削除を認可できる。しかし、この時、Dは音形のないものでなければならない。移動したあとの構造においては、特にラベル付けの問題が生じない。 γ のラベルを決定するとき、NumPとDPに探査をかける。NumP側の探査は、

CI を見出すため、 γ にラベルを供給できない。したがって、 γ のラベルは DP となる。NumP は、D の指定部にあるので、D の補部にある NP を削除することを認可できる。

(29)



したがって、本稿では、中国語の数量詞句も二次述語であり、数詞と分類辞と共に一つの構成素を成し、(25) のような構造を持ち、また、中国語の CL は、日本語の CL と同じように弱主要部であると考えられる。

5. おわりに

本稿は、Saito (2016, 2018)、斎藤 (2020) で提案されているラベル付けメカニズムに基づき、中国語の複合名詞句と数量詞句のラベル付けメカニズムを考察した。結論としては、中国語の関係節の後ろに現れる“的”や数量詞句に現れる CL が反ラベル付け要素として機能する弱主要部であると仮定すれば、中国語の複合名詞句と数量詞句のラベル付け問題を解決できる。したがって、Saito (2016, 2018)、斎藤 (2020) で提案されているラベル付けメカニズムは、中国語の複合名詞句と数量詞句に適用することができると考えられる。

注

* 本稿は、日中対照言語学会 2022 年 7 月月例会 (2022 年 7 月 16 日) における発表をもとに、大幅な加筆、修正を施したものである。参加者の方々には有益なコメントをいただいたため、この場を借りて感謝を申し上げます。

- 1 中国語の例文は、日本の例文をそのまま直訳したものであり、訳文は、筆者によるものである。
- 2 中国語には T (時制) があるかどうかについては、まだ共通の認識を得られていないが、本稿は、中国語には T があることを前提として議論を進める。中国語の T (時制) についての議論は、Lin (2015)、Tsai (2008) を参照されたい。
- 3 中国語の“的”の本質についての研究は多くあり、いまだに共通の認識は得られていない。“的”の本質について、今後の研究に譲りたい。
- 4 日本語訳は、筆者によるものであり、日本語母語話者によって確認されたものでもある。

- 5 中国語には抽象格があるかどうかは明らかではないので、さらに検討する必要がある。また、中国語の TP は、SPE (Specificity) 素性の共有によりラベル付けされるという提案もあるので、中国語の TP のラベル付けメカニズムをさらに研究する余地がある。SPE 素性の共有によりラベル付けされるという提案の詳細は、Yang and Lin (2020) を参照されたい。

参考文献

- 久野暁 (1973) 『日本文法研究』、大修館書店。
- 黒田成幸 (1980) 「文構造の比較」『日英語比較講座 — 文法』、國廣哲彌 (編)、大修館書店：23–61。
- 斎藤衛 (2020) 「弱主要部と言語類型論 — 日本語の文法的特質をめぐって —」『日本語研究から生成文法理論へ』、斎藤衛・高橋大厚・瀧田健介・高橋真彦・杉村恵子 (編)、開拓社：2–18。
- Cheng, Lisa.-Lai. Shen (1986) “De in Mandarin,” *Canadian Journal of Linguistics* 31, 313–399.
- Cheng, Lisa.-Lai. Shen, and Rint Sybesma (1999) “Bare and Not-So-Bare Nouns and the Structure of NP,” *Linguistic Inquiry* 30, 509–542.
- Chomsky, Noam (1995) *The Minimalist Program*, MIT Press, Cambridge, MA.
- Chomsky, Noam (2013) “Problems of Projection,” *Lingua* 130, 33–49.
- Chomsky, Noam (2015a) “Problems of Projection: Extensions,” *Structures, Strategies and Beyond: Studies in Honour of Adriana Belletti*, ed. by Elisa Di Domenico, Cornelia Hamann and Simona Matteini, 3–16.
- Chomsky, Noam (2015b) “The Architecture of Language,” *Sophia Linguistica* 64. [福井直樹・辻子美保子 編訳『我々はどうのような生き物なのか — ソフィア・レクチャーズ』、岩波書店、2015年]。
- Chomsky, Noam (2021) “Minimalism: Where Are We Now, and Where Can We Hope to Go,” *Gengo Kenkyu* 160, 1–41.
- Fukuda, Minoru (1993) “Head Government and Case Marker Drop in Japanese,” *Linguistic Inquiry* 24, 168–172.
- Kayne, Richard S (1994) *The Antisymmetry of Syntax*, MIT Press, Cambridge, MA.
- Kuroda, Sigeyuki (1988) “Whether We Agree or not: A Comparative Syntax of English and Japanese,” *Linguisticae Investigationes* 12, 1–47.
- Li, Yen-Hui. Audrey (1999) “Plurality in a Classifier Language,” *Journal of East Asian Linguistics* 8, 75–99.
- Lin, Tzong-Hong. Jonah (2015) “Tense in Mandarin Chinese sentences,” *Syntax* 18, 320–342.
- Miyagawa, Shigeru (1989) *Structure and Case Marking in Japanese: Syntax and Semantics Vol. 22*, Academic Press, New York.
- Saito, Mamoru (2016) “(A) Case for Labeling: Labeling in Language without ϕ -feature Agreement,” *The Linguistic Review* 33, 129–175.
- Saito, Mamoru (2018) “Kase as a Weak Head,” *McGill Working Papers in Linguistics* 25.1 (Special Issue in Honour of Lisa Travis), 382–391.
- Saito, Mamoru, Tzong-Hong. Jonah Lin and Keiko Murasugi (2008) “N'-Ellipsis and the Structure of Noun Phrases in Chinese and Japanese,” *Toronto Working Papers in Linguistics* 28, 297–321.
- Simpson, Andrew (2002) “On the Status of Modifying *de* and the Syntax of the Chinese DP,” In *On the formal way to Chinese languages*, ed. Sze-Wing Tang and Chen- Sheng Luther Liu, 74–101.
- Tang, Chih-Chen. Jane (1990) *Chinese Phrase Structure and the Extended X'-Theory*. Doctoral dissertation, Cornell University, Ithaca, NY.

Travis, Lisa and Greg Lamontagne (1992) "The Case Filter and the Licensing of Empty K," *Canadian Journal of Linguistics* 37, 157–174.

Tsai, Wei-Tien. Dylan (2008) "Tense anchoring in Chinese," *Lingua* 118, 675–686.

Yang, Tsai-Heng. Tiffany and Lin, Tzong-Hong. Jonah (2020) "Specificity and the Licensing of Subjects in Mandarin Sentences," *Nanzan Linguistics* 15, 65–75.

何元建 (2011) 《现代汉语生成语法》、北京大学出版社.

馮 一峰 (i_hyo@hokuyo.ac.jp)

若者言葉「まである」の意味機能に関する考察

— Twitter を用いた用例調査を基に —

藤田 航輝
北洋大学

A study on the Semantic Function of “made-aru” in Young People’s Words.
— Based on a survey of usage cases using Twitter. —

FUJITA Koki
Hokuyo University

提要

「まである」は近几年比较常见的一个年轻人用语。由于其在互联网中得到了广泛的使用，使其成为近年来的新词、流行语当中的代表。虽然通过媒体可以确认「まである」的定义，但对于它的语义功能以及它与「まで」之间的关联性仍有不明确的地方。由于BCCWJ无法找到足够的例子，本文采用了具有高级搜索功能的社交软件Twitter作为类语料库。本文从6000多篇帖子中提取了使用实例，并与「まで」进行了比较分析。结果表明，能够出现在「まである」前面的要素具有多样性，且「まである」具有其特有的用法。

1. はじめに

若年層がよく用いるスラング、俗語は一般的に「若者言葉」と呼称され、ら抜き言葉に代表されるように、中には日本語母語話者の間に広く浸透するものもある。「までである」もまた若者言葉の一つであるが、日常的に用いる日本語母語話者曰く、「～する可能性がある」のような意味で使用しているのだという。

初出は2000年代と言われている¹⁾が、今日ではインターネット上にて「までである」という表現は頻繁に用いられ、日常会話においてもたびたび耳にするようになった。2020年代における流行語・新語として、メディアに取り上げられるほどまでに浸透したといえる。

ただ、「までである」の用例をみると、由来となったと推測される助詞「まで」と「までである」における「まで」が同一の機能を果たしていると断定するまでには至らない。また、使用実態調査を伴う若者言葉に関する研究は様々であるが、管見の限り、「までである」について取り上げたものは確認できなかった。

本稿では、SNS上にて用いられた若者言葉「までである」の抽出ならびに分析を行い、ネットユーザーのインターネットユーザーにおける「までである」の使用実態を調査するとともに、主に意味機能の観点から由来となった助詞「まで」との比較分析を行い、主に意味機能の観点から考察する。

2. 先行研究

2.1. 「まで」の意味機能について

「まで」の定義については、格助詞や順序詞としての機能を認めるか解釈が分かれることがあるが、本稿では従来の「まで」の定義として、以下の記述に従うものとする。

まで□〔格助〕

- ①《継続する動作・作用や状態の表現を伴って》動作・作用や状態の限度となる点、または範囲を表す。
- ②《移動表現を伴って》到達点を表す。
- ③《数量表現に付いて》限度となる数量を表す。
- ④《「までに」の形で》物事が実現する期限を表す。

□〔副助〕

- ①極端なものを例示して、他はましてと暗示する。
- ②《こそあど言葉に付いて》程度がはなはだしいさまを表す。
- ③《「…(ほど)までに」の形で、動詞連体形に付いて》それが起こり得るような(程度の高い)段階であることを表す。…くらいに。
- ④事柄を軽いものとして示す。
- ⑤《「…までだ」などの形で》物事を限定して、他に及ばない意を表す。

⑥《「…まで(のこと)もない」の形で》そうしなくても十分である意を表す。…には及ばない。…しなくてもいい。

⑦《「…ないまでも」の形で》そうする必要はないとしても、せめて、の意を表す。

『明鏡国語辞典 第三版』(2020)より抜粋

とりたて詞としての「まで」は、「意外」の意味を付け加えることができる²。沼田(2009)は、とりたて詞「まで」がとりたててる対象(自者)とそれ以外の要素(他者)が序列上にあり、自者はその序列上にある最も極端な例であることを想定していることが文中に暗示されているとし、類義のとりたて詞である「も」や「さえ」との相違点を説明している。

2.2. 若者言葉「まである」の意味機能

三省堂主催「今年の新語2020」選考委員会は、同企画にて8位にランクインした「まである」について次のように定義した。

まで-ある〈連語〉

① [自分の基準からみて] 予想以上のものが存在する。「紅茶どころか、ケーキー」

② [動詞句・形容詞句に接続して] ある予想や基準をこえたことをおこなう。また、そのような状態である。「その絵が好きすぎて、日に五回見に行ったー」《用法》従来は、①のように、名詞に接続する用法だけであった。②は、公的な場面や文章では避けたほうがよい。

上記の定義には、とりたて詞「まで」が表す「意外」の意味も内包されていることが窺える。2.1.における定義では基本的に「まである」の形に前接するのは名詞であると想定されているのに対し、若者言葉としての「まである」においてはその限りではないことが説明されているが、「～する可能性がある」という意味については特に言及されていない。また、①については2.1.における「極端なものを例示して、他はましてと暗示する」と重なるが、本稿においては従来の「まで」の意味機能に含めるものとする。

2.3. SNS を利用した言語調査の事例

Twitter を用いた言語調査が行われた初期の研究の一つとして、五味、辰巳、新田(2011)による「違う」の形態変化や岡田(2013)による略語の使用実態調査などが挙げられる。特に岡田(2013)は検索機能サービスである TOPSY を用いることで新語・流行語の調査を行うことができる可能性を示した。TOPSY のサービス自体は2015年に終了してしまっているため、2022年現在利用することはできないが、Twitter の機能として文字列の検索、詳細な投稿日時の指定を行うことは可能なため、本稿の調査(後述)の実施に支障はないものと考えられる。

ただし、Twitter を利用した言語調査においては、①誤字・脱字・誤用の可能性がある、②口語表現としての使用実態がつかめない、③ユーザーの国籍や年齢等がわからない、あるいは虚偽の可能性がある、④ユーザーの任意で投稿が編集・削除することができるため、調査結果におけるサンプル数が変動する可能性がある、⑤一つの話題について複数の投稿が認められる場合や、他のユーザーとの対話においては、単一の投稿から文脈を把握することが困難な場合があるなどの懸念事項が挙げられる。本稿においては使用者の年齢や使用頻度等については分析の段階で考慮しないものとする。

3. 若者言葉「まである」の使用実態調査

3.1. 調査の方法

若者言葉「まである」としての用例と判断できるもの、即ち「まである」に名詞以外が前接しているもの、または名詞が前接していても 2.1 や 2.2. の①の定義に当てはまらないものを抽出していく。当初、現代日本語書き言葉均衡コーパス (BCCWJ) を用いた用例調査の実施を試みたところ、条件に当てはまる用例が数件確認できた。

- (1) 勝つまであるのかどうか…… (Yahoo! ブログ 2008 年)
- (2) 早めに出ようって言ったのは俺だし、賛成だけど十時に鳴海とか車で寝るまでである。 (Yahoo! ブログ 2008 年)
- (3) 当たってくれる人には勝てるけどそうじゃない人に全く勝てないまである俺の置きアッパー。 (Yahoo! ブログ 2008 年)
- (4) どちらでもないまであるのに信用できない…… (Yahoo! ブログ 2008 年)

上記の例では動詞の終止形もしくは連体形、打ち消しの助動詞「ない」を伴う動詞、形容詞「ない」など、いずれにおいても名詞以外が「まである」に前接しており、文脈的にも若者言葉のそれに該当すると判断できる。

2008 年の時点で若者言葉「まである」が存在し、実際にネット上で用いられていたことを確認することができたが、BCCWJ における調査のみではサンプル数が不十分であるため、本稿ではより多くの用例を収集すべく、日本におけるアクティブユーザー数が多く³、文字列レベルで投稿を検索できる SNS 「Twitter」を疑似的なコーパスとして用いる。文字列の検索「キーワード」、投稿時期の指定「still: 年月日時分秒」「until: 年月日時分秒」が可能な検索機能を利用し、任意の一日の 24 時間中における全ての投稿の中から文字列「まである」が含まれるものを抽出、その後、若者言葉「まである」が用いられていると判断できる用例数や前接する語(句)の詳細をみていく。なお、2.3. にて述べたように、Twitter における言語調査の事例がないわけではないが、SNS を利用することについて、いくつもの懸念事項があるため、本稿では使用者の性別、年齢、出身地等の属性に関わる一切の情報は調査・分析において考慮しないものとする。

また、用例については一つの投稿につき1例とし、同一のツイート内に「まである」の使用が複数確認できるものも1とカウントする。また、同一のユーザーによる投稿は、仮に自動投稿により同一の文面を定期的に投稿しているケースであっても延べ数によるカウントとする。

3.2. 調査結果

2022年11月20日に、Twitterの検索機能を用い、任意の日付(2022年11月1日)の投稿数を検索したところ(キーワード:「まである」since:2022-11-1_00:00:00_JST until:2022-11-1_23:59:59_JST)、文字列「まである」を含む投稿が6007確認できた。その後、若者言葉「まである」の用例と判断できるもの⁴を抽出した結果、4008例と、総投稿数におけるおよそ3分の2を占めていることがわかった。Twitterにおける投稿は飽くまで校正された出版物ではないため、誤用が含まれている可能性を否定できないとはいえ、この結果は今日において若者言葉「まである」が如何にインターネットユーザーに浸透しているかを示している。

若者言葉であると判断できる用例において「まである」に前接する要素に注目したところ、4008の投稿の中で、「いい/よい」を含む形容詞句が前接している用例が最も多く、215例であった。活用形「よかった/良かった」を含めると合計266例となり、全体の約6.6%を占める。その他、「可愛い/かわいい」「嬉しい」「楽しい」「怖い」などを含む形容詞句のほかに、「行く」を含む動詞句が前接している例も多くみられた。傾向として、若者言葉「まである」は動詞句や形容詞句が前接する用例が非常に多いことが判明したが、名詞が前接しているものも少なからずみられ、最も多い例で「引退まである」が13例確認できた。

「まである」の活用形として、文字列「まであった」を含む投稿も検索したところ、606件ヒットし、うち若者言葉であると判断できるものは61例であった。「まである」が全投稿の6割以上を占めていたのに対し、「まであった」の用例は全投稿の約1割に留まっている。なお、「まであった」の前接要素についてはおよそ半数の36例が動詞(句)もしくは形容詞(句)であったが、前接する語はバラバラであり、「まである」にみられたような傾向は確認できなかった。

4. 若者言葉「まである」の意味機能

4.1. 前接要素の解釈について

文字列「までいる」を3.における調査と同じ条件で検索にかけたところ、ヒットした投稿が83件あり、うち82の用例に名詞が前接していた。また、助詞「まで」の意味機能も従来の定義(極端な事例)に当てはまるものであった。用例数から考えて若者言葉「まである」と「までいる」の置き換えはできないといってよいだろう。

若者言葉「まである」に含まれる動詞「ある」は、主体となるモノや抽象概念の存在や所

表1 若者言葉「まである」の前接要素の上位10件

品詞／終止形	実際の文字列	用例数
形容詞 「いい」	「いい／よい／良い」「よかった／良かった」「よさそう／良さそう」「気持ちいい／良い」「きもちよかった」「ちょうどいい／良い」「ちょうどよかった」「丁度良い」「どうでもいい」「なんでもいい／良い」	266 (6.6%)
補助形容詞 「ほしい」	「てほしい／て欲しい」「てほしくない／て欲しくない」「てほしかった／て欲しかった」	135 (3.4%)
形容動詞 ⁵ 「好き(な)」	「好きな」「好き／好き」「好きだった」「好きじゃない」「好きじゃなかった」	105 (2.6%)
動詞 「行く」	「いく／行く」「行った」「行きたい」「行かない」「行きたくない」「いけない／行けない」「いってる／行ってる」	77 (1.9%)
形容詞 「楽しい」	「たのしい／楽しい」「たのしかった／楽しかった」「楽しそう」「楽しいな」	57 (1.4%)
形容詞 「面白い」	「おもしろい／面白い」「おもしろい」「面白かった」	49 (1.2%)
形容詞 「怖い」	「コワイ／怖い」「こわかった／怖かった」「怖くない」	46 (1.1%)
形容詞 「可愛い」	「かわいい／可愛い」「可愛かった」	43 (1.1%)
形容詞 「強い」	「強い」「強そう」	41 (1.0%)
形容動詞 「まし(な)」	「マシ」	35 (0.9%)

有、あるいは主体が特定の状態・属性を持っているようすを表すが、では「まである」に動詞句が前接している場合、その動作の主体と動詞「ある」の主体はどのような関係にあるのか。「まである」の前接要素で最も多く確認された動詞「行く」の用例で検証を行ったところ、77の用例のすべてにおいて、投稿者すなわち書き手が動詞「行く」の主体であると判断できた。

- (5) 食べたいものあり過ぎる⁶
食べ物のために旅行に行くまである

(5)が非文でないとするならば、動詞「ある」の主体となるモノや抽象概念が別に見出せなければならない。(5)における「まで」がとりたて詞の機能を果たしている場合、「食べ物のために旅行に行く」という動作は書き手にとって「極端な事例」であり、書き手が食べ物の

為に取るかもしれない行為・動作の候補が「旅行に行く」という極端なものにまで及ぶ（まして他の行為・動作については当然取る可能性がある）と解釈できる。若者言葉「まである」を用いる日本語母語話者が挙げた「～する可能性がある」という意味機能がこれにあたるのであれば、前接要素である「食べ物の為に旅行に行く」が連体修飾であり、「可能性」や「選択肢」といった名詞が省略された結果、動詞句、形容詞句の形として残っているものと考えられる。

(5) 食べたいものあり過ぎる

食べ物の為に旅行に行く(可能性)まである

また、形容詞「ない／無い」が前接している用例(12件)や、動詞「ある」が前接している用例(6件)が、少数ながら確認できたことも「まである」の前接要素となる動詞句や形容詞句が連体修飾部の一部である可能性を示唆しているといえる。「ないまである」や「あるまである」という表現は通常許容されないが、「ある」や「ない」が連体修飾要素であるならば幾らか許容される。

(6) 一番需要ないまであるな

(6) 一番需要ない(可能性)まであるな

(7) 一昔前どころかワンチャンまだあるまである

(7) 一昔前どころかワンチャンまだある(可能性)まである。

あるいは、事物の分量や程度を表す助詞「くらい／ぐらい」が省略されており、動詞「ある」の主体となっているのは書き手の思考や感情であるという可能性もあるが、その場合、用例(6)(7)の説明がつかない。ただ、省略の理由、また文脈を問わず常に省略可能であるかどうかは定かではない。

省略表現以外では、前節する動詞や形容詞が転成して名詞となることで従来の用法となる例も考えられる。文字列「まである」を含む投稿 6007 のうち、転成名詞が前接している例として、形容詞「懐かしい」が名詞化した「懐かしさ」が確認できる。

(8) 特定保健指導受けてた頃が懐かしいまであるな

(9) サングラスしてる要ちゃんもはや懐かしさまである

上記の2つの用例はどちらも書き手が特定の事物に対し懐古の念を抱いていることが読み取れ、置き換えることが可能であると考えられる。しかしながら、6007の投稿のうち、「まである」に形容詞「懐かしい」が前接している例が7件なのに対し、転成名詞「懐かしさ」が前接している例は2件であった。また、用例数が特に多かった形容詞「いい／良い」や「楽

しい「面白い」に至っては、転成名詞が前接している例が確認できなかった。日付の条件を考慮しなければ文字列検索においてそれにあたる用例を見つけることはできるが、少なくとも Twitter ユーザーには、「まである」の前接要素として形容詞や動詞がそれらの転成名詞と置き換えが可能な場合、そのままの形で用いることが選択されやすいようだ。

4.2. 「今年の新語 2020」選考委員会の定義の妥当性について

「今年の新語 2020」選考委員会の定義に則った場合、「②ある予想や基準をこえたことをおこなう。また、そのような状態である。」という意味機能は若者言葉「まである」特有のものであり、それに前接するのは動詞句、形容詞句である。同委員会が挙げた用例(10)の場合、「まである」に前接している「(絵を)日に5回見に行った」という行為が基準を超えている(日に5回同じ絵を見に行くのは普通ではない)と判断できるということだろう。

(10) その絵が好きすぎて、日に5回見に行ったまでである。

本稿にてこれまで挙げてきた用例にも、これにあてはまるものがある。一種の強調表現として捉えるのであれば、「今年の新語 2020」選考委員会の定義は妥当であるといえる。しかしながら、本稿の調査で抽出した、従来の定義には当てはまらない用例 4008 の中には「まである」に形容動詞や名詞が前接しているものも含まれていた。

- (11) マックの紙ストローは、ストローつかわずに蓋開けて飲む方がマシまである
- (12) ほんとと最近おもんないゲームしか無くてゲーマー引退まである
- (13) ラタ活復帰まである
- (14) ゲッコウガの衣装良すぎて復帰するまである

(11)は形容動詞「まし(な)」が前接している例であるが、「(ストローがあるにもかかわらず)蓋を開けて飲む」という行為が普通ではないという意味で、基準を超えていると判断でき、「今年の新語 2020」選考委員会の定義に当てはまっているといえる。(12)は名詞が前接しているもので最も多く確認された「引退まである」の用例であるが、書き手は自身が面白いと感じるゲームが(予想を超えて)全く存在しないためゲーマーの引退を考えている(または引退状態である)と解釈できる。このとき、「引退」は名詞でありながら動作を表すこともできるため、「まである」の前接要素として許容されているものと考えられる。「移行」や「復帰」、「優勝」などが前接する場合も同様のことがいえる。(13)(14)のように、動作を表す名詞が前接している例は動詞「する」が付いているものと意味するところは同じであり、置き換えが可能であると考えられる。

さらに、(15)のような感動詞が前接する例や、(16)のような文単位の前接要素もみられた。これらの用例は、若者言葉「まである」において「まで」がとりたて詞として「意外」の意

味を表す機能を果たしていると同時に、それに前接する要素は動詞句や形容詞句に限られないことを示している。「まである」の前接要素については、「今年の新語 2020」選考委員会の想定する範囲を超えて、実際はかなり幅広く自由な形で用いられているようだ。

- (15) なんか前にもこんなことがあった気がする。送ったやつらも忘れてた手紙が届いたことが。
むしろ日付かいてくれててありがとうまである
- (16) いっそ紅蓮に戻すしかない? ?まであるな最早

ただし、それらの用例が実際に許容されるかは定かではない。事実、感動詞や一部の名詞等について、「今年の新語 2020」選考委員会の定義に当てはまるか判断が困難な用例も確認された。

- (17) 正直一番見たいの翼まであるぞ?

(17)における「翼」は人名であり、なおかつ前後の文脈とも合わないことから、(17)について「(〇〇は勿論) 一番見たい翼までいる。」という解釈は考えられない。(5)(6)(7)のように省略されている要素がある可能性もあるが、「正直一番見たいの(は)翼の可能性まである。」とするのもやや回りくどく、書き手の意図から逸脱してしまっているような印象を受ける。

「まである」を一種の強調表現と捉えるのであれば、「一番見たいのは翼である。」という書き手の主張を強調している(このとき、とりたて詞「まで」の機能が減衰・消失している)と考えることもできるが、極端な例を挙げつつ、書き手の主張を強く述べる表現である「～と言っても過言ではない」と置き換えることもできるため、とりたて詞「まで」が全くの無関係であるとは言い切れない。

いずれにせよ、(17)の用例は「今年の新語 2020」選考委員会の定義ではいまいち説明しきれない部分があるように思われる。単純な強調表現として「まである」が機能していると考えられる例は一つではなく、「本番」や「本編」といった名詞でも同様のことがいえる。また、先述した動詞や形容詞が転成名詞に変化して産出されないことについて、単純な強調表現であると解釈するのであれば、その理由にも一応の説明はつく。

- (17) 正直一番見たいの翼と言っても過言ではないぞ?
- (18) 花後は剪定消毒誘引があるしそれ落ち着いたら植え替えもあるしで花終わってからが本番まである。
- (18) 花後は剪定消毒誘引があるしそれ落ち着いたら植え替えもあるしで花終わってからが本番と言っても過言ではない。
- (8) 特定保健指導受けてた頃が懐かしいまであるな (再掲)

4.3. 「まである」の再定義

「今年の新語2020」選考委員会は動詞句や形容詞句が前接する用法としてとりたて詞「まで」の機能を意識しつつ「②ある予想や基準をこえたことをおこなう。また、そのような状態である。」と説明した。結論として、とりたて詞「まで」の意味機能が「まである」のそれと関係していることははやや疑いようがないが、「まである」の形で産出されることで特有の意味を表せることもまた間違いなさそうだ。実際に生産性があるかを明らかにすることはできなかったが、今回の調査で明らかになった若者言葉「まである」の意味機能を整理すると、以下のように定義できる。

- ①動作や状態に関わる極端な例を挙げて、可能性があることを示す。
前接要素に副詞や比較の格助詞「より」が含まれることがある
例)「食べ物の為に旅行に行く____」、「電車に乗るよりも、車の方が早い____」
- ②単純な強調を表す。感情を表す形容詞、形容動詞に接続することが多い。
例)「懐かしい____。」「羨ましい____。」「不安(な)____。」
- ③〈名詞に接続して〉極端な事例を挙げつつ話し手の主張を強く述べる。と言っても過言ではない。例)「サッカーは後半戦からが本番____。」

(15)や(16)の例については、前接要素から書き手の心情を読み取ることができるため、上記の定義においては②に該当するものと推測される。また、(19)や(20)の例のように、感情を表す形容詞が前接している場合であっても文脈によって①や③として解釈されることがある。

- (15) なんか前にもこんなことがあった気がする。送ったやつらも忘れてた手紙が届いたことが。
むしろ日付かいてくれててありがとうまである (再掲)
- (16) いっそ紅蓮に戻すしかない??まであるな最早 (再掲)
- (19) 1等とか2等来ても嬉しく無いw
4等の方が嬉しいまである。
- (20) 買ったグッズを整理するのがいちばん楽しいまである

5. おわりに

本稿では、単なる用例調査に終始する結果となったが、今回の調査で確認できた膨大な用例は、若者言葉「まである」がインターネットユーザーの間に浸透していることを裏付けた。また、(15)や(16)のような感動詞、文の前接要素も許容されることが明らかとなり、「形容詞ない/無い」や動詞「ある」の例が示すように、「まである」に前接する動詞句や形容

詞句が連体修飾成分である可能性や、単純な強調表現としての解釈の可能性も示唆された。しかしながら、SNSを疑似的なコーパスとして用いることのデメリットを妥協した結果、用例数が少ない表現について、日本語母語話者に許容されるかどうかという問題を先送りすることとなった。また、とりたて詞「まで」は通常「意外」の意味を付け加えるが、「までである」の意味機能として挙げた「可能性」についてはさらに深く掘り下げる余地がある。若者言葉「までである」が実際に産出されることは明らかとなったため、今後は対象者の属性を考慮した、日常会話において口語として用いられる「までである」も扱った具体的な調査へと舵を切ることで、より正確な使用実態を明らかにすることができるだろう。

注

- 1 Twitter 上における初出は 2007 年 7 月 2 日「なにやってんのまでである」であった。
- 2 庵、高梨、中西、山田 (2001) はその他にも、とりたて詞「まで」は動詞の辞書形、イ形容詞、ナ形容詞を取り立てることはないという立場を取っており、その点でも若者言葉「までである」の用法の特異性が際立つ。
- 3 2017 年 10 月 27 日時点で月間利用者数が 4500 万人を超えている。(https://twitter.com/TwitterJP/status/923671036758958080?s=20&t=ecx1bTXWLZ5jnKCBZ0dY_w)
- 4 誤字、脱字により文意が読み取れないもの、明らかに非文であると判断できるものは除く。投稿の中に誤字、脱字がみられても「までである」の意味の判断に支障がない場合はカウントするものとする。また、単一のツイートから文脈が読み取れず、判断が難しい場合、当該ツイートの投稿者の前後の投稿等から推測し判断する。
- 5 「までである」に形容動詞が前接している用例において、「好き」「好きな」などのような表記ゆれが認められたが、本稿ではこの点について深く追究せず、文脈から形容動詞であると判断できた場合はどちらもカウントしている。
- 6 実際のツイートでは絵文字が使用されていたが、本稿では省略する。また、改行や句読点の有無については原文のままとする。

本稿にて引用した Twitter の投稿 (すべて投稿日: 2022 年 11 月 1 日)

- (5) https://twitter.com/okanyade0930/status/1587421660378189824?s=20&t=wITzCuiuM2Aq6wBs_vA9vQ
- (6) https://twitter.com/neko55go/status/1587453367802265600?s=20&t=yohlLvGlawAAlCAoDbSYg
- (7) https://twitter.com/sideMochidzuki/status/1587444612788293632?s=20&t=SkbWhcbw3t6_Kr-Dd5pb0Q
- (8) https://twitter.com/KazzrockMetal/status/1587263772816596992?s=20&t=wITzCuiuM2Aq6wBs_vA9vQ
- (9) https://twitter.com/5757575/status/1587404279866068992?s=20&t=wITzCuiuM2Aq6wBs_vA9vQ
- (10) https://twitter.com/tvgames/status/1587412075223007233?s=20&t=wITzCuiuM2Aq6wBs_vA9vQ
- (11) https://twitter.com/kana_fox/status/1587374403523735553?s=20&t=wITzCuiuM2Aq6wBs_vA9vQ
- (12) https://twitter.com/0528negi/status/1587417205347868672?s=20&t=wITzCuiuM2Aq6wBs_vA9vQ
- (13) https://twitter.com/pkk461/status/1587305860669505536?s=20&t=yohlLvGlawAAlCAoDbSYg
- (14) https://twitter.com/sisuta_kc/status/1587444905152217088?s=20&t=wITzCuiuM2Aq6wBs_vA9vQ
- (15) https://twitter.com/takoring460/status/1587326285314809856?s=20&t=wITzCuiuM2Aq6wBs_vA9vQ

- (17) https://twitter.com/mt_million_s/status/1587114749170704384?s=20&t=wITzCuiuM2Aq6wBs_vA9vQ
- (18) https://twitter.com/eraxmao/status/1587100017726091264?s=20&t=wITzCuiuM2Aq6wBs_vA9vQ
- (19) https://twitter.com/kkmkazumi/status/1587426882277908480?s=20&t=wITzCuiuM2Aq6wBs_vA9vQ
- (20) https://twitter.com/krkrk_0000/status/1587346924109459458?s=20&t=wITzCuiuM2Aq6wBs_vA9vQ

使用コーパス

『現代日本語書き言葉均衡コーパス 中納言』(BCCWJ)、国立国語研究所

参考文献

- 庵功雄、高梨信乃、中西久美子、山田敏弘 (2001) 『中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック』スリーエーネットワーク
- 岡田祥平 (2013) 「Twitter を利用した新語・流行語研究の可能性：アイドルグループ『Sexy Zone』の略語を例に」『新潟大学教育学部研究紀要 人文・社会科学編』第6巻 第1号 pp.49-74
- 北原保雄編 (2020) 『明鏡国語辞典 第三版』大修館書店
- 五味伸之・辰巳暢・新田優喜 (2011) 「Twitter を利用した言語形態の変化についての研究」『福井工業高等専門学校研究紀要 人文・社会科学』第45号 福井工業高等専門学校
- 沼田善子 (2009) 『現代日本語とりたて詞の研究』ひつじ書房

参考URL (最終情報取得日：2022年11月30日)

CiNii (<https://cir.nii.ac.jp>)

DICTIONARIES & BEYOND WORD-WISE-WEB 三省堂 辞書ウェブ編集部によることばの壺「三省堂 辞書を編む人が選ぶ「今年の新語 2020」」(<https://dictionary.sanseido-publ.co.jp/shingo/2020/best10/Preferenceall.html>)

Twitter (<https://twitter.com>)

藤田 航輝 (ko_fujita@hokuyo.ac.jp)

現代日本社会での人間関係における敬語使用の考察

— 平成時代初期の小説やテレビドラマシナリオの中の会話例を通して —

福本 達也
北洋大学

A Study of the Use of Honorifics in Human Relationships in Modern Japanese Society

— Through Conversation Examples in Novels and TV Drama Scenarios
in the Early Heisei Period —

FUKUMOTO Tatsuya
Hokuyo University

Abstract

In this paper, I investigated how the use of honorifics appeared in the human relationships of the characters in modern novels and TV scenarios in the early Heisei era (1989–1993), giving examples of conversations.

Special honorifics such as affectionate expressions without respect, jokes, teasing, and sarcasm were seen between very close people. Between people who belong to the same affiliation or who know each other well, the hierarchical relationship is an element of using honorifics. It can be said that the hierarchy of workplace status is stronger than the hierarchy of age. Members of parliament, doctors, presidents, and heads of organizations are treated more highly than other occupations, and honorifics are used. Expressions that express the speaker's thoughts and feelings are more likely to appear in front of people close to him or younger than him, but less likely to appear in front of people superior to him or people he is not familiar with. In terms of gender, it is often seen that women in particular use honorifics even for their immediate peers and close friends, but this is mainly a special honorific usage without respect, such as affectionate expressions, jokes, and sarcasm.

1. はじめに

日本語の敬語は社会や人間関係と密接に結び付いているものであり、話す人の心理や考え方を表しているものである。現代日本社会で、さらに日本語、日本文化の中で敬語は重要な位置を占めている。現代日本社会において敬語は敬意を表すものとして使われているとされる。では実際の社会では敬語はどのような時にどのように使われているのであろうか。それらを知ることは、敬語の教育をする上でも重要になってくる。そのために、実際の社会で敬語がどのように使用されているかを調べ、社会の特性や人間関係や人々の考え方・心理等を明らかにする必要がある、また、実際の日本の社会の人間関係において、いわゆる文法上の敬語形式全般の中で、具体的にどういう時にどういう敬語が使われるのか、また何が敬語使用の条件になっているのかななどを具体的に調べる必要があると考える。時代別社会での敬語使用についての考察で、まず第1番目に平成時代初期の社会の敬語使用について考察することにする。

本稿では実際の社会における敬語使用を考察する手段として、現代小説やテレビシナリオを用いることにする。現代小説やテレビシナリオは現実の社会を反映していると考える。平成初期の現代小説やテレビシナリオの中に登場する人物の心理・性格や場面の雰囲気・人間関係を会話例を通して分析し、敬語使用がどういう時にどのように現れているのかということ考察して行くことにする。

2. 先行研究

敬語成立の条件として、辻村敏樹は「敬語を成立させる基本条件としての上位待遇意識を生み出す条件」¹として、

- (一) 上下関係として、(1) 同一組織内の地位 — 職場では部下が上役に対して。(2) 社会階層 — 皇室や府県知事や国会議員、会社の重役、医者などに対して高く遇する傾向がある。(3) 年上に対して敬語を使う。(4) 経歴の長短 — 後輩が先輩に対して、能力よりも経験の長さを重要視する、年功序列の存在。
- (二) 恩恵・負い目の関係 — 恩恵を受ける者は与える者に対して敬語をもって接するのが普通。医者と患者、客と商人、教師と生徒の父兄などの関係で後者が前者に対して。
- (三) 力関係 — 権力、腕力のある者に対して。
- (四) 親疎関係 — 疎い者に対しては敬語を使い、親しい者には使わない。

と言うふうに考察している。

また、菊池康人は待遇表現の使い分けに関係する諸ファクターとして次のようなものを上げている²。

- (1) 社会的ファクターとして、A. 場および話題 — その場の構成者 話手 聞手 第三者：それぞれどういう人か、お互いの関係。場面の性質：どういう場面か、話題：どういう話題か。B. 人間関係 — 上下関係：社会的地位、先輩 後輩、年齢上下。

立場関係：恩恵授受関係、強弱関係、優劣関係。親疎関係。内外関係。

- (2) 心理的ファクターとして、A. 待遇意図。ごく一般的な待遇意図：相手に丁寧な表現をするかしないか。恩恵の捉え方、親疎の距離の取り方、内外の捉え方。特別な待遇意図：皮肉、いじわる、ふざけ等。B. 背景的ファクター：人物や場面等に対して持つ心理。C. 表現技術：伝達効果の観点からの考察。

このように上げている。これらの先行研究では具体的にどうなっているのかは表されていない。そこで本稿ではこれらの先行研究を踏まえながら、具体的に敬語使用の様相と条件がどうなっているのかを調べてみたいと思う。

福本（2022）³では家族内では敬意のない特別な敬語使用がされていることを明らかにした。

3. 研究方法

本稿では平成時代初期（1989～1993年）のテレビドラマシナリオや小説の中の社会における各人間関係を細かく分類しその人間関係の中でどういう場面や時、話者の心理状態にどういう敬語形式・表現が現れたり用いられたりするのかについて例文を挙げながら調べて行くことにする。

例文を挙げたテレビドラマシナリオや小説は次のとおりである。

1. ひらり 内館牧子 講談社文庫 1993年 → (ひ)
2. 愛という名のもとに 野島伸司 1993年 → (愛)
3. 101回目のプロポーズ 野島伸司 角川書店 1992年 → (101回)
4. 思い出に変わるまで 内館牧子 ワニブックス 1991年 → (想)
5. 決闘 赤川次郎 角川文庫 1989年 → (決)
6. 恍惚の人 有吉佐和子 新潮文庫 1982年(1990年テレビドラマ放映) → (恍)

今回はこれらのテレビドラマシナリオや小説の中に出てくる社会における人間関係での敬語使用の様相や特性について調べて行くことにする。

社会における人間関係の分類方法は上記の先行研究のファクターの分類をもとにして自分なりに整理し直し次のように分類した。職場での上司部下間、同僚間、学校での先生生徒(学生)間、生徒・学生間、友人間、店員と客間、地域・一般での人間関係のように分類し、それぞれの関係での文法上の敬語形式が使われている会話文の中で、敬語使用の会話文を抜き出し、例文として挙げながら考察していく。それぞれの場合の例文において誰が誰に言った言葉なのか、どういう場面・状況で、どういう意図で言った言葉なのか等を具体的に見ていくことにする。本稿では話し手と聞き手だけの会話の例(話題が当事者だけ)を挙げることにする。

4. 社会での各人間関係別の敬語使用の例

4.1 職場における関係

4.1.1 上司→部下

- 例 1. 健吾さんはそういうことを少し誤解していらっしやる(国会議員第一秘書 40 代→秘書見習い 25 才 国会議員息子：愛 10-2)
2. またか。頼みますよ、営業部長殿。(支店長 48 才→課長 39 才：ひ 1-21) おどけ、頼み
3. うちが高津君がいるからもっているようなものです。どうもありがとうございます。(証券会社課長→男社員 26 才：愛 3-3) おどけ
4. それは不健康な太り方だって親方はいつも言ってるでしょう。(56 才おかみ→力士達：ひ 1-73) たしなめ
5. 酒と米だけは頂きましょう。(兄弟子→弟弟子：ひ 1-236) おどけ
6. お、強がりて来ましたな。(衣料商会社長 40 才→女社員 20 才：ひ 1-296) からかい

上司が部下に対して敬意を持っている敬語を使う例はほとんどなかった。例 1 は相手が後輩・見習い秘書であるにもかかわらず自分が仕えている国会議員の息子なので国会議員を意識して敬語を用いているという場合である。

また、敬意のない敬語の例もある。相手を高めたり敬う為というよりは、おどけ(例 2、3、5)、からかい(例 6)、親愛(例 4)の表現の方が多い。それから、例 2 は相手に軽い頼みをする場合、例 3 はお礼をする場合、例 4 は軽くたしなめる場合である。

4.1.2 部下→上司

- 例 7. おはようございます。この三社融資したはいいですけど。(39 才課長→支店長 48 才：ひ 1-31)
8. 余計なことは言わないほうがいいですよ。(男社員 25 才→係長 42 才：101 回 P21)
9. あの、部長、言わずらいんですが。(係長 42 才→30 代部長：101 回 P18)
10. あ、じゃ私、ちょっと様子見てまいります。(係長 42 才→30 代課長：101 回 P62)
11. 先生、この間は貴子に会っていただきありがとうございますございました。(25 才国会議員秘書見習い・息子→国会議員・父親、議員会館にて：愛 6-7)
12. 調べますか。(40 代国会議員秘書→国会議員：愛 3-6)
13. すいません、今夜友達と約束あるもんですから。(証券会社社員 26 才男→課長：愛 5-4)
14. 伊藤先生、お電話です。(看護婦→医者：愛 6-6)
15. ハイッ、わかってます。(24 才力士→親方 53 才：ひ 1-27)
16. ありがとうございます。(18 才力士→40 才相撲稽古指導：ひ 2-22)
17. 早くなんとかならんもんでしょうか。(相撲部屋親方 53 才→57 才先輩一門親方：

ひ 1-86)

18. 社長、商品を改めてチェックしてみたんですけど。(37才女社員→40才衣料商会社社長：ひ 1-260)
19. ご相談もせぬうちから出すぎたことかと思いましたが。(37才女社員→40才衣料商会社社長：ひ 1-261)
20. 社長、私のこと採用して下さいってほんとうにありがとうございます。(20才女社員→40才衣料商会社社長：ひ 1-264)
21. 頭、おはようございます。(トビ職達→75才トビ組頭：ひ 1-278)
22. 今日、12時少し前に外出させて下さいませ。(37才女社員→40才衣料商会社社長：ひ 1-502)

上のようにこの場合は一番例が多い。注意すべきことは職場内職位の上下関係が年齢の上下関係に優先するということである⁴。例9、10は相手が年下であるが上司なので敬語を使っている例である。部下と上司の関係は親疎関係によっても言葉使いに差が見られる。日頃一緒に仕事をしたりして親愛感を持っている上司に対する部下の敬語使用は簡単になっている(例7、8、15、17、18、21)。また相手に何か頼む時(例22)、言い訳をするとか謝る時(例9、13、19)、お礼を言う時(例11、16、20)の場合は普通の時よりより丁寧な言葉(敬語)使いになっている⁵。例11は親子の会話であるが、場所が職場であり、上司と部下の関係であるため敬語を使用している。

4.1.3 職場同僚間

- 例23. すいませーん。(19才女社員→25才同僚女社員：ひ 1-42)
24. こうするともっと働き者に見えるでしょ。(25才女社員→29才同僚男社員：ひ 1-42)
25. 一週間ぐらいです。(デパート女店員→26才同僚女店員：愛 2-7)
26. すいません。おかわりを。(18才力士弟弟子→17才力士兄弟子：ひ 1-148)
27. お陰さまで二人とも合格致しました。(18才力士弟弟子→17才力士兄弟子：ひ 1-157)
28. すみれさん、何でもやりますから教えて下さい。(20才女社員→37才先輩同僚女社員：ひ 1-265)
29. どうぞ、何十年でも口開かないで下さい。(20才女社員→37才先輩同僚女社員：ひ 1-369) 皮肉、怒り
30. さて、思うようにいきますかね。(女教師→26才同僚女教師：愛 8-1) おどけ、からかい

同僚間の場合は年齢の上下や経歴の長短が主な敬語使用の条件になっているようであ

る。職場に早く入った者は先輩となり遅く入った者は後輩となって年齢に関係なく経歴の上下関係が成立し、普通後輩は先輩に敬語を使う傾向がある(例 23、24、26、27、28、29)。また親疎関係によっても敬語使用に変化が見られ、とても親しい場合には敬語使用はあまり見られず、あまり親しくない場合には敬語使用が見られる(例 23、24、25、28、29)。また相手に特別に好意を持っている場合にはその人の前で自分をよく見せようとして敬語を使っている場合(例 24)もあるし、改まって頼む場合(例 26、28)にも敬語を使ってより丁寧な言い方をしようとしている。また例 29 は怒りの感情を表しているが相手が自分より年上で先輩なので仕方なく敬語を使って相手を立てている場合で、言葉の中に怒りを込めているのがわかる例である。例 23 は相手を少し見下しているが一応相手が先輩で年上なので相手を立てる意味で簡単な敬語を使っている場合であり、10 代の若者の言葉使いとして簡単な敬語使用となっている。例 25 は客と一緒にいる場面で客を意識して同僚の店員に対して敬語を使っている場合である。

例 30 はおどけ、からかいの意で敬意のない敬語を使っている場合である。

4.2 学校での関係

4.2.1 先生→生徒・学生

- 例 31. 今の問題は去年提出されてますから後で各自補習しておいて下さい。じゃ、次行きます。(26 才女先生→男子高校生達：愛 1-7) 教室生徒全体の前で
32. 誰だね? 静かに入ってきたまえ。(教授→男子大学生：決 P68) 講義室授業中学生全体の前で
33. 君、もてたでしょう。(26 才女先生→男子高校生：愛 9-2) 親愛語

上の例 31 は学校のクラスの生徒・学生全体の前で先生が話す公の場合であり、それで敬語が使われている。しかし、簡単な敬語となっている。例 32 は学校のクラスの学生全体の前で教授が話す公的な場合であり、敬語が使われているが、敬意は感じられない。また敬語の命令形「たまえ」が使われていて、敬意のない少し上品ぶって話す話し方をしている。例 33 は敬意のない親愛語の使用方法である。上の例はいずれも簡単な敬語使用になっている。

4.2.2 生徒・学生→先生

- 例 34. 先生、終わりました。(男子高校生→26 才女先生：愛 1-7)
35. 単純なケアレスミスがありました。ここなんですけど。(男子高校生→26 才女先生：愛 1-7)
36. いつもちゃんと来てますよ。(女子大学生→教授：決 P54) いいわけ
37. あ、風谷先生。典子とホテルからご出勤?(女子大学生→教授：決 P56) 皮肉、からかい

例 34、35 は高校生が先生に話す例である。高校生ぐらいになると成人と同じような言葉使いをするようである。例 36 は少しひがみっぽくいいわけをしている例であり、例 37 は皮肉とからかいを混ぜた言い方ではあるが一応相手が教授なので相手を立てた言い方になっている。しかし現代の若者の特徴である軽い簡単な敬語使用である⁶。

4.2.3 生徒・学生同士

例38. 入会しまーす。(女子大学生→男子大学生先輩：101 回P2)

39. 私はずっと真面目にやります。(20 才女子大学生一年生→22 才男子大学生三年生先輩：101 回P6)

例 38、39 を見ると学生同士では学年の違いによって下の学年が上の学年に対して簡単な敬語を使っているのがわかる。

4.3 友人間

4.3.1 男同士

例40. おあいにくさまでした。(26 才男→26 才男大学同級生：愛 1-2) おどけ、からかい

41. 宵越しの金は持たねえのと粋がってる御仁に限って一圓の金に泣く。(75 才男賃屋→75 才男トビ職：ひ 1-115) 皮肉

男の友達同士の会話ではほとんど敬語が出てこない。例 40 は敬意のないおどけやからかひの意図で敬語を使用している場合であり、例 41 は敬意のない皮肉の意図で「御仁」という敬語を用いている。

4.3.2 女同士

例42. 今、旅って女の人のの方が自由にしてるでしょ。お陰さまで女性初の編集長。(47 才女→短大同級生達：ひ 1-219)

43. ううん。都内でも指折りの進学校でしょう。(26 才女→26 才女大学同級生：愛 1-11)

44. そんなのあたしの問題でしょう。(26 才女→26 才女大学同級生：愛 2-10) 少し怒り気味

45. 尚美なら独身でいい人、いくらでもいるでしょう (?). (26 才女→26 才女大学同級生：愛 3-6)

46. あたし、暗くないでしょう (?). (26 才女→26 才女大学同級生：愛 6-2)

47. バカ、好きなんでしょ (?), 山下さん。(27 才女→26 才女会社同僚：ひ 1-43)

48. ご報告。(20 才女→20 才女中学校同級生：ひ 1-58)

49. 知ってんでしょ (?). (20 才女→20 才女中学校同級生：ひ 1-58)

女の友達同士の会話では多くの場合、親愛の意味で上の例のような敬語を使っているが、これらの敬語は敬意のない、やわらかく上品な感じを与える敬語の使い方をしている(例 42、43、45、46、47、49)。例 44 は少し怒った場合であり、例 45 は相手を説得しようとして少し強い口調になっている場合であり、例 46 は少しおどけながらも相手に同意と確認を求めている場合であり、例 47 は相手をたしなめている場合であるが、いずれも「でしょ(う)」を使ってやわらかい口調になっている。例 48 は少しおどけた場合である。

4.3.3 異性間

例50. ご苦労さま。(26 才女→26 才男大学同級生：愛 2-3)

51. 尚美が紹介してくれたお陰です。(26 才男→26 才女大学同級生：愛 4-2) お礼

52. 書いているんでしょ。(26 才女→26 才男大学同級生：愛 1-4)

53. お姫様、ご機嫌うるわしゅう(ございます省略)。(26 才男達→26 才女大学同級生：愛 1-6) おどけ

54. 辞めないわよ。私。言ったでしょ。(26 才女→26 才男恋人、大学同級生：愛 1-13) 少し不機嫌

55. そんな仕事、あるわけないでしょう。(26 才女→26 才男大学同級生：愛 2-1)

56. 仲間でしょう(?)。(26 才女→26 才男大学同級生：愛 2-2)

57. やだ、あんたまさかやる気じゃないでしょうね。(女友達→26 才男：愛 2-6)

58. 教師が不純異性交遊できません。(26 才女→26 才男恋人、大学同級生：愛 2-8) つっぱね、たしなめ

59. あたしはね、そんなに結婚、結婚って飢えてませんよ。(26 才女→26 才男大学同級生：愛 3-8)

上の例 50 は相手に慰労と感謝の意図で丁寧に言っており、敬意が見られる。例 51 は相手は友達であるが、相手にあらたまってお礼を言っていて、相手に対する敬意が感じられる。

女性が男性に対して敬語を使っている例(例 52、54~59)が多い。しかしこれらの敬語は敬意はなくやわらかい親愛の表現であり、女性らしさを表していると言える。その中で例 55、58 は相手をたしなめる意図で敬語を使って冷たく相手を分別している場合であり、例 54、59 は不満の意味を込めて敬語を使っている場合である。例 56 は相手に確認を、例 57 は相手に確認と忠告をしようとする場合である。また男性が女性に対して敬語を使っている場合はおどけ(例 53)のように特別な場合だけである。

4.5 職員・店員と客の間

4.5.1 職員・店員→客

例60. おまたせしました。隣の窓口行って下さい。時男、おい、時男、おい。(区役所男職

員→男親友、客として：愛 1-8)

61. 熊田さん、買いましょうよ。お願いします。ええ、大丈夫です。(証券会社男社員→客：愛 1-9)
62. 来週になります。(26 オデパート女店員→26 才男大学同級生、客として：愛 2-7)
63. お待たせしました。300 円になります。次の方どうぞ。(26 才区役所男職員→客：愛 2-7)
64. お客さま、見るだけですと入場料お一人 300 円なんですけど。(37 才女店員→10 代女の客：ひ 1-395) 怒り、冷たく
65. 少々お待ちください。(警官→26 才男客：愛 4-10) 警察署で
66. いらっしやいませ。さあ、どうぞ、奥の方へ。お預かりいたします。(スナックママ→26 才男客：愛 6-4)
67. 今日手術予定の方ですね。あちらで少々お待ちください。(看護婦→26 才女客・患者：愛 6-5)
68. 何をお持ちになってますか。(75 才男質屋店主→20 代男客：ひ 1-40)
69. 幸栄銀行横浜山手支店長の荻沢でございます。(48 才銀行支店長→70 才女客：ひ 1-127) 客の家で
70. いらっしやいませ。何かご入り用でしょうか。(40 才衣料商会社長→20 才女客：ひ 1-251)
71. お客さん、困りますよ。(26 オパチンコ屋男店員→40 代男の客：愛 12-3) 乱暴客に

上の例のように職員・店員と客の関係では、職員・店員が客に対してはどんな場合でも程度の差はあっても丁寧な言い方をしている。例 60、62 は相手が友達であるが客として遇して敬語を使っている場合である。例 70 は自分は社長という身分であり相手よりはるかに年上であるのに相手が客であるので相手に丁寧な敬語を使っている場合である。例 64、71 は相手が乱暴を働く客であるとかわがままな客なので、相手に怒りつつも丁寧な言い方をしている場合である。このように、相手を客として認識した場合は、その客に対してはその客がどんな相手であっても丁寧な言い方をしているのがわかる。

4.5.2 客→職員・店員

- 例 72. すいませーん、お金貸して下さい。(20 代男客→75 才男質屋店主：ひ 1-40)
73. ご丁寧な恐れ入ります。(70 代女客→48 才銀行支店長：ひ 1-127) 客の家で
74. すいません、ちょっと。(53 才男客→ウェイター：ひ 1-172)

例 72、74 は客が職員・店員に何か頼む場合で相手への簡単な気遣いが見られる。例 73 は家に訪問して来た銀行員が支店長であるので、相手の身分に配慮したり、自分の品性が高いことを示すために丁寧な社交的なあいさつをしている場合である。

4.6 地域・一般における関係

4.6.1 社会的地位上下関係

- 例75. また朝稽古見に参りました。(75 才男隣家質屋→56 才相撲部屋おかみ：ひ 1-12)
76. 親方、みんな気合い入ってますな。(75 才男隣家質屋→53 才相撲部屋親方：ひ 1-26)
77. これも秋田の川ですな。(75 才男隣家トビ組頭→53 才相撲部屋親方：ひ 1-46)
78. お騒がせしました。あきらめます。(20 才隣家娘→53 才相撲部屋親方：ひ 1-80)
79. そうですか。わざわざうちに来てご挨拶頂きまして。(47 才隣家主婦→53 才相撲部屋親方：ひ 1-82)
80. おかみさん。とりあえずの着がえです。(25 才隣家娘→56 才相撲部屋おかみ：ひ 1-88)
81. 親方、万が一の入院に必要なものそろえておきました。(25 才隣家娘→53 才相撲部屋親方：ひ 1-85)
82. ご心配をおかけしまして。(56 才相撲部屋おかみ→57 才一門親方：ひ 1-86)
83. 親方、小さいながらもうちは秋田では老舗の造り酒屋です。(45 才力士母親→53 才相撲部屋親方：ひ 1-92)
84. 幸せですねえ、親方。(48 才隣家主人→53 才相撲部屋親方：ひ 1-171)
85. 安藤先生、ついた早々から申し訳ありません。(24 才力士→30 才医者：ひ 1-153)
86. おわかりになったらどうぞお引き取り下さい。(20 才女→30 才医者：ひ 1-154) 皮肉、冷たく
87. あ、いえ、おはようございます。(25 才女→30 才医者：ひ 1-162)
88. 脳卒中や心筋梗塞の心配はないのでしょうか。(48 才男患者の息子→30 才医者：ひ 2-201)
89. ありがとうございます。あの。薬は。(力士→30 才医者：ひ 1-182)
90. 先生、私は好きなものをやめてまで長生きしようとは思っておりません。(75 才男患者→30 才医者：ひ 2-49)
91. では、近々お越しをお待ちしています。(56 才相撲部屋おかみ→30 才医者：ひ 1-270)
92. 先生、完成のあかつきには是非ご指導お願いいたしますよ。(建設業者→国会議員：愛 9-3)
93. こんな頼もしい二世がおられる。(財界人→国会議員：愛 1-8)

上の例からもわかるように、社会的に地位が高いとされている職業の国会議員（例 92、93）、医者（例 85、87～91）などに対しては高い敬語を以って遇している⁷。例 75、76、77 は相手が自分より年下であるが相撲部屋の親方・おかみであるという身分・地位を意識して敬意を表している場合である。また例 88、90、91 も相手が自分よりもかなり年下であるが

医者という身分・立場を意識しての言動⁸で、高い敬語を以って遇している場合である。例 92、93 は社会的地位が高いとされている財界人（大企業社長等）も国会議員に対しては敬語を以って接している例である。例 86 は憤りを感じながらも相手が医者なので、皮肉を込め冷たい口調で敬意のある敬語を使っている例である。

4.6.2 年上→年下

- 例 94. 僕はそれでもいいって言いました。(42 才男→30 才女：101 回 P27) 好意
 95. 梅響さん、ありがとうございます。(37 才女→24 才力士：ひ 1-490) 好意
 96. ちょっとぐらいいいでしょ。(56 才相撲部屋おかみ→43 才男トビ職：ひ 1-45) 親愛
 97. お入んなさーい。(56 才相撲部屋おかみ→20 才女：ひ 1-79) 親愛
 98. 親方がよく言ってるでしょう。(56 才相撲部屋おかみ→18 才力士：ひ 1-165) たしなめ
 99. 相撲文字、難しいでしょ。(20 才女→15 才相撲部屋行司見習い：ひ 1-191) 親愛
 100. 僕に期待されちゃ困りますよ。(30 才医者→20 才女：ひ 1-154) 皮肉
 101. 半年たったら大学の医局に戻らせてもらいます。(30 才医者→20 才女：ひ 1-154) 皮肉
 102. アンタ、年中そうやってギャーギャーわめいて疲れませんか？(30 才医者→20 才女：ひ 1-154) 皮肉
 103. そいつァ失礼申し上げました。(30 才医者→20 才女：ひ 1-154) 皮肉

上の例 94、95 は年上が年下に敬意のある敬語を使っている場合であるが、相手を異性として意識し相手に好意を持っているので、相手に自分をよく見せようという心理が働き、上品にやわらかくより丁寧に接しようとして敬語を使っているようである。

例 96～99 の話者と聞き手は親しい関係で、話者は相手に親愛を表す目的で敬意のない敬語を使っている。例 98 は相手に対し親愛の意を示しながら少し相手をたしなめている。例 100～103 の話者と聞き手は親しい関係ではなく、話者は相手に皮肉・からかいを表す目的で敬意のない敬語を使用している。

4.6.3 年下→年上

- 例 104. おはようございます。(16～24 才力士達→75 才男隣家質屋：ひ 1-12)
 105. 毎日お二人が見て下さるから気合いが入ります。(56 才相撲部屋おかみ→75 才男隣家質屋：ひ 1-12)
 106. エディが来て、もうすぐ久男が来るんですからもっとおもしろくなりますよ。(53 才相撲部屋親方→75 才男隣家質屋：ひ 1-26)
 107. お宅のお孫さん、久男の四股名を考えましてね。(53 才相撲部屋親方→75 才男ト

- ビ組頭、75 才男質屋：ひ 1-46)
108. おっしゃる通りです。(53 才相撲部屋親方→ 75 才男隣家質屋：ひ 1-47)
109. 床清さん、一人でやるのって大変でしょ？(20 才女→ 40 才男相撲部屋床清：ひ 1-77)
110. 僕の方も結果ご心配をおかけすることになって申し訳ありませんでした。(30 才医者→ 48 才男：ひ 2-481)
111. ま、わかりますよ。彼の気持ちは僕も同じですから。(30 才医者→ 56 才相撲部屋おかみ：ひ 1-165)
112. でもこれが書けなきゃ行司じゃありませんから。(15 才相撲部屋行司見習い→ 20 才女：ひ 1-191)
113. 銀次ですが、遅くなりました。(43 才男トビ職→ 56 才相撲部屋おかみ：ひ 1-281)
114. お、おかみさん、見合いお受けしますです。(43 才男トビ職→ 56 才相撲部屋おかみ：ひ 1-283)

年下が年上に対して敬語を使う例が多く見られる。それらは一応敬意を表す敬語の使い方であると言える。また親疎関係によっても敬語使用に変化がある。いつも接している親しい人には敬語はより簡単になり（例 112～114）、親しい間柄でも年齢が離れている場合（例 104～108）には敬語もより丁寧になる傾向がある。あまり親しくない人に対してはより丁寧な敬語使用となっている（例 109、110、111）。また、好意を持っている人の前（例 113、114）ではより丁寧な敬語使用になる。例 114 は好意を持っている相手の前で緊張している例であり、「ますです」という二重丁寧語の形が現れている。

4.6.4 初対面の場合

- 例 115. 高井桐子といいます。(19 才女→ 26 才男：愛 3-1)
116. ほう、貴子さんは高校の先生ですか。(40 代男→ 26 才再婚相手の娘：愛 3-8)
117. 多少は聞いているとは思いますが。(50 代男国会議員→ 26 才女息子の恋人：愛 4-6)
118. お忙しいところありがとうございます。(26 才女→ 国会議員、恋人の父：愛 4-6)
119. すいませんね、食事どきに。(26 才男→ 女の友達の母：愛 6-2)
120. 細川典子です。初めまして。(23 才女→ 26 才女：ひ 1-62)
121. お願いします。私、最低のお給料でいいですから雇って頂けませんか。(20 才女→ 40 才衣料商会社長：ひ 1-252)
122. お楽しみ頂きました？(27 才女会社員→ 30 代男医者：ひ 1-417) 会社のパーティで
123. 星野さんは建築会社にお勤めとか。(30 才女→ 42 才男会社員：101 回 P3) お見合いの場で

124. それじゃお食事にでも参りましょうか。(42才男会社員→30才女：101回P3) お見合いの場で
125. 本当にこの子でいいんですか。(40代女→26才娘の恋人：愛1-11)
126. 二度かけるんなら後に並んで下さい。(20才女→30才医者：ひ1-151)
127. アンタ、下町の人間じゃないでしょ。(20才女→30才男医者：ひ1-152) 不快

初対面の場合には敬語を以て接するのが普通であることが上の例からも確認できる。年齢の上下や地位の上下に関係なくお互いに相手がどんな人であっても敬語を使っている。しかし相手の社会的地位が高いとか年齢が自分よりかなり上であると認識すれば一般的に相手に対してより高い敬語を使い(例118、119、121、122、123)、相手はかなり下の者であると認識すると簡単な敬語を使っているようである(例116、117、125)。また相手に何か頼む場合(例121)や相手に好印象を感じるとか好意を持つ場合(例122、124)にはより丁寧な敬語を使い、相手に悪印象を感じるとか不快の念を持つ場合にはより簡単な敬語を使う(例126、127)傾向がある。例117は国会議員という社会的地位が高いとされている人が、自分の子供のような年齢の人に対して、初対面で自分の息子の恋人であり結婚を前提とした面会の場では、相手に敬語を用いてより丁寧に接している。

4.6.5 見知らぬ人、関係のない人に対して

- 例128. 高月健蔵の秘書です。何かあったら連絡して下さい。(26才男国会議員秘書→病院看護婦：愛2-1)
129. はい、わかりました。(病院看護婦→26才男：愛2-1)
130. こんにちは、先生いらっしゃいます？(26才男→40代男医者、女の友達の愛人：愛2-7) 病院で、金をせびりに
131. 性描写ですか。(26才男→30代女出版社編集者：愛2-11)
132. はい、もしもし、お待たせしました。あの、募集の方ですか。(26才男→見知らぬ人：愛3-1) 電話で
133. 青春防止法違反の疑いで署までご同行願います。(刑事→26才男：愛4-8)
134. このお話はなかったことにして頂きたいんです。(40代男国会議員秘書→26才女：愛4-9)
135. どうぞ、お構いなく、どうも、これつまらないものですけど、どうぞ。(40代男国会議員秘書→26才女：愛4-9)
136. どうなさったんですか、急に。(26才女→40代男国会議員秘書：愛4-9)
137. おはようございます。いいですねえ、毎日お嬢さんと一緒に。(近所の商店店主→48才男近所の人：ひ1-71)
138. お昼からですからお誘いに行きますよ。(70代女近所の人→40代女主婦：慌P97)

139. まあとんでもない御迷惑をおかけしていたんですね。(近所の主婦→40代女主婦：慌P139)
140. ちょっと、何ですか、あなた、警察呼びますよ。(女の友達のアパートの隣人→26才男：愛1-12) 不快
141. 彼女とデートさせてくんねえかな、友達でしょ (?)。(40代男出版社編集長→26才男：愛4-6) からかい

自分と直接関係ない他人に対しては、相手に対して感じる印象や相手に対する考え方や意識で敬語使用に少し差が出ている。相手に何か頼もうとしたり何か目的を持って相手に積極的に接しようとしている場合(例128、130、133)は少し丁寧な敬語を使っている。例130は病院の中で医者を呼んだり、医者に話しかけている場面であり、ある目的を持って医者を訪ねて来たので丁寧な敬語を使っている。例132は自分が始めた事業の事務所の事務員アルバイト募集に応じて電話してきた人に対しての会話例で、相手が自分の利益に関係あるので少し丁寧な敬語を使って応対している。例134は、相手の年齢が自分よりかなり下であるが、相手が自分の上司の国会議員の息子の恋人であり、あまりよく知らない人であり、相手をお願いをする必要があるのでとても丁寧な敬語を使っている。例135は社交的決まり文句の言い方である。例136は、相手が自分よりかなり年上であり見知らぬ人なので丁寧な敬語を使っている場合である。例137は、相手が近所の人であるがあまり親しくない人であるので、少しお世辞の意味を含めて話している場合である。例138、139は、相手が近所の人であるが、あまり親しくない人なので、相手に対して形式的な社交敬語を使っているが、例139は相手に申し訳ない気持ちと感謝の意を表そうとして丁寧な言い方になっている。

相手に悪印象を持ったり不信感をもった場合(例140)や相手を見下して相手をからかったり悪意ある言葉を使おうとする場合(例141)には簡単な敬語を使っているようである。

5. 終わりに

本稿では平成時代初期(1989~1993年)のテレビドラマシナリオや小説の中の社会での各人間関係を細かく分類しその人間関係の中でどういう場面や時、話者の心理状態にどういう敬語形式・表現が現れたり用いられたりするのかについて例文を挙げながら考察した。

その結果、次の事実が得られた。第一に敬語使用において友人のようなどとも親しい人との間では敬語使用があまり見られず、敬語使用があっても敬意のない親愛表現、おどけ、からかい、皮肉のような特別な敬語用法である。第二に同じ所属とかよく知っている人との間では上下関係が敬語使用の要素になっていて、よく知らない人との間ではお互いに相手がどんな人であっても敬語使用があることが分かった。第三に人間関係の上下関係の間では年齢の上下関係より職場の地位の上下関係が強いと言える。第四に職業の中で国会議

員、医者、社長やある団体の長という人は他の職業より高い待遇を受け、高い敬語が使われるのがわかる。第五に話し手の考え・感情を表す表現は親しい人や目下の人の前では現れやすく、目上の人や親しくない人の前では現れにくい。親しくない人や目上の人に対しては、相手にどんなに悪い感情・気持ちを持っていても、普通は一応相手を立てようとする意識が働き敬語を使って敬意を示そうとする傾向があると言えよう。第六に性別によって敬語使用に違いが見られる。男性の敬語使用は相手によってはっきり違いが現われ、目上の人や疎遠の人に対して主に敬語を使っている。女性は目上の人や疎遠の人に対してだけでなく、目下の人や親しい人に対しても敬語を使っている場合が比較的多く見られるが、これは主に親愛的表現やおどけ、皮肉のような敬意のない特別な敬語用法である。敬愛的表現として「でしょう」と「でしょ」を多く使っているが、それらは丁寧で柔らかい印象を与えるようである⁹⁾。

敬語を使用する時には、敬語の形式だけでなく、敬語使用時の考え方や心理、表情、態度、動作なども重要になってくると言える。敬語教育ではただ単に敬語の形式だけを教えるのではなく、敬語使用時の話者の考えや表情、態度など¹⁰⁾について、また様々な場面を設定し場面ごとに敬語使用について細かく指導していく必要があるであろう。

今回調べたテレビドラマシナリオや小説は限られたものであるため、今後も他の時代のものなどを引き続き調べていく必要がある。

注

- 1 『岩波講座日本語 4 敬語』 pp. 49-58
- 2 菊池康人『敬語』 pp. 30-58
- 3 「家族内における特別な敬語使用の分析」北洋大学紀要第1号 pp. 59-70
- 4 『岩波講座日本語 4 敬語』 岩波書店 p. 55
- 5 一般的に依頼表現の形式や否定形・推量系、また相手に許可を求める形式がより丁寧な表現と認識されている。(大石初太郎「敬意の度合いの測定」『現代敬語研究』 pp. 220-227)
- 6 大石初太郎「現代敬語の特質、その将来」『現代敬語研究』 pp. 50-52
- 7 『岩波講座日本語 4 敬語』 岩波書店 p. 51
- 8 『岩波講座日本語 4 敬語』 岩波書店 p. 55
- 9 これは、男性語「だろう」に対する女性語として、男女の位相語の差でしかない面もあるという学説もある。(至文堂編集部『現代の敬語とマナー』至文堂 p. 45、48)
- 10 菊池康人は敬語を考えるのに三つの面(①〈語形(かたち)〉、②〈機能(はたらき)〉、③〈適用(あてはめ)〉)に分けて整理して捉えているが(『敬語再入門』丸善ライブラリー pp. 14-15)、筆者は人との対話時の敬語使用の基準と規則を次のように分類・設定してみた。
 1. 適切な敬語形式の使用
 2. TPOに応じた敬語使用。TPOに合う敬語使用。
 3. 良い話の内容・言葉
 4. 良い話し方

5. 良い態度・表情・行動
6. 相手を敬う、大事に思う心・気持ち

参考文献

- 大石初太郎 (1983) 『現代敬語研究』 筑摩書房
奥村益朗 (1973) 『現代敬語辞典』 東京堂出版
菊池康人 (1994) 『敬語』 角川書店
菊池康人 (1996) 『敬語再入門』 丸善ライブラリー
国立国語研究所 (1990) 『日本語教育指導参考書 17 敬語教育の基本問題 (上)』
国立国語研究所 (1992) 『日本語教育指導参考書 17 敬語教育の基本問題 (下)』
至文堂編集部 (1972) 『現代の敬語とマナー』 至文堂
平林周祐・浜由美子 (1987) 『外国人のための日本語例文 問題シリーズ 10 敬語』 荒竹出版
文化庁 (1971) 『日本語教育指導参考書 2 待遇表現』
南不二男他 8 名 (1977) 『岩波講座日本語 4 敬語』 岩波書店
福本達也 (2022) 「家族内における特別な敬語使用の分析」『北洋大学紀要』 第 1 号 北洋大学

福本 達也 (t_fukumoto@hokuyo.ac.jp)

vP 領域について

福島 剛司
北洋大学

A Note on vP Domain

FUKUSHIMA Tsuyoshi
Hokuyo University

Abstract

Nakajima (2016) and Fukushima (2021; 2022) propose that CP and DP can be extended because of some linguistic phenomena. This raises a question on geometric parallelism between CP/DP and verb phrases. I suggest in this paper that their symmetric properties are subsumed under Extensions of Phase. This present paper relies on the proposal in Chomsky (2013; 2015) that can render projection exocentric labels rather than it was previously, and discusses three cases such as Inversion as Focalization in *v*-domain, Pseudogapping Constructions, and *ga* (exhaustive listing) in Japanese.

1. はじめに

言語において節 (CP)、動詞句 (vP)、名詞句 (DP) は別々の範疇であるにも関わらず、これらの範疇ではすべて命題関係を成すことができるなど、構造的に平行関係が存在すると様々な文献で指摘されてきた (Chomsky 1970; Abney 1987; Hiraiwa 2005 など)。

- (1) a. ... [_{CP} (that) John arrived at Tokyo]
 b. John_i will [_{vP} ~~John~~_i arrive at Tokyo]
 c. [_{DP} John's arrival at Tokyo]

しかし中島 (2016) や福嶋 (2021; 2022) などにおいて CP/DP において主要部 C/D の上にさらにもう一段階主要部が存在するという構造が提案されており、もしその構造が正しいとすると、これらの範疇における平行関係が vP においては保たれていないことになる。

本稿では、この言語における平行関係が vP においても依然として保たれていることを Belletti (2001; 2004) の提案する TP 領域内 FocP (Foc(us)P in TP-internal domain)、Gengel (2013)、Nagata (2022) などで議論されている疑似空所化 (pseudogapping)、総記の「が」などを証拠に、Chomsky (2013; 2015) の枠組みを用いて論証する。

まず次節では、先行研究から TP 領域内 FocP や疑似空所化、総記の「が」がどのように観察されてきたかを概観する。第 3 節では、本稿で用いるフェイズ理論・標示付けアルゴリズムについて概説し、第 4 節で、前節の理論を踏まえ中島 (2016) や福嶋 (2021; 2022) の提案が v 主要部においても適用できること、またこの拡大した主要部 v^* は素性 [uFoc] を持ち、焦点位置として機能する名詞句を伝統的にいう Spec 位置に取ること、またそれにより第 2 節で議論してきた現象を説明できることを議論する。第 5 節はまとめである。

2. 先行研究

2.1 TP 領域内の Foc(us)P

Rizzi (1997) は CP 領域 (C-domain) を細分化する必要性を提示し、以下のイタリア語の例などから FocP を提案している。イタリア語では通常、目的語は (2b) の t_i 位置が示すように、英語と同じく動詞の後部に現れる。しかし焦点の意味を持つ場合において、(2b) のように目的語は文頭の位置に移動しており、他の話題要素などとの兼ね合いなどから、構造上 CP 領域を細分化し Spec, FocP に移動すると議論されてきた。

- (2) a. IL TUO LIBRO ho letto (, no il suo).
 the your book has read (, not the his)
 'YOUR BOOK I read (, not his).'
 b. [_{Foc(us)P} il tuo libro_i [_{Focus'} ... [_{TP} lo ho letto t_i]]]

このカートグラフィーの枠組みを拡大する形で Belletti (2001; 2004) はイタリア語を例に、vP の細分化として TP 領域内 (v-domain) にも別の FocP が存在することを提案している。

- (3) E' partito /ha parlato Gianni.
has left /has spoken Gianni
'Gianni has left/ has spoken.'
(Belletti 2004: 21)

(3) の文では、主語の Gianni が動詞の後部に出ているが、無標の位置は (4) のように英語や日本語などと同じく動詞の前部に現れる。

- (4) Gianni è partito /ha parlato.
'Gianni has left / has spoken.'
(Belletti 2004: 21)

また、次のように動詞の後部に移動する場合は、目的語よりも後部にのみ現れることができることから、VP 内部ではないことが予想される。

- (5) a. Capira tutto Maria
will understand everything Maria
b. *Capira Maria tutto
will understand Maria everything
(Belletti 2001: 61–62)

このようにイタリア語の主語の位置に関しては動詞句の前部・後部を比較的自由に選択できるように思われるが、Belletti (2001; 2004) が指摘するように、wh 疑問文の返答において主語に焦点が当たる場合、(6B) で示しているように主語が動詞の後部に義務的に現れる必要がある。そのため、主語が動詞の前部に来た (6B') は意味的に容認されないことが知られている。

- (6) A: Chi è partito/ha parlato?
who has left/has spoken
B: E' partito/ha parlato Gianni. (= (3))
has left/has spoken Gianni
B': #Gianni è partito/ha parlato. (= (4))
Gianni has left/has spoken
(Belletti 2001: 62)

また、Belletti (2004) は TP 領域内の FocP は Rizzi (1997) の提案する CP 領域の FocP とは違う分布を示しており (7) のように CP 領域内での FocP では wh 疑問文の返答としては不

適切となることを指摘している¹。

(7) A: Che cosa hai letto?

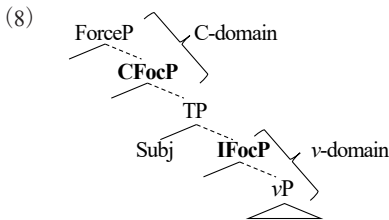
‘What have you read?’

B: #IL LIBRO ho letto (, non il giornale).

‘THE BOOK I have read (, not the newspaper)’

(Belletti 2004: 24 一部修正)

以上のことを踏まえ、Cruschina (2011) は CP 領域内の FocP を CFocP、TP 領域内の FocP を IFocP と呼称し、概略次のような構造になっていると提案している²。



このように焦点要素として、CP 領域以外に TP 領域内 (vP の細分化として vP 領域) にも FocP が構造上存在すると考えられる。

2.2 疑似空所化

本項では、疑似空所化 (pseudogapping) の構造について概観する。疑似空所化とは、概略

1 英語においても、次のように焦点話題化と呼ばれる CP 領域に目的語が移動する現象は、wh 疑問文の返答としては使用できないことが知られており、イタリア語にのみ観察される現象ではなく言語普遍的な可能性が示唆される。

(i) A: John read *THE EXTENDED PHENOTYPE*.

B: (No!) *THE SELFISH GENE* he read (, not *The Extended Phenotype*).

(ii) A: What did John read?

B: #*THE SELFISH GENE* he read.

(Neeleman and Vermeulen 2012: 9)

2 樹形図で示されている統語構造は語順は関係なく、階層構造の関係のみを示すものであるため Spec, IFoc の位置が左側にあることは問題にはならない。ここでは vP より上部に位置しているため構造上、IFoc の位置に現れる焦点要素は目的語位置よりも外側にしか生起できない点が重要である。

次のように述語動詞が省略される現象であり、助動詞の後に動詞句内部の要素が省略されずに残るものを指す。一般的には概略以下のように分析されている。

(9) a. John will select me, and Bill will YOU.

b. [_{TP} John [_{TP} will [_{VP} select me]]], and [_{TP} Bill [_{TP} will [_{XP} YOU_i [_{VP} select-t_i]]]]

元来、疑似空所化は空所化の一種であると考えられていたが、Jayaseelan (1990) の研究以降、Lasnik (1995)、Jayaseelan (2001)、Gengel (2013) など、(9b) のように VP 省略の一種と考える分析が主流となっており、VP 内部の要素の移動先がどこになるのかが問題になってきた。

これに対し、Nagata (2022) は疑似空所化現象における動詞句内部の要素は Belletti の主張する IFoc 位置への移動であり、以下のような構造を取ると主張している。(ここで < > と示している部分は発音されない要素を指す。)

(10) a. ... and Bill will YOU.

b. ... and [_{TP} Bill [_{TP} will [_{IFocP} YOU_i[_{IFoc} [_{VP} <select> t_i]]]]]

この構造は、Belletti (2001; 2004) の主張するように wh 疑問文の返答においても同様に焦点要素として適格だと判断されることから、非常に Belletti の分析と相性が良いと考えられる。

(11) A: What did John eat?

B: ?He did a SALAD.

(Nagata 2022: 258)

(12) A: What did Mary and Bob eat?

B: Mary ate a steak and Bob did a SALAD.

(*ibid.*)

しかしながら、Chomsky (2013; 2015) における標示付けアルゴリズムを用いた枠組みでは、IFoc' のような中間投射を仮定することができず、後述するように、XP-YP 問題が生じるため構造が非文法的であると誤った予測をしてしまう。また IFocP の補部要素が省略できる理由が説明されておらず、これらの観察、分析を維持する代替案が必要となる。

2.3 後置詞としての「が」

日本語において主格を示す「が」、や対格を示す「を」といった格助詞は次にあるように格助詞を脱落させることが可能であり、それに対し、後置詞は脱落不可能であることが知られている。

- (13) a. 太郎 {が/φ} その本 {を/φ} 読んだ
 b. 花子 {が/φ} 次郎 {と/*φ} 札幌 {へ/*φ} 車 {で/*φ} 出かけた

このように後置詞は、英語の前置詞と同様の振る舞いであり、主要部がなくなるため非文になるのは至極当然なものと考えられる。

- (14) *Mary went {to/*φ} Sapporo {with/*φ} John

しかし、「が」に関しては実際には、格助詞と見なすことができない例がある。

- (15) a. このクラスでは、佐藤君が、いちばん頭がいい。
 b. 今年の卒論では、広瀬さんが、ダントツで出来がいい。 (三原 2022: 4)

この例は、「多重主語構文」などと呼ばれてきたものであるが、下線部で示された「が」に関しては脱落ができないことが知られている (三原 2022: 5)。

- (16) a. このクラスでは、佐藤君 {が/*φ}、いちばん頭 {が/φ} いい
 b. 今年の卒論では、広瀬さん {が/*φ}、ダントツで出来 {が/φ} いい
 c. 札幌では、札幌駅前 {が/*φ}、商業施設 {が/φ} いちばん多い

これらの脱落できない「が」は「他でもない…が」ということを意味する「総記 (exhaustive listing) の「が」と言い、焦点 (focus) の意味を持っていると考えられている (松岡 2000 ; 三原 2022)。この総記の「が」は、脱落できず、さらに特別意味を持っていることから、格助詞の「が」と違い、後置詞と見なすことが正しいと思われる。

また、(16) において、述語「いい」「多い」と主述関係をとるのは「頭」「出来」「商業施設」であり、総記の「が」を伴っている名詞句ではない。だが、この総記の「が」が用いられている名詞句は、後部要素全体「いちばん頭がいい」「ダントツで出来がいい」「商業施設がいちばん多い」を複合述部と考えれば、この部分が総記の「が」を伴っている名詞句と主述関係を結んでいる 1 つの命題と言える。

- (17) a. [佐藤君が] [頭がいい]
 b. [札幌駅が] [商業施設が多い]

(主部)

(述部)

この多重主語構文の統語構造については、久野 (1973; 1983) などで主張されてきた S 付加分析が標準的な分析と見なされている。この分析を先の後置詞としての分析を組み合わせ

ると以下のような構造になる。

(18) [_S [_{PP} [_{NP} 佐藤君] [_P が]]] [_S 頭がいい]

また、前項までも議論したように、この総記の「が」を伴っている名詞句は wh 疑問文の返答として焦点要素として機能する。

(19) A: 誰が、絵がうまいんですか？

B: 太郎が、絵がうまいんです。

(三原 2022: 17)

ここまで見てきたように、総記の「が」は通常の格助詞の「が」とは性質が違う。さらに総記の「が」は、かき混ぜ (scrambling) の際に、格助詞の「が」を伴った名詞句が総記の「が」を伴った名詞句を越えることができない。(総記の「が」を含んだ名詞句を下線で示す。)

(20) *このクラスでは、いちばん頭が、佐藤君がいい。

この適格性の差異は、S 付加分析などでは説明できず、また Chomsky (2013; 2015) の枠組みでは S 自体が存在せず、捉え直した理論的説明が改めて必要となる。

このように、焦点要素として機能するイタリア語、英語、日本語における各現象を次節の極小主義プログラムにおける枠組みでうまく捉えられることを議論していく。

3. 理論的枠組み

3.1 フェイズ理論

本項では、併合操作 (Merge) によって構築される階層構造を持った SO が音や意味に還元されるシステムを概観する。

言語機能 (Faculty of Language: FL) は感覚運動 (sensorimotor: SM) と概念・意図 (conceptual-intentional: C-I) という対となる解釈システムを持っており、統語構造物 (Syntactic Object: SO) は併合操作を回帰的に適用することで下から上に構築される。生成文法において、FL がこれらの解釈システムに基づいて階層的に構造化された表現の各々を解釈することが可能となるとしている。この FL が持つ言語を解釈する特質に関して Chomsky (2008) は強い極小主義のテーゼ (strong minimalist thesis: SMT) と名付け次のように主張している。

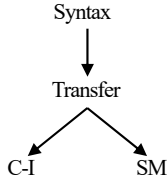
(21) language is an optimal solution to interface conditions that FL must satisfy

Chomsky (2008: 135)

この主張により、言語とは FL が持つ SM・C-I のインターフェイスに必要な情報を過不足なく満たすもののみが存在しており、満たしていないものは言語にとって不適格と見なされるものであると考えられる。

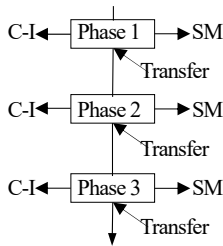
この SMT を満たす形で、言語は次のような派生の段階を経て、SM・C-I インターフェイスにて解釈されることが考えられる。

(22) Y-model



また Chomsky (2004; 2007; 2008) は、この派生における転送は統語上で完成した SO がインターフェイスに一度で転送 (Transfer) されるのではなく、複数回に分けてインターフェイスに送られると主張している。併合が反復適用された SO が (23) のようにフェイズ (Phase) と呼ばれる統語上の段階ごとに転送されることで最終的に表現が形成されることが考えられている。

(23) Phase-by-Phase Derivation



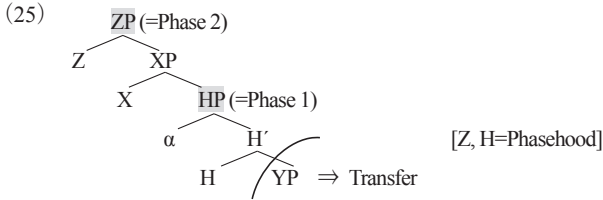
(Totsuka 2015: 4)

そしてこのフェイズは、(24) にあるように統語上でフェイズ主要部 (Phasehood) の投射が 2 つ完成した段階で、1 つ目のフェイズ主要部の補部がインターフェイスに転送され、以降この領域へのアクセスを不可能にする (Chomsky 2001: 13-14)。

(24) Phase Impenetrability Condition (PIC)

The domain of H is not accessible to operations at ZP; only H and its edge are accessible to such operations. (Chomsky 2001: 14)

この定義を樹形図で示すと以下の通りである。(25)にあるように、フェイズが2つ生じた段階 ZP において1つ目のフェイズ主要部 H の補部 YP が転送されることになる。(フェイズが形成された箇所を網掛けで示す。)



このフェイズ単位での派生の提案の根底には、Chomsky (1973) によって厳密循環の条件 (Strict Cycle Condition) が提案されたことにある。

(26) Strict Cycle Condition

No rule can apply to a domain dominated by a cyclic node A in such a way as to affect solely a proper subdomain of A dominated by a node B which is also a cyclic node

(Chomsky 1973: 243)

つまり一度、より大きく包括的な循環へ移った後では、規則をより早い段階の循環に戻って適用することは不可となるという、フェイズの概念と共通した面を持っているのである。

このように FL は循環的に派生する SO をフェイズという単位ごとに区切って計算することにより、効率的に各インターフェイスで解釈できるように構造構築を行っていると考えられている。

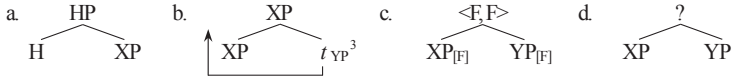
フェイズ主要部がどの主要部であるかは様々な文献において議論があるが、Citko (2014) などの詳細な議論から、本稿で問題にしている C、v*、D がそれぞれフェイズ主要部であると本稿では前提として議論を進める。

3.2 標示付けアルゴリズム

この項では、Chomsky (2013; 2015) で提案されている標示付けアルゴリズム (Labeling Algorithm: LA) について概観する。

これまでの議論で、SO がどのように構築され派生が完了するのを見てきた。しかし、各インターフェイスに対して、SO がそれぞれどのような特性であるのかを同定する必要があり、この状態では情報が不足している。その役割を果たすのが標示であり、次のようにして標示 (label) が決まるとしている。

(27) Labeling Algorithm



(Chomsky 2013: 43, Goto 2017: 34)

LA は転送の一部として機能する最小探査 (minimal search) であり、最小計算のための第三要因原理⁴によって説明される。(27a) のように主要部と句が併合された場合には、その SO は主要部の標示が投射される。それに対し句同士が併合された場合に標示付けができる可能性は (27b, c) のどちらかのみである。(27b) のように片方の SO が移動した場合には、集合 {XP, YP} の中にすべての生起環境 (occurrence) が関係項 (term)⁵ になっているのは残った XP のみであるため、標示が正しく決定される。また両方の構成素が移動せず残った場合には、(27c) のように素性 (人称・性・数を表す ϕ 素性や、wh のような Q 素性など) を構成素同士が共有することによってのみ外心構造的に標示付けが可能となる。またこの操

- 3 ここでは便宜上、痕跡 (trace) にて元位置の YP を表示しているが、内併合によりコピーが形成されたのみであり、元位置の YP に移動はなくそのまま存在している (これ以降も同様)。
- 4 第三要因という限りは第一・第二要因というものもある。言語設計の 3 要因 (three factors in language design) とは以下のものである。

(iii) Three factors in language design

- 1. Genetic endowment
- 2. Experience
- 3. Principles not specific to the faculty of language

(Chomsky 2005: 6)

第一要因とは、ヒトのみが進化の過程において変異により遺伝子に組み込まれた言語特有の資質のことである。第二要因とは、後天的な経験や環境のことを指す。これにより多様な個別言語が生まれることは自明であろう。第三要因とは、言語だけに固有ではなく、生命体全般さらに自然界全般に共通して働いているような、領域中立的な原理のことである (中島 2016: 139)。

つまり、言語における標示付けはインターフェイスに SO を転送する際に、その対象となるそれぞれの SO の最短距離にある要素を標示として選択するという自然界の原理に共通もしくは由来するような方法から来ていると考えているのである。第三要因にどのようなものが存在するのに関する議論は、Chomsky (2005; 2007; 2010)、Boeckx (2010)、Berwick and Chomsky (2011) などを参照。

- 5 関係項の定義は以下の通り。

A term of the SO α is a member of α or of a term of the SO α .

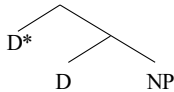
(Chomsky 2008: 158 fn.16)

作は転送の一部として機能するためフェイズの段階でSOに適用されるとされている(Chomsky 2013: 46)⁶。

4. 提案

福嶋(2021; 2022)は英語において名詞句のD主要部に対し、以下のように主要部をもう1つ設ける必要があると提案した。概略(28)の構造となり、この仮定をD*P仮説と呼んでいる。

(28) D*P 仮説



この構造は定冠詞・属格名詞句のみに現れることが可能であり、不定冠詞の場合D*主要部はなくD主要部の投射のみであると考えられる。

このD*P仮説を採用すると次の(29)の文法適格性における差が説明できるようになる。

(29) a. The rich are becoming even richer.

b. *Rich are becoming even richer.

(cf. Rich people are becoming even richer.)

(Longobardi 1994: 632)

この例はNP部分のpeopleが削除されていると考えられる名詞句であるが、(30)で見たように削除が適用される際は最大投射でなければならないことから、形容詞richはNPに付加することはできない。このことを踏まえると従来のDP仮説では定冠詞theはD主要部にあるため説明が出来ない。

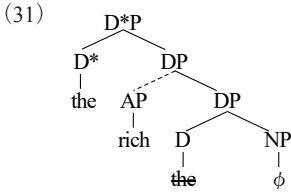
(30) Ellipsis condition

Only maximal projections can undergo ellipsis.

(Radford 2009: 64)

このD*P仮説を採用すると先の(29a)は以下のような構造になると考えられる。

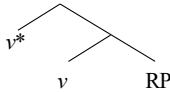
6 本稿では表記の都合上、問題がない限り併合時に標示を行うものとし、併合時に標示付けが決まらない箇所は(27d)のように表記するものとする。



このように、NP 全体が削除された場合にも形容詞 rich は DP 内に付加⁷されているため、(30) の条件に違反することなく削除が適用できる。

これと平行関係をなす形で動詞句 vP においても v 主要部も拡張した形で次のような構造を仮定する。またこの v* は素性 [uFoc] を持っていると考えることとする。

(32) v 拡張仮説



これを仮定すると、イタリア語の TP 領域内 FocP を含んだ例 ((33a) に再掲) は (33b) のような派生をする考えることができる。(33b) で示しているように、主語の Gianni は θ 役割をもらうために従来でいう Spec, vP の位置に生起し、この位置では標示が付かないため Spec, v*P の位置に内的併合する。この位置において、Gianni の interpretable Foc 素性が v* の持つ uninterpretable Foc 素性と素性共有することにより、(27c) で示したように、インターフェイスにおいて正しく標示 <Foc, Foc> が付き派生が収束する。これにより Belletti (2001; 2004) の分析を上手く捉え直すことができる。

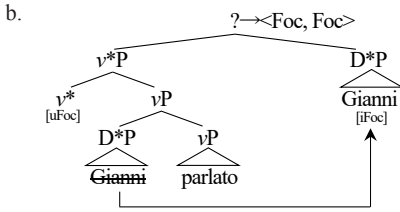
7 形容詞 (AP) が DP 内に付加しているという仮定は、D* 主要部がない不定冠詞の場合そのままでは問題になるが、DP に対し形容詞が付加する可能性は (iv) のように記述属格と呼ばれる属格名詞句が生起する例では存在することから必ずしも否定できないと考えられる。ただし、本稿では紙幅の都合上これ以上論じないこととする。

(iv) a. She lives in this old people's home.

b. I used to love reading those glossy women's magazines

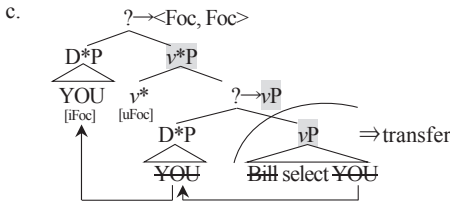
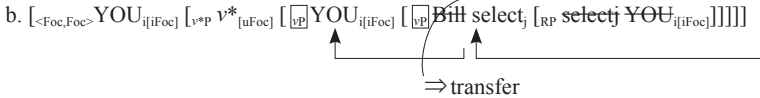
(Alexiadou et al. 2007: 548)

(33) a. ha parlato Gianni (= (3a))



同様に、Nagata (2022) の主張する英語の疑似空所化現象においても次の構造になる。(34b, c) で示しているように、1つ目のフェイズ vP の段階で YOU を内的併合し、さらに v*P と内的併合することで、(34c) で示している下部の ? の標示が vP に決まる。さらに vP に標示が決まった結果、フェイズが v*P と vP の2つ完成したため、その補部である下部の vP が転送される。この際、(30) の Ellipsis Condition に従い転送箇所が音声上削除できる。そして [uFoc] 素性を持っている v*P と内的併合した YOU は [iFoc] 素性を持っているため、(27c) で示している上部の ? の標示が <Foc, Foc> に決まり、派生が収束する。この結果、Nagata (2022) の観察、分析を本稿での仮説においても正しく捉えることができる。

(34) a. ... and [_{TP} Bill [_T will [_{IFocP} YOU_i [_{IFoc} [_{vP} <select> t_i]]]]] (= (10b))



最後に、日本語の総記の「が」を伴った文はそれぞれ (35)-(36) のような構造になる⁸。

8 総記の「が」を含んだ PP が TP 位置ではなく v*P 内にあることは以下のように等位接続により過去時制が2つの v*P 両方にかかっていることから TP 領域ではないことが明確である。このことからこの PP は v*P にあると判断できる。

(v) [_{TP} 前回の期末試験では、 [_{v*P} 佐藤君が、いちばん成績がよく]、 [_{v*P} 田中さんが、いちばん成績がわるか] った]。

(35b) にあるように、v*P と総記の「が」を含んだ PP は (27d) のように本来 XP-YP の併合のため標示が決まらないが、Foc 素性を共有するため、<Foc, Foc> という標示になり正しく派生が収束する。また (36b) にあるようにフェイズ主要部である v* が素性共有により決定した標示であるため、従来の CP や v*P、DP の最大投射と同じ位置であるためフェイズも継承していると考えられる。また (17) で議論したように、総記の「が」を含んだ PP は vP と主述関係を結んでおり、命題であるためフェイズであることが十分考えられる。これらのことから <Foc, Foc> と v*P はフェイズであるため、(24) の定義にあるように下部のフェイズ主要部の補部である vP が転送されるため、主語の「いちばん頭が」は移動することができないことが正しく説明できる。

- (35) a. このクラスでは、佐藤君が、いちばん頭がいい。
 b. $[_{TP} \text{このクラスでは} [_{TP} [_{7 \rightarrow} \langle \text{Foc, Foc} \rangle] [_{PP} \text{佐藤君が}^{\text{g}}] [_{v^*P} v^*] [_{uFoc}]] [_{vP} \text{いちばん頭がいい}]] T]]$
 (36) a.*このクラスでは、いちばん頭が、佐藤君がいい。
 b. $[_{TP} [_{7 \rightarrow} \langle \text{Foc, Foc} \rangle] [_{PP} \text{佐藤君が}^{\text{g}}] [_{iFoc}]] [_{v^*P} v^*] [_{uFoc}]] [_{vP} \text{いちばん頭がいい}]] T]]$
-

またこの主張は、焦点要素を用いず <Foc, Foc> が存在しない (37a) の文において、話題を表す「は」を伴った句「このクラスでは」を越えてかき混ぜを行った (37b) の文が適格であることから支持される。

- (37) a. このクラスでは、いちばん佐藤君の頭がいい。
 b. 佐藤君の頭が、このクラスでは、いちばんいい。
 c. $[_{TP} [_{DP} \text{佐藤君の頭が}^{\text{g}}] [_{TP} \text{このクラスでは、}] [_{vP} \text{いちばん}] [_{DP} \text{佐藤君の頭が}^{\text{g}}] \text{いい}]] T]]$
-

この例では、フェイズ主要部は v のみであり、主語「佐藤君の頭が」が文頭に内的併合することが可能であり、観察通り正しく派生が収束する⁹。

9 日本語の主格名詞句がかき混ぜをして TP 領域に IM した場合の標示についての議論は、Saito (2016; 2018) を参照されたい。またそこで仮定されているように格助詞が標示付けアルゴリズムに参加させないようにするものだとすると、(37b) において格助詞「が」が脱落した場合に、非適格文だと判断されることが上手く捉えられる。

(vi) *佐藤君の頭、このクラスでは、いちばんいい。

5. まとめ

本稿ではフェイズ主要部である C/D との平行関係が v でも引き続き保たれていることを、従来、焦点要素として別々に捉えられていた現象（イタリア語における TP 領域内 FocP、英語における疑似空所化現象、日本語における総記の「が」句）を元に議論した。Chomsky (2013, 2015) の極小主義プログラムの枠組みにおいて、従来の動詞句を拡張した $v^*P-vP-RP$ という構造を仮定することで、上記の現象が標示付けアルゴリズム、フェイズといった言語機能を説明するメカニズムにおいても上手く機能し、ここの言語現象の適格・不適格が正しく捉えられることを議論した。

参考文献

- Abney, Steven P. 1987. The English noun phrase in its sentential aspect. Doctoral dissertation, MIT.
- Alexiadou, Artemis, Liliane M. V. Haegeman, and Melita Stavrou. 2007. *Noun phrase in the generative perspective*. Berlin ; New York: Mouton de Gruyter.
- Belletti, Adriana. 2001. Inversion as Focalization. In *Subject Inversion in Romance and the Theory of Universal Grammar*, ed. Aafke C. J. Hulk and J. Y. Pollock, 60–90. Oxford; New York: Oxford University Press.
- Belletti, Adriana. 2004. Aspects of the Low IP Area. In *The structure of CP and IP*, ed. Luigi Rizzi, 16–51. Oxford ; New York: Oxford University Press.
- Berwick, Robert C., and Noam Chomsky. 2011. The Biolinguistic Program: The Current State of its Development. In *The Biolinguistic Enterprise: New Perspectives on the Evolution and Nature of the Human Language Faculty*, ed. Anna Maria Di Sciullo and Cedric Boeckx, 19–41. Oxford: Oxford University Press.
- Boeckx, Cedric. 2010. Some reflections on Darwin's Problem in the context of Cartesian biolinguistics. In *The Biolinguistic Enterprise: New Perspectives on the Evolution and Nature of the Human Language Faculty*, ed. Anna Maria Di Sciullo and Cedric Boeckx, 42–64. Oxford: Oxford University Press.
- Chomsky, Noam. 1970. Remarks on Nominalization. In *Readings in English Transformational Grammar*, ed. Roderick A. Jacobs and Peter S. Rosenbaum, 184–221. Washington, DC: Georgetown University Press.
- Chomsky, Noam. 1973. Conditions on Transformations. In *A festschrift for Morris Halle*, ed. Stephen R. Anderson and Paul Kiparsky, 232–286. Academic Press, New York.
- Chomsky, Noam. 2001. Derivation by Phase. In *Ken Hale: A life in language*, ed. Michael Kenstowicz, 1–52. Cambridge, MA: MIT Press.
- Chomsky, Noam. 2004. Beyond Explanatory Adequacy. In *Structures and Beyond. The cartography of syntactic structures, Volume 3*, ed. Adriana Belletti, 104–131. Oxford: Oxford University Press.
- Chomsky, Noam. 2005. Three Factors in Language Design. *Linguistic Inquiry* 36: 1–22.
- Chomsky, Noam. 2007. Approaching UG from Below. In *Interfaces + Recursion = Language?: Chomsky's Minimalism and the View from Syntax-Semantics*, ed. Uli Sauerland and Hans-Martin Gärtner, 1–30. Berlin: Mouton de Gruyter.
- Chomsky, Noam. 2008. On Phases. In *Foundational Issues in Linguistic Theory: Essays in Honor of Jean-Roger Vergnaud*, ed. Robert Freidin, Carlos P. Otero, and Maria Luisa Zubizarreta, 133–166. Cambridge, MA: MIT Press.
- Chomsky, Noam. 2010. Some Simple Evo Devo Theses: How True Might They be for Language? In *The Evolution of Human Language*, ed. Richard Larson, Viviane Deprez, and Hiroko Yamakido, 45–62.

- Cambridge: Cambridge University Press.
- Chomsky, Noam. 2013. Problems of projection. *Lingua* 130: 33–49.
- Chomsky, Noam. 2015. Problems of projection: Extensions. In *Structures, Strategies and Beyond: Studies in honour of Adriana Belletti*, ed. Elisa Di Domenico, Cornelia Hamann, and Simona Matteini, 1–16. Amsterdam: John Benjamins.
- Citko, Barbara. 2014. *Phase Theory: An Introduction*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Cruschina, Silvio. 2011. *Discourse-Related Features and Functional Projections*. Oxford; New York: Oxford University Press.
- Gengel, Kirsten. 2013. *Pseudogapping and Ellipsis*. Oxford; New York: Oxford University Press.
- Goto, Nobu. 2017. How to Label There-Constructions. *Studies in English Literature Reginal Branches Combined Issue 9*: 33–43.
- Hiraiwa, Ken. 2005. Dimensions of Symmetry in Syntax: Agreement and Clausal Architecture. Doctoral dissertation, MIT.
- Jayaseelan, K.A. 1990. Incomplete VP Deletion and Gapping. *Linguistic Analysis* 20: 64–81.
- Jayaseelan, K.A. 2001. IP-internal Topic and Focus Phrases. *Studia Linguistica* 55: 39–75.
- Lasnik, Howard. 1995. A Note on Pseudogapping. *MIT Working Papers in Linguistics* 27: 143–163.
- Longobardi, Giuseppe. 1994. Reference and Proper Names: A Theory of N-Movement in Syntax and Logical Form. *Linguistic Inquiry* 25: 609–665.
- Nagata, Shohei. 2022. Focus Fronting and Pseudogapping in English as Evidence for Two Types of Focus Projection. *English Linguistics* 38: 250–262.
- Neeleman, Ad, and Reiko Vermeulen. 2012. The Syntactic Expression of Information Structure. In *The Syntax of Topic, Focus, and Contrast*, ed. Ad Neeleman and Reiko Vermeulen, 1–38. Berlin, Boston: De Gruyter Mouton.
- Radford, Andrew. 2009. *Analysing English Sentences: A Minimalist Approach*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Rizzi, Luigi. 1997. The Fine Structure of the Left Periphery. In *Elements of Grammar*, ed. Liliane Haegeman, 281–337. Dordrecht: Springer Netherlands.
- Saito, Mamoru. 2016. (A) Case for labeling: labeling in languages without ϕ -feature agreement. *The Linguistic Review* 33.
- Saito, Mamoru. 2018. Kase as a Weak Head. *McGill Working Papers in Linguistics* 25: 382–391.
- Totsuka, Masashi. 2015. On Phasehood of Functional Categories in the Left Periphery. Doctoral dissertation, Tohoku University.
- 久野暲. 1973. 『日本文法研究』東京：大修館.
- 久野暲. 1983. 『新日本文法研究』東京：大修館.
- 中島平三. 2016. 『島の眺望：補文標識選択と島の制約と受動化』東京：研究社.
- 福嶋剛司. 2021. 「決定詞の違いによる名詞句の適格性について」『言語と文化』15：35–46.
- 福嶋剛司. 2022. 「否定極性の long における適格性について」『北洋大学紀要』1：45–58.
- 松岡弘 (監修). 2000. 『初級を教える人のための日本語文法ハンドブック』東京：スリーエーネットワーク
- 三原健一. 2022. 『日本語構文大全 第Ⅱ巻 提示機能から見る文法』東京：くろしお出版.

ユダヤ文化としてのハリウッド映画産業

山田 利一
北洋大学

Hollywood as Jewish Culture

YAMADA Toshikazu
Hokuyo University

Abstract

Pogroms (genocide against the Jews) were frequent in Russia at the end of the nineteenth century. This brought about a large Jewish exodus to the United States of America. Fortunately, the U.S. was in its industrial heyday at the time, and immigrants were welcomed as laborers. The industrial towns attracted large numbers of immigrants and grew quickly. They became mega cities, from which the entertainment industry developed as part of consumerism. Immigrant workers enjoyed billiard halls, bowling alleys, gambling halls, dance halls, vaudeville theaters, amusement parks, penny arcades, and lastly movie theaters called nickelodeons. Many nickelodeons were built in Jewish neighborhoods, and Jews were fascinated by the films. On the other hand, in society where genteel cultural traditions remained, films were not well received. Cinema was a niche industry. Jews in America took full advantage of this commercial opportunity. They purchased one theater after another, and eventually embarked on many successful movie productions. Hence, American Jews were highly influential in the creation of Hollywood.

序

本稿の目的は、ハリウッド映画産業の黎明期に活躍したユダヤ人の足跡をたどることにより、今日アメリカ有数の産業のひとつであると同時に、アメリカを象徴する文化（芸術）にまで発展・昇華した映画産業が、実はユダヤ人の、そして彼らの才覚とチャレンジ精神、不屈の闘志の所産であること、すなわちユダヤ文化であることを明らかにすることである。

アメリカに住むユダヤ人が、ユダヤ人であると同時にアメリカ人であるのと同様に、ハリウッドの映画産業もまた、アメリカの知的文化遺産であると同時にユダヤ文化の結晶でもある。ユダヤ人なくして今日のハリウッドは存在し得なかったのである。

以下にそれを子細に語ることにするが、その際、人名や企業名など固有名詞は原則、カタカナ表示し、原文を併記することにする。しかし長い企業名や日本語に馴染まない企業名などは、英文表示のみとすることをあらかじめ断っておく。さらにいくつかの企業名については普通名詞と誤読されることを回避すべく、「かぎかっこ」を用いてその名前を表示することにする。

第1章 ハリウッドはなぜユダヤ文化といえるのか？

まず指摘すべき事実は、大きな映画会社（メジャー）の創業者のほとんどがユダヤ人であったということである。くわえて彼らに仕えた監督や脚本家、音楽家、俳優の多くもユダヤ人であったということである。それだけではない、映画産業の「インフラ」というべき芸能事務所（talent agencies）や法律事務所の経営者の多くもユダヤ人であったし、それは今日でも変わらない。1936年当時の調査では映画製作に従事した主要人物85人中、ユダヤ人は53人もいたのである。¹

言うまでもないことだが、映画製作には巨額の資金が必要であった。そして、それを融通したのもユダヤ人であった。ここで特筆すべきは、この件に関わった「ユダヤ人」の多くが19世紀末から20世紀初頭にアメリカに渡ったロシア・東欧出身者、もしくはその子弟であったことである。たとえば、「パラマウント映画」（Paramount）の前身、Famous Players Film Companyを創業したのは、16歳の時にハンガリーからアメリカに入国したアドルフ・ズーカー（Adolph Zukor）であった。ズーカーは毛皮の行商をやりながら英語を学び、商才を育み、1903年にゲームセンター業（the amusement arcade business）に進出したのち、1910年に映画館の経営に乗り出し、そのご映画製作に着手し、1912年に上述の会社「フェイマス・プレーヤーズ」を立ち上げ、1916年にジェス・ラスキ（Jesse Lasky）と共に、後にパラマウントになる共同会社を設立した。²

現在は「20世紀スタジオ」（Twentieth-Century Studios, Inc.）と称しているかつての「20世紀フォックス」社の前身、「フォックス・フィルム」（Fox Film Corporation）の創業者ウィリアム・フォックス（William Fox）も幼児の時にハンガリーからアメリカに移住し、11歳から行商をした苦労人であった。³しかし彼は儉約に努めて資金を蓄え、20歳の時に起業し、1903年にゲームセンター（a penny arcade）を買収し、その2階に150席の映画館を設置し

たことから映画業界に参入し、⁴ フォックス社を有数の映画製作会社に育てた。

MGMの親会社Lowe's Incorporatedで1927年から1955年まで、長きにわたり社長を務めたニック・シェンク(Nicholas Schenck)はロシア生まれで、兄ジョセフ(Joseph M.)と共に少年期にアメリカに移住し、1901年にニューヨークで薬局を開業し、10年後、遊園地(an amusement park)経営に乗り出した。それが映画界に参入し、成功する契機となった。⁵ ちなみに兄ジョセフは1924年に「ユナイテッド・アーチスト」社(United Artists)の社長に就任した。⁶

そして「ワーナーブラザーズ」社(Warner Brothers)を創業した4兄弟の中で長兄ハリー(Harry)の出生地はポーランドであった。ちなみに次男アルバート(Albert)と三男サム(Sam)はアメリカ生まれ、末弟ジャック(Jack)はカナダで生まれた。⁷ このように出生地は異なるが、4兄弟が同一の両親から生まれたユダヤ人であることに変わりはない。何はともあれ、一家は紆余曲折を経たのち1903年、映画館を買収して興行を開始し、1907年には映画の配給会社をつくり、さらに映画製作も手掛け、成功を収めた。⁸

MGMの創業者ルイス・B・メイヤー(Louis B. Mayer)も出生地はロシアで、一家は彼が3歳の時(1888年)にロシアからカナダに移住した。貧困家庭であったため、彼は8歳の時から父親の廃品回収業を手伝い、19歳の時に独立し、22歳の時には劇場チェーンのオーナーになり、28歳の時に映画配給会社を興した。⁹ さらに映画製作会社Louis B. Mayer Film Companyを創業し、最終的にMGMの経営者となった。¹⁰

そしてMGMの前身、「ゴールドウィン・ピクチャーズ」(Goldwyn Pictures)を創業したサミュエル・ゴールドウィン(Samuel Goldwyn)もまたポーランド出身のユダヤ人であった。彼はポーランドを出たのち、イギリスを経由してアメリカに渡り、「ユナイテッド・アーチスト」や「パラマウント」、MGMの創設に関わり、また上述した自身の会社も所有し、¹¹ ハリウッドに大きな足跡を残した人物である。

他方、「ユニバーサル」映画(Universal)の創業者カール・レムリ(Carl Laemmle)はドイツ南部出身のユダヤ人であった。東欧出身者の多くが貧困家庭の出で、十分な教育を受ける機会を逸していたのとは対照的に、レムリは不動産業を営む豊かな家庭に生まれ、12歳になるまで学校教育を受けており、当時としては「高学歴者」の部類に入る。彼は1883年、16歳の時に兄ジョセフ(Joseph)と共にアメリカに渡航したが、¹² それ以前に彼はアメリカの三文小説を読んでいたし、¹³ アメリカに渡ってからは簿記係りを含め、事務職を経験しており、¹⁴ 英語と事務仕事のスキルを渡航前に身につけていたことがわかる。いずれにせよ、彼はアメリカ各地を転々とし、上述した職業を含め多くの職を経験したのち、1906年に劇場経営を開始した。そしてわずか3年後、彼は全米最大の映画配給会社の経営者となり、¹⁵ そのご製作にも乗り出し、ハリウッドの「大御所」(mogul)のひとりとなった。¹⁶ ちなみに“movie mogul”というフレーズは早くも1915年頃には巷間に流布したが、そこには「輝かしい皇帝」と、「野蛮人の侵略者」という矛盾するニュアンスが込められていた。¹⁷ ここからも新興ビジネスを遠望する土着アメリカ人(ワスプ)の屈折した心理がよくわかる。

そして「コロンビア」(Columbia Pictures)の創業者ハリー・コーン(Harry Cohn)は、アメリカ生まれのユダヤ人であるが、彼の父はドイツ出身、母はロシア出身であった。だが、彼の精神的なたくましさはユダヤ移民一世に引けを取らなかった。彼は14歳で学校を中退し、歌手となったが、そのご転職を繰り返したのち、映画製作会社を共同起業し、それを「コロンビア」にまで仕立て上げたのである。¹⁸

以上、ハリウッドを築いた代表的なユダヤ人を紹介した。すると、なぜ彼らが同じ時代に同じ産業に従事し、成功したのか、との疑問が生じる。次章以下でその背景を探ってみたい。

第2章 エクソダス(Exodus)

19世紀末から20世紀初頭にかけて、実におびただしい数のユダヤ人がヨーロッパからアメリカに移住した。その唯一、最大の原因が「ポグロム」(pogroms)であった。これは「雷」や「嵐」を意味するロシア語であるが、¹⁹ 実際は、ロシア人によるユダヤ人襲撃を指す。武装した多数のロシア人がユダヤ人の集落——地方にあってはユダヤ人の村(shtetls)、²⁰ 都会にあってはユダヤ人居住地域「ゲットー」——を襲い、破壊や略奪、殺人や放火を行う暴動であり、小規模なジェノサイドであった。

1964年のブロードウェイ・ミュージカル「屋根の上のバイオリン弾き」(*Fiddler on the Roof*)、それをMGMが映画化した、1971年の同名作品にもユダヤ人迫害の場面が挿入されている。ロシア人の襲撃と、背後からそれを煽った行政機関の脅迫によって、ユダヤ人は村から、そしてロシアから追放されてしまうのである。

だが付言すれば、ポグロムはロシアだけの「現象」ではなく、ロシアの支配地域であったウクライナやポーランドでも散発的に発生していたことを認識する必要がある。「屋根の上のバイオリン弾き」の舞台はウクライナのアナテフカ(Anatevka)という寒村である。さらに、それが必ずしも19世紀末の事件であったということでもない。ポグロムの研究書『ポグロム』(*Pogrom*)²¹がフォーカスした、モルドバのキシナウ(Kishiniev)で起こった事件が発生したのは1915年のことであった。蛇足を重ねれば、ナチスによるホロコーストも、ローマ帝国時代に起源を発する、²² 壮大で長期に及んだ、そして最後のポグロムという理解も可能である。

いずれにせよ、その結果、ロシアと東欧のユダヤ人の三分の一が国外脱出し、その大半がアメリカに向かった。²³ より具体的には、1881年からの10年間に、ユダヤ人が毎年9,000人のペースでアメリカに入国した。そして1890年以降は毎年37,000人近くが、さらに1903年から1914年にかけて、毎年76,000人前後のユダヤ人がアメリカに移住した。つまり20世紀の前後30年の間に100万人以上のユダヤ人がアメリカに上陸したことになる。

そしてヨーロッパからの移民船は、あたかも「自由の女神」像に歓迎されるかのようにニューヨーク港に到着した。これはユダヤ人に限ったことではないが、19世紀末から20世紀初頭にかけてアメリカに移住した移民の多くは、東欧と南欧出身の貧しい人々であっ

た。そして彼らは到着すると同時に、ニューヨーク市に住み着いた。しかしそこは息の詰まるような場所であった。たとえば多数のユダヤ人が居住したマンハッタン島東南部に位置していたニューヨーク10区 (the Tenth Ward) は、1890年代には世界で最も人口過密な場所であったし、隣接するロウワー・イースト・サイド (the Lower East Side) にはユダヤ人が50万人も住んでいた。²⁴つまり、アメリカにいたユダヤ人の半分がこの狭い地区に密生して住んでいたということになる。

上述したように、「20世紀フォックス」の開祖、ウィリアム・フォックスがハンガリーから最初に移り住んだのがここであり、万を超えるほどいた「イースト・サイドのユダヤ人少年」(East Side Jewish boy)²⁵の一人であった。そして同じ会社の重役ソル・ウルツェル (Sol Wurtzel) もまたこの地から出ている。²⁶そして興味深いことに、「ワーナー」が製作した世界初のトーキー映画、「ジャズ・シンガー」(Jazz Singer) のユダヤ人主人公ラビノウィッツ (Rabinowitz) の出身地がここロウワー・イースト・サイドに設定されている。

一世であれ二世であれ、移民のユダヤ人はこの人口過密の社会の中で、そして厳しい生存競争の中で生きていかななくてはならなかった。彼らが、あるいは彼らの両親がヨーロッパで味わった峻烈な迫害こそなかったが、アメリカにもユダヤ人差別はあり、彼らはこれと戦い、超克しなければならなかった。だが彼らはひるむことなくこの試練に挑み、商才を発揮し、成功を収めた。だがそれは彼らの商才に負っていただけなのだろうか？

第3章 大衆社会・映画・ユダヤ人

19世紀は産業革命の時代であった。そしてその原動力が鉄道であった。アメリカでは南北戦争前に東部・中西部で鉄道網が整備されていたが、戦後すぐに太平洋岸の主要都市との間を結ぶ大陸横断鉄道が敷設され、物流は飛躍的に向上した。これにより鉄や銅の鉱山開発と石炭採掘の成果が連動し、工業生産の大規模拡大が実現した。その生産拠点がシカゴを中心とする中西部であった。

すでに述べたように、時を同じくしてヨーロッパから大量の移民が到着した。南北戦争後から1890年までに西ヨーロッパから1,000万人がアメリカに移住し、19世紀末は東欧・南欧からの移民1,500万人が流入した。²⁷さらにこの時代、南北戦争後の疲弊した南部の農村地帯から、多数の黒人が都会に流出し、工場労働者となった。その結果、アメリカは資源と労働を効率よく入手し、一気に工業国に変身することができた。

そしてこれは同時に、大量生産と大量消費からなる大衆社会の創造でもあった。大衆社会の消費の対象はモノ (ハード) だけでなくサービス (ソフト) も含まれていた。またそれは都会に由来するものでもあった。たとえばデパートである。これは単に買い物だけではなく、消費を楽しむ場でもあった。この時、消費は娯楽に転化したのである。そして娯楽はさらなる娯楽を創造することになる。

この時代、出版もまた一気に勢いづいた。新聞や雑誌が相次いで創刊され、広告が掲載され、これにより消費はさらに勢いを増した。大衆紙は大きな見出しや写真、漫画、ス

キャンダル記事を掲載し、大衆の必需品となった。例えば「ワールド」紙は、日々200万部も印刷されていたし、女性雑誌 *The Ladies' Home Journal* は85万の読者を誇っていた。²⁸

だが大衆がそれ以上に熱狂したのが寄席 (vaudeville theaters) や遊園地 (amusement parks)、ダンスホールやゲームセンター (penny arcades) であった。寄席は話芸や歌、ダンス、手品や曲芸を見せる大衆娯楽場であった。しかし英語に不慣れな移民一世にとっては、英語の話芸を売りにする寄席は近寄りたが場所であった。さらに、寄席の入場料は25セント (a quarter) で、食うや食わずの新参移民にとっては高値の花であった。

他方、ゲームセンターはわずか1セント (a penny) で入場することができた。そしてそこには5セント (a nickel) で楽しむことができる「5セント映画館」(「ニケロードディアン」: nickelodeon) が設置されていた。²⁹ さてその「映画」であるが、今日われわれがイメージするものとはハードもソフトも大違いであった。まず映画のハード、メカに言及すれば、最初に「動く写真」を発明したのはエジソンであった。彼は1893年、35ミリの小さなスクリーンの上で、わずか90秒だけ動く写真、すなわち動画を発明し、それを事業化した。動画上映装置 (キネトスコープ) はホテルやデパート、酒場やゲームセンター (amusement arcades) に設置された。³⁰ それは「のぞき窓」から「鑑賞」する単純な娯楽 (kinetoscope peep show) であったが、子供ばかりか大人も熱狂した。³¹

そして2年後、大型投影機ヴィスタコープ (the Vitascope) が開発されると、「活動写真」はひとりひとりが機械をのぞき込んで見る個別娯楽から、「劇場」の中で他人と一緒に同一画面を共有する集団的娯楽に変質した。

さらに、見るべき対象、映像ソフトの中身も変化した。コインを投じて「のぞき窓」から「鑑賞」できたのは曲芸や民族ダンス、レスリングなど他愛のない(つまらない)動画であったし、その上映時間はわずか1分であった。³² 他方、座って鑑賞することができた「5セント劇場」で上映された動画は「劇映画」(narrative films) で、上映時間も12分から14分と長くなり、一気に娯楽の王者となった。映画館の看板には派手な電飾が施され、呼び込み係りが歩行者を勧誘し、景気づけの音楽を機械 (a phonograph) から大音響で流す光景が下町の風景となった。³³

そして1903年、映画ソフトを根底から覆す秀作、デヴィッド・グリフィス (David Wark Griffith) 監督の「大列車強盗」(*The Great Train Robbery*) が制作・公開された。³⁴ これは20世紀という時代、ニューヨークという空間を超越し、わずかひと昔であるが、時代をさかのぼり、大自然が広がる西部を舞台にした作品であった。これを見た観客は、走る列車を止め、乗客から金品を強奪し、逃げる客を銃撃する強盗団を目の当たりにすることができた、いわば非日常的体験を楽しむことができたのである。貧しき観客はこの8分間のドラマを見ている間、異次元の世界に浸ることで、現実の貧困や労働の苦勞、将来に対する不安を忘れることができた。言うまでもないことだが、この時代の映画は「サイレント」(無声・無音) であったため、皮肉にも、英語のわからない移民でもストーリーを十分楽しむことができた。

映画はアメリカとヨーロッパでほぼ時を同じくして発明され、発展したが、それがとりわけ花形産業となったのはニューヨークの下町、貧しい労働者、そしてユダヤ人が多く住む地域であった。1908年当時、ニューヨーク市とその周辺には600近くの映画館が存在し、観客は1日当たり30万人から40万人いた。³⁵さらに同じ年、ユダヤ人向けの新聞 (*the Jewish Daily Forward*) が、「市内には100軒近くの映画館があるが、その多くはユダヤ人街にあり、観客の大半は女性と子どもであった」と指摘していたことは興味深い。³⁶

とはいえ、新参の移民や貧しい労働者にどれほど人気があろうが、アメリカ社会一般が映画に下す判断は決して好ましいものではなかった。映画は新興産業であり、安っぽい低俗な娯楽、しかも犯罪と結びついた反社会的な営みと考えられていた。

In the case of storefront movie theaters, nearly two years passed, from 1905 to 1907, before the news seeped up to the middle class. Usually the information was relayed by a reformer or policeman with cries of astonishment, indignation and alarm. To these guardians of public morality the movie theaters were one more example of corrupt institutions and practices that had grown up in the poor and immigrant districts of the new industrial city; they belonged in the same class as brothels, gambling dens and the hangouts of criminal gangs. In a way they were worse, for the movies appeared to some merely as harmless amusements and thus were an even more insidious trap for the unwary.³⁷

19世紀後半のアメリカには、あたかもイギリスにおける気取った時代思潮「ヴィクトリアニズム」に呼応するように、「上品な」(genteel) イングランド系アメリカ人(ワスプ)の伝統が社会の規範となり、秩序となっていた。この伝統を信奉する人々にとって映画は、断じて容認することのできないほど卑猥で、低俗で邪悪な存在であり、弾圧すべき対象であった。その意を受け、たとえば、ニューヨーク市長は1907年と翌年、映画館に対し営業停止を命じた。³⁸そして1909年にはニューヨーク市に公的検閲機関 (*the New York Board of Motion Picture Censorship*) が創設された。³⁹またロサンゼルスでは映画産業に反対する署名運動が実施されて1万人が署名している。⁴⁰

くわえて映画産業の中にも落とし穴があった。エジソンはカメラとプロジェクターに特許を設定したうえ、他の大手映画製作会社と図ってフィルムの製造とプリント、配給を独占し、中小ライバル (independents) の参入を妨害したのである。⁴¹ちなみに1976年公開の映画、「ニケロードディアン」(*Nickelodeon*) は、独占組織 (“*The Patents Company*”) の監視の目を警戒しながら(闇)撮影をする小プロダクションの撮影チーム、ドイツ人が経営する映画会社の機材を破壊する独占組織、請け負い仕事の脚本と監督業、撮影済みのフィルムを監督に無断で加工・編集し、何本もの作品に仕立て上げるワンマン経営者など、映画黎明期のエピソードを面白おかしく、かつ的確に伝えている。

いずれにせよ、このような逆境のもとで映画業界に参入するには少なからずの覚悟が必

要であった。そしてその勇気をもっていたのがユダヤ人であった。彼らは故国で迫害され、アメリカに渡り、不屈の闘志をもって新世界での生存と成功をめざしたハングリー精神あふれる人々であった。その筆頭がウィリアム・フォックスであろう。彼は幼少期に両親に連れられアメリカに上陸し、子供ながら行商を経験した苦労人であった。11歳で学校をやめて様々な職業に就き、20歳の時に小さな会社を興した。⁴²そして「フォックス社」(The Fox Film Corporation)の経営者となってからも「仕事人間」(a workaholic)を自認し、腕時計を持たなかったというエピソードの持ち主であった。その理由を彼は、「私の一日は仕事が終わったときだ」と語っている。⁴³

「ユニバーサル映画」の創業者カール・レムリのモットーは「宮仕えに甘んじるな!」(“Don't be a salary slave.”)であった。⁴⁴そして彼は、中小プロダクションから執拗に特許使用料を取り立てる独占組織(The Motion Picture Patents Company)に対して、何度も法廷闘争を演じた不屈の精神の持ち主であった。レムリは独占組織を相手に289件の訴訟を起こし、30万ドルもの大金を法定費用に供している。⁴⁵

他方、MGMのルイス・メイヤーは不眠不休の経営者として知られていた。⁴⁶そして「コロンビア」のハリー・コーンは14歳で中学を中退して社会人となった、たたき上げだが、彼が部下の監督に求めたのは「強靱な男」(men of steel)であった。⁴⁷そして監督として採用されたのが、シシリー島出身のユダヤ人フランク・キャブラであった。キャブラもコーンに似た経歴をもち、辛酸をなめた男であった。だが、その苦労があったがゆえに、キャブラは「鋼(はがね)の監督」となり、数多くの名作を世に残すことができた。

彼ら、不屈のユダヤ人にとって、映画産業は成長産業であると同時に、「アメリカ人」(ワズプ)のライバルが少ない「隙間(ニッチ)産業」であった。もちろん最初の動画投影設備「キネトスコープ」を発明し、商品化したのはエジソンであったし、独占組織を結成した最初期の映画製作者たちはアメリカ生まれの白人(ワズプ)であった。

他方、ユダヤ人たちはその体制の中で、「最末端」に位置していた劇場経営に関心を示した。彼らは、この段階では映画作りには全く関心がなく、ただ単に「日陰者」産業であった映画にビジネスチャンスを期待しただけであった。彼らはニューヨークやシカゴ、あるいはボストンで同時多発的に小金を貯めては映画館を買収し、空き店舗を購入しては劇場に改装した。さらに劇場を大型化し、豪華にし、なおかつそれをチェーン店化し、莫大な富を築いた。

当時の映画は短編(shorts)であったため、たくさんの作品が必要であった。いきおいユダヤ人映画館経営者は製作に舵を切った。すると彼らは独占組織の妨害に遭った。独占組織はカメラにもフィルムにも「特許権」を主張し、利用料を徴収したり、暴力的に撮影を阻止したりして市場を独占しようとした。それゆえ後述するように、中小プロダクションは独占組織の目が届かない西部への逃避を試み、それが最終的にハリウッド「映画村」を創造させることになったのである。

先に言及したが、20世紀初頭に活躍した最初の職業映画監督グリフィスは、「映画には

娯楽性だけでなく教育力もある」と考えていたが、⁴⁸パラマウントのズーカーは、映画を「知的向上の源泉」(a source of intellectual elevation)と考えていた。そして彼自身が積極的に文化人と交流し、ヨーロッパの優れた才能——フランスのモーリス・シュバリエやオーストリアのヨーゼフ・フォン・シュテルンベルク、ドイツのマレーネ・ディートリッヒ——を招へいし、映画のレベル向上を図った。そのような映画製作にかける彼のモットーは、「洗練」(the policy of sophistication)であった。⁴⁹

MGMの創業者ルイス・メイヤーが映画にかけた思いは「非現実」世界 (general air of unreality) の創造であり、「美」の創造であった。

Mayer loved beauty as an aesthete did. He particularly believed, in accordance with his somewhat antiquated nineteenth-century view of women, in idealizing his female stars, and that became one of the benchmarks of the MGM look. Cameramen “had to photograph the movie queens and make them look damn good,” said director George Cukor, whose specialty was women. “Louis B. Mayer was a great believer in his movie queens ‘looking right.’”⁵⁰

言うまでもなく、上の引用から気づくことは、「美」とは「女優」の美にほかならない。しかしメイヤーが美にこだわった結果、美しい女優に惹かれた男性観客が恒常的に映画館を訪れることになり、MGM社は繁盛することになった。

そしてMGM中興の祖アーヴィング・ソールバート (Irving Thalbert) はリアリストでありながらも、ズーカーやメイヤーと同様の理想家でもあった。彼は「理想主義は金になる」(“Idealism is profitable.”) とか「高品質の映画は金になる」(“Quality pictures pay.”) が口癖であった。しかし「金」を口にしつつも、彼が「高品質」の映画作りに励む「理想主義者」であったことは確かである。⁵¹皮肉を言えば、それは禁欲的なプロテスタントが意図せずして資本を蓄えることに成功したのと同様に、「商売」を片時も忘れなかったソールバートが、観客を魅了する映画づくりに専念した結果、映画の質を高めることに貢献したということになる。

映画産業への貢献ということでは、またしてもカール・レムリの存在を忘れることはできない。メイヤーが女優の美学に魅せられたことは上述したが、映画の「スター」を創造したのがレムリにほかならなかった。当時の映画では俳優の名前がクレジットに載ることはなかった。なぜなら、初期の映画はカメラや映写機の性能に問題があり、俳優の容姿が注目されることはなかったからである。

映画の「売り」はもっぱらプロットの面白さや明快さと、役者の滑稽な動作やアクロバティックな動きにあった。俳優は単に面白おかしい「演技」をするだけの「道具」でしかなく、その個性は、容姿も含めて不要であった。だがレムリはこの欠陥に気づき、役者の個性と容姿を売り物にする「スター・システム」を開発したのである。⁵²

1909年、彼はライバル社の女優フローレンス・ローレンス (Florence Lawrence) を引き

抜き、彼の会社 (IMP) の看板女優に仕立てたのである。さらに翌年、メリー・ピックフォード (Mary Pickford) を、ギャラを2倍支払うことを条件に他社から引き抜いた。メイヤーが女優の美を売りに出すはるか前から、レムリは女優に秘められた営業上の可能性に着目していたのである。⁵³

以上から言えることは、アメリカの映画産業を発展させたのは、業界を独占し、富の蓄積のみに関心を抱いたワスプ映画人でも、映画を蔑視し、危険視していたワスプ・エリートでもなく、東欧ユダヤ人 (Ashkenazi Jews) であったということである。彼らが映画産業に関与したことによって、「子供だまし」程度に思われていた映画が、大衆の娯楽の王座に就いただけでなく、エリート層の知性と美学に呼応する芸術にまで昇華したのである。それだけではない。映画はアメリカを代表する産業となり、輸出外貨を稼ぎ、アメリカのソフトパワーとして外交上の有力な武器にすなった。アメリカに憧憬を抱く人は世界中にたくさんいる。そして彼らをアメリカ・ファンにした最初の契機がハリウッド製の映画であったことは想像に難くない。そして、その映画産業を興し、発展させたのがユダヤ人であった。

第4章 ハリウッド

アメリカの映画産業がカリフォルニア、ロサンゼルス、そしてより具体的には、ハリウッドで発展した理由は第一に、上述したように、映画製作者たちが独占組織による干渉や営業妨害から逃避したことにある。第二には、ここが映画製作上必須の好天という好条件を備えた土地であったからということになる。そしてもしも第三の理由があるとすれば、それは土地代が安かったから、ということになる。ちなみに、『彼らの帝国』 (*An Empire of Their Own*) の著者ニール・ギャブラー (Neal Gabler) によれば、この地が東部とは異なり、ワスプの伝統が薄く、保守的でも階級社会的でもなく、反ユダヤ感情が弱いから、ユダヤ人にとって快適な土地であったがゆえに、映画関係のユダヤ人が集ったとしているが。⁵⁴ これは決して間違いということにはならないだろうが、考え過ぎだろう。なぜならユダヤ人映画人の多くは上で挙げた第一の理由から西部に向かったものであり、そこが差別のない社会であると知っていたから目指した、ということではなかったはずである。だが実際には、ハリウッドを含めたロサンゼルスは保守的な土地柄であったし、上述したように不道徳 (immorality) を理由に、映画撮影禁止の条例制定請願運動が発生していたのである。

そもそもハリウッドは1887年、二人の信仰心の厚いメソジスト派キリスト教信者——今日では福音主義者と呼ばれている宗教的保守主義者——が、「同志」による共同体建設を意図して開拓した「お堅い」土地であった。そして1903年にそこが自治体として公認されると、石油採掘も屠殺も、療養施設の運営も飲酒も、そして映画も禁止されたのである。⁵⁵

つまりハリウッドも、それを編入したロサンゼルスも決して進歩的な土地柄ではなかったということである。映画産業が栄えることになったのは、ユダヤ人がパワーを発揮して

保守的な「邪氣」を払いのけてしまったからであって、そこが進歩的でリベラルな風土で、ユダヤ人を歓迎したからでは決してない。

リベラルという点では、カリフォルニアは東部文明の圏外に位置しており、法制度が緩かった（easy laws）ことは確かである。⁵⁶ それゆえ独占組織の監視も管理も行き届かず、独立プロは安心して映画作りに励むことができ、それが好循環的に働き、「映画の都」が形成され、同時にユダヤ人の理想郷が実現したのである。

とはいえ「無人の野」に近かったこの地に最初に撮影所（スタジオ）を建設したのはユダヤ人ではなくポーランド系「アメリカ人」であった。すなわち、1907年、ウィリアム・ゼリック（William Selig）がロサンゼルス市の海岸サンタモニカで撮影を行い、2年後に市内にスタジオを建設した。⁵⁷ 次にスタジオを建てたのは最初の職業監督グリフィスで、3番手がイギリス人デーヴィッド・ホースリー（David Horsley）で、1911年に「ネスター・フィルム」（the Nestor Film Company）のスタジオをハリウッドに構えた。⁵⁸

そして1913年、セシル・デミルがやって来たが、彼にとってロサンゼルスは想定外の地であった。当初、彼は西部の大自然を舞台にした作品を撮影するためにアリゾナに向かった。独占組織の横やりを懸念したためであった。だがアリゾナはドラマには不向きな場所だと判断し、乗ってきた列車に戻り、最終到着地であったロサンゼルスに「漂着」してしまった。そして、すでにそこでは映画作りがなされていることを知り、彼もここで撮影をすることし、スタジオ用の建物を借りた。さらに夫婦で住むための家も確保し、自宅とスタジオの間を馬で通勤することになった。道路が整備されていなかったからである。今日ではアメリカ有数の大都会ロサンゼルスも、20世紀はじめはインフラが未整備の「田舎町」であった。⁵⁹

カール・レムリがスタジオ（「ユニバーサル・シティー」）を建設したのは1915年のことであった。彼は170ヘクタールという広大な農地を買収して映画製作に必要ないくつかの「町」を建設したが、当時の木版画には山並みを背後にした、砂漠状の平地に、あたかも軍隊の駐屯地のように、（個人住宅よりは大きな）建築がまばらに建ち並んでいる様子が描かれている。そして大勢の賓客を前にした完成式典でレムリは、「映画を通じて世界中の人々を感動させたい」（“Die Leute auf der ganzen Welt dazu zu bringen zu lachen oder zu weinen oder auf der Stuhlkante zu sitzen.”）と意気込みを語った。⁶⁰

そして最後にやって来た「大物」がルイス・メイヤーであった。1918年のことであった。彼はハリウッドに自宅と撮影所を建てたが、この時すでにロサンゼルスには70以上の映画会社か軒をそろえていた。⁶¹ そしてこの年、チャーリー・チャップリンもハリウッドにスタジオを設けている。⁶²

今さら言うまでもなく、この地は好天に恵まれており、屋外撮影に適しているうえに、多様な地理的景観に富んでおり、海外ロケ—— 当時は国内のロケでさえ至難の業で、海外ロケは考えられなかったが—— をせずつも「外国」を演出することが可能であった。たとえば、カリフォルニア各地には古代エジプトやマヤ文明の寺院、マレー半島の住宅、中国

やタイの仏塔（パゴダ）、スペインのバロック寺院、ロマネスク寺院、ルネサンス時代の宮殿、中東や北アフリカを象徴するモスクなどが建設された。⁶³ その結果、映画のスケールも質も向上し、マーケットは世界に拡大し、映画産業も大発展した。

1920年、ハリウッドの映画関係者は10万人を数え、映画産業は10億ドルの売り上げを計上し、ロサンゼルス市最大の産業に発展した。さらに映画関係者の中からは経営者やスターを中心に、多数の億万長者が出現し、ハリウッドを絢爛豪華な「虚栄の都」にした。さらに、このイメージはアメリカ社会全体に投影され、「自由で豊かなアメリカ」という神話に昇華した。

結論

東欧ではもちろんのこと、西欧においてもユダヤ人は、キリスト教が国教となった以降、ローマ帝国時代から日陰者の存在であり、都市の一角に居住を制限され、職業も限定されるといった差別や迫害を受けてきた。フランス革命以降、西欧諸国では国民国家の成立に伴い、ユダヤ人にも国籍を与え、居住と職業制限を緩和するなどの進歩が見られた。しかしロシアを含めた東欧では、居住や職業の制限が続いたのみならず、ポグロムに代表される迫害が頻発し、ユダヤ人は住み慣れた世界を捨て、新天地に活路を見出すことを余儀なくされた。19世紀後半にはユダヤ人の「祖国復帰」運動（シオニズム）が起り、パレスチナをめざす者もいたが、多くは西ヨーロッパに、さらにはアメリカに希望を託した。

アメリカに上陸したユダヤ人がまず感じた喜びは、祖国を持たない喜びであった。個人レベルでの差別はさておき、公的にはユダヤ人の人権を蹂躪する制度はアメリカにはなかった。居住や移動の自由、職業選択の自由も、そして教育を受ける権利もあり、彼らは自由を謳歌したばかりか、合衆国国民の地位も取得することができたのである。ヨーロッパでは彼らは「二級市民」で、目に見えないバリアが彼らの行く手を遮っていた。他方アメリカでは、彼らは自由に生きることができるばかりか、才能と努力次第ではいくらかでも「出世」することが可能となった。

ハリウッド映画人の多くは地を這うような、社会の底辺での職業遍歴を経験しつつ、小金を蓄え、目前で人目を惹きつける映画ビジネスに惹かれ、そこに投資した。映画は成長産業であり、彼らの投資は見事に成功した。すると彼らはなおも映画の成長に賭けた。映画館を経営することに満足せず、映画の製作に着手したのである。創意工夫を活かすことで映画は利益を生み出すだけでなく、彼らの美学や哲学を表現する媒体にもなり、彼らは創造する喜びを満喫することができた。

さらに彼らは、映画作りには新しい環境が必要だと気づき、カリフォルニアをめざした。そして温和な気候と、日照時間が長く、多様な景観に富んだロサンゼルスが映画製作の理想郷だと判断し、彼らはそこに相次いでスタジオを建設し、映画製作に没頭した。映画の量産は質の向上をもたらし、映画は単なる娯楽メディアにとどまらず、鑑賞すべき芸術にまで昇華し、アメリカを代表し、特徴づける文化となった。そして繰り返すが、映画はかけ

がえないアメリカの文化遺産であるが、それを創造した人物の多くは東欧出身のユダヤ人であり、その意味で、ハリウツドの映画産業はユダヤ文化の結晶であると言える。

注

- 1 Neal Gabler, *An Empire of Their Own: How the Jews Invented Hollywood*, Anchor Books, 1988, p. 2.
- 2 David Thomson, *The New Biographical Dictionary of Film*, Alfred A. Knopf, 1975, p. 1153.
- 3 Johnson, *A History of the America People*, HarperPrennial, 1997, p. 692.
- 4 Gabler, pp. 64–65.
- 5 上掲書, p. 112.
- 6 Thomson, p. 931.
- 7 上掲書, p. 931.
- 8 Gabler, p. 120; p. 125.
- 9 Johnson, p. 692.
- 10 Gabler, p. 82.
- 11 Graham Bannock, *Hollywood Lives: Movie Stars in the Golden Age, Their Own Stories*, Outskirtspress, 2012, p. 21.
- 12 Udo Bayer, *Carl Laemmle: Von Laupheim nach Hollywood*, Hentrich & Hentrich, 2015, pp. 12–21.
- 13 Gabler, p. 205.
- 14 Johnson, p. 692.
- 15 Gabler, p. 47.
- 16 Eric A. Goldman, *The American Jewish Story Through Cinema*, University of Texas Press, 2013, p. xi.
- 17 Robert Sklar, *Movie-Made America: A Cultural History of American Movies*, Vintage Books, 1975, p. 46.
- 18 Gabler, p. 151.
- 19 Steven J. Zipperstein, *Pogrom: Kishinnev and the Tilt of History*, Liveright Publishing Corporation, 2018, p. 1.
- 20 Ronald Takaki, *A Different Mirror for Young People: History of Multicultural America*, Seven Stories Press, 2012, p. 216.
- 21 Zipperstein, 上掲書.
- 22 大澤武男著『ユダヤ人とローマ帝国』、講談社現代新書、2001年、pp. 182–183.
- 23 Takaki, p. 217.
- 24 Johnson, pp. 577–578.
- 25 Gabler, p. 64.
- 26 Gabler, p. 237.
- 27 Johnson, pp. 513–514.
- 28 Bannock, pp. 4–6.
- 29 Sklar, p. 14.
- 30 Bannock, p. 10.
- 31 Sklar, p. 13.
- 32 Sklar, p. 20.

- 33 Sklar, p. 16.
- 34 Sklar, p. 26.
- 35 Sklar, p. 16.
- 36 Gabler, p. 57.
- 37 Sklar, p. 18.
- 38 Steven Mintz, Randy Roberts, and David Welky ed., *Hollywood's America: Understanding History Through Film*, Wiley Blackwell, 2016, p. 15.
- 39 Sklar, p. 31.
- 40 Johnson, p. 692.
- 41 Mintz, Roberts, and Welky, p. 11.
- 42 Gabler, pp. 64–65.
- 43 Gabler, p. 72.
- 44 Gabler, p. 47.
- 45 Sklar, p. 39.
- 46 Gabler, p. 82.
- 47 Gabler, p. 163.
- 48 Mintz, Roberts, and Welky, p. 48.
- 49 Gabler, p. 202.
- 50 Gabler, p. 214.
- 51 Gabler, p. 233.
- 52 Bannock, p. 8.
- 53 Sklar, p. 40.
- 54 Gabler, p. 105.
- 55 Johnson, p. 691.
- 56 同上.
- 57 Gabler, p. 105.
- 58 Bannock, pp. 7–8.
- 59 Bannock, pp. 4–5.
- 60 Udo Bayer, p. 31; p. 47; p. 49.
- 61 Gabler, p. 105.
- 62 Bannock, p. 8.
- 63 Johnson, p. 693.

引用・参考文献一覧

- Udo Bayer, *Carl Laemmle: Von Laupheim nach Hollywood*, Hentrich & Hentrich, 2015.
- Steven J. Zipperstein, *Pogrom: Kishinev and the Tilt of History*, Liveright Publishing Corporation, 2018.
- Graham Bannock, *Hollywood Lives: Movie Stars in the Golden Age, Their Own Stories*, Outskirtspress, 2012.
- Robert Sklar, *Movie-Made America: A Cultural History of American Movies*, Vintage Books, 1975.
- David Thomson, *The New Biographical Dictionary of Film*, Alfred A. Knopf, 1975.
- Steven Mintz, Randy Roberts, and David Welky ed., *Hollywood's America: Understanding History Through*

Film, Wiley Blackwell, 2016.

Paul Johnson, *A History of the America People*, HarperPrennial, 1997.

Neal Gabler, *An Empire of Their Own: How the Jews Invented Hollywood*, Anchor Books, 1988.

Otto Friedrich, *City of Nets: A Portrait of Hollywood in the 1940's*, University of California Press, 1986.

Eric A. Goldman, *The American Jewish Story Through Cinema*, University of Texas Press, 2013.

Ronald Takaki, *A Different Mirror for Young People: History of Multicultural America*, Seven Stories Press, 2012.

大澤武男著『ユダヤ人とローマ帝国』、講談社現代新書、2001年、pp. 182-183.

山田 利一 (t_yamada@hokuyo.ac.jp)

「SDGs」と北海道内企業・地域の実践事例

中田 和則
北洋大学

“SDGs” and Practical Examples of Companies and Regions in Hokkaido

NAKATA Kazunori
Hokuyo University

Abstract

What are SDGs, which have become widely known in Japan and are often covered by the media? There is a need for companies and businesses to promote SDGs management and action procedures. I will take up practical 4 examples and initiatives of companies in Hokkaido that can be used as a reference.

Efforts to achieve the SDGs by companies have great potential to create new markets, such as developing new business and business partners, collaborating with local communities and governments, and entering new businesses. Therefore, as a company, we should view SDGs initiatives as an opportunity for business growth and innovation.

I sincerely hope that the SDGs initiatives will serve as a compass for overcoming external crises such as the current coronavirus and Ukraine problems, as well as various major social headwinds and storms that may occur in the future.

1. はじめに

最近、17色の丸いバッジをジャケットに着けている人を、街中でよく見かける。カラフルな17色の、それぞれの色が示すのは“世界をよりよくするためのゴール”その17のゴールと169のターゲットがSDGs（エス・ディー・ジーズ）である。SDGsは、企業や行政・団体・地域にとって、①持続可能性を増進するための事業規律となり、②先行きのビジネスチャンスや機会を見極める指針でもあり、③国内外の関連企業・団体と「価値観」を共有することで予期せぬリスクを軽減する効果がある。

筆者は、長年にわたり金融機関等で事業再生と企業支援業務を経験してきた。現在、経営コンサルタントとして、公的機関で道内中小企業経営者の経営支援業務を行っている。数多くの中小企業、小規模事業者や個人経営者が未来に向けて「持続可能性」を真剣に考えて活動している例を数多く見て、また支援活動も行ってきた。

本稿では、そもそも「SDGs」とは何か、企業や事業者・団体等がSDGs経営を推進していく必要性、これまで取材調査や関与した中から、SDGs経営を推進していく上で参考となると思われる北海道内企業・地域の4つの実践事例と、企業や事業者がSDGs経営を取り組む手順について取り上げる。

本稿を、まとめるにあたり、北海道コカ・コーラボトリング株式会社の執行役員 井馬智行氏、株式会社レアックス 代表取締役の成田昌幸氏、はじめ、北洋銀行関係者の皆様方にご協力を頂きました。感謝を申し上げます。

2. 「SDGs」とは

SDGs（エス・ディー・ジーズ）は、「持続可能な開発目標（Sustainable・Development・Goals）」の略称で、2015年9月に国連サミットで採択された2030年まで続く国連目標である。『地球上の誰一人として取り残さない持続可能な世界』を実現するために、“世界を変えるための17の目標”が掲げられている。17の目標は、次の項目である。

- ① 貧困をなくそう
- ② 飢餓をゼロに
- ③ すべての人に健康と福祉を
- ④ 質の高い教育をみんなに
- ⑤ ジェンダー平等を実現しよう
- ⑥ 安全な水とトイレを世界中に
- ⑦ エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- ⑧ 働きがいも経済成長も
- ⑨ 産業と技術革新の基盤をつくろう
- ⑩ 人や国の不平等をなくそう
- ⑪ 住み続けられるまちづくりを

- ⑫ つくる責任 つかう責任
- ⑬ 気候変動に具体的な対策を
- ⑭ 海の豊かさを守ろう
- ⑮ 陸の豊かさを守ろう
- ⑯ 平和と公正をすべての人に
- ⑰ パートナーシップで目標を達成しよう

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

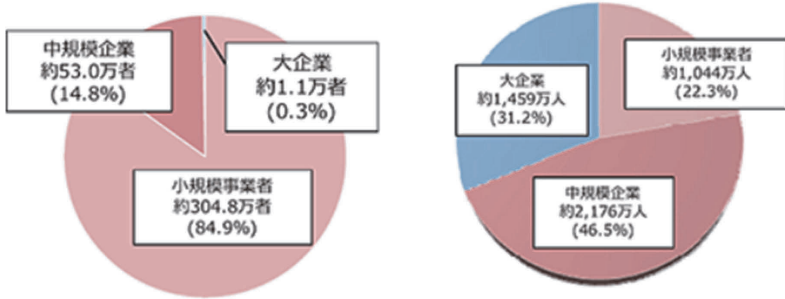


「国連制定の SDGs 世界共通ロゴ」
(国際連合広報センター HP より)

3. SDGs 経営を推進していく必要性

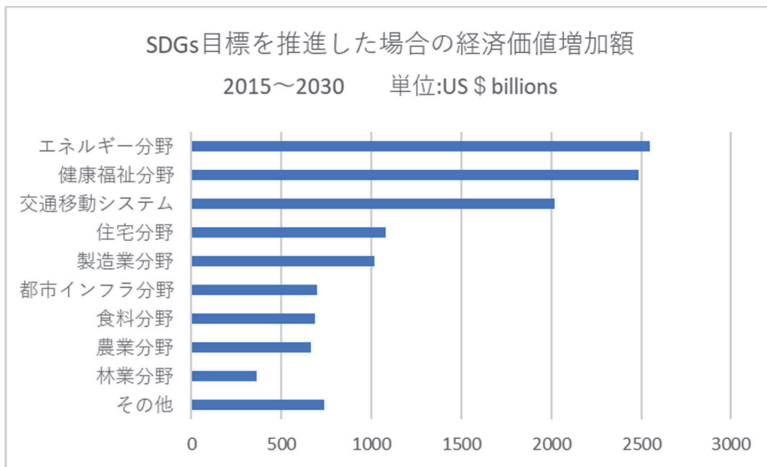
SDGs は地球全体での環境問題や世界的な課題の解決にゴールがあるので、「国や大企業が取り組むべき」と考えがちである。しかし、日本の企業規模別の企業数で中小企業が構成比 99.7% 従業員数 70% を占め（2022 年版中小企業白書）であり、むしろ中小企業が SDGs に取り組むことのメリットや必要性があると言える。

日本の産業を圧倒的なシェアで支えている中小企業が SDGs に取り組むことで、企業や地域の持続可能性に関わる価値の向上につながり結果的に新たな事業機会を生み、我が国全体の付加価値の増加につながる。



「日本の中小企業数と従業員数」
(2022年版中小企業白書より)

国連基金等で運営されている、ビジネス&持続可能開発委員会 (BSDC) のレポートは、SDGsに取り組むことで、エネルギー、健康と福祉、移動システム、食糧と農業等の世界経済システムで2030年までに12兆ドルの経済価値増加(効果)があると試算している。



「経済価値増加額」
(ビジネス&持続可能開発委員会レポートより筆者編集)

企業等におけるSDGsへの取り組みは、新規取引先や事業提携先の開拓、地域や行政との連携、また新規事業への進出など、新しいマーケットを創出する大きな可能性を秘めている。そのためSDGsへの取り組みを企業として、事業成長とイノベーションの機会として捉えるべきである。

また、以下の経営メリットも期待できる。

- ①大企業や金融機関、投資家、消費者からの信用、支持の獲得。
- ②採用などの人材確保に優位。
- ③社員の企業への愛着、業務への誇りを高める。
- ④資金調達の優位性（例えば、北海道内では北洋銀行がSDGs宣言を行い、ファンド支援等を実施）。

4. 北海道内企業の取り組み事例

実際に、北海道内企業等がどのようにSDGsに取り組んでいるのか、SDGs経営を実践推進していく上で参考となる企業・地域の4つの取り組み事例を紹介する。

【事例1】北海道コカ・コーラボトリング株式会社

北海道を主な販売地域として、飲料の製造及び販売している代表企業として、北海道コカ・コーラボトリング株式会社の事例を見てみる。同社は「環境」「社会」「経済」の3つを軸に重点課題を定め、社会問題解決に貢献している。

『環境』

- 温室効果ガス（GHG）排出量削減（省エネと再生エネルギー利用等）
工場やオフィス等や車両だけでなく、購入するエネルギーやバリューチェーンにおけるすべてのCO₂の排出量を、2030年までに121,380トン削減することを目標としている。
- 旗艦製品を100%リサイクルPETボトルに
2021年5月から、それまでの「い・ろ・は・す天然水」に加え、「コカ・コーラ」、「コカ・コーラ ゼロシュガー」などの主要製品を、100%リサイクルPETボトルに切り替えている。
- 北海道の水資源保護活動の推進
自然の営みの根源である水資源の持続的な活用を図りながら、次世代の北海道のため水資源保護活動の推進を行っている。

▶▶▶ 北海道の大切な 資源を活かし、未来へ

自然の営みの根源にある水資源の持続的な活用を図りながら、次世代の北海道のための施策に幅広く取り組んでいます。

水資源保護活動の推進

製品に使用した量と同等の水を自然に還元する取り組みを進めています。

指針は、3つの「R」。製造過程の水使用量を削減する「リデュース (Reduce)」、使用する水の循環「リサイクル (Recycle)」、そして地域の水資源涵養「リプレニッシュ (Replenish)」です。



エレクトロン・ビーム殺菌
(Reduce)

ラグーン処理方式
(Recycle)

水源域での森づくり活動
(Replenish)

「北海道コカ・コーラボトリングの水資源の持続的活用」
(北海道コカ・コーラボトリング (株) 『サステイナビリティレポート 2022』より)

『社会』

●地域の課題解決や地域活性化を支援

寄付型児童販売機（環境、医療、スポーツ、盲導犬応援等）を、45種類約1,800台設置しており、売上金の一部を地域の社会課題解決に役立てている。

地域の子ども食堂や生活困窮者支援団体などへ、フードバンクを通じて製品寄贈を実施している。また北海道全体がスポーツで活性化するように「北海道日本ハムファイターズ」、「北海道コンサドーレ札幌」、「レバンガ北海道」を応援し支援活動を展開している。

●安全安心への取り組み

北海道エアポート株式会社と災害時連携協定を締結、災害・雪害時等の販売用飲料水提供などに加え、「電光掲示板付き災害時対応型自動販売機」、マスクなど衛生用品の自動販売機を設置する他、デジタルサイネージを設置し、千歳市と連携した防災情報の発信を行っている。

「災害時における飲料の供給等防災に関する協定」を北海道と結んでおり、災害時には遠隔操作により機内の飲料を無料で提供できる「フリーバンド」の機能を備えた販売機を設置（現在道内約1,300台）し、電光掲示板からは災害情報を発信している。

『経済』

●新型コロナウイルス感染症への取り組み

「さわやかさと潤いを提供する」を社会的使命とし、医療従事者への製品や衛生用品の寄贈、自販機の抗ウイルス・抗菌施工を進めている。

●ワークとライフの充実

同性パートナーに対応した社内規定の整備を実施。「D & I推進について」「LGBTQ」「障害者差別について」「ハラスメント防止」研修を実施し、多様な人材が個々の違いを受け入れ、「ワーク」と「ライフ」の充実をコンセプトとした働き方改革を推進している。

【事例2】株式会社 レアックス

次に紹介する、株式会社レアックスは社員36名の地質調査・建設コンサルティングの会社であるが、井戸カメラの国内シェアが9割を誇っている。成田昌幸社長（53歳）はJICA（国際協力機構）のSDGsセミナーで、世界的な水不足問題「安全な水を世界中に」というSDGsの目標の1つに対し、強く心を動かされた。北海道の中小企業である自社でも、自社の強味である技術力で世界に貢献できると確信。深刻な干ばつに襲われた南米ボリビアにおける2千本以上の井戸の復旧工事をJICA協力し、次々と復活させることができた。今後は、東南アジア諸国での事業展開を視野に入れている。

●途上国の水不足問題への取り組み支援

JICAの「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」により、南米ボリビアの効果的な井戸診断・改修による井戸の長寿命化プロジェクトを実施。井戸メンテナンスに必要な調査機器の普及を促進すると同時に、現地技術者へ向けた技術セミナーや実地研修も実施している。



「南米ボリビアの現地技術者向け研修」
(株式会社レアックス HPより)

●安心して暮らせる住みよいまちづくりに貢献

同社はインフラ整備の基礎となる地質調査の実施、および地質調査機器の開発や正確な地層データの提供を行い、強靱な大型構造物の施工・設計やソフト防災対策にも貢献している。そのほか、土壌汚染調査やアスベスト分析を実施して、環境汚染の拡大を水際で防ぎ、人々が健康的で安心して暮らすことができる街づくりに取り組んでいる。

●3Rを意識した環境に配慮した生産体制の強化

限りある資源の3R活動「リデュース (Reduce)、リユース (Reuse)、リサイクル (Recycle)」に取り組んでいる。調査機器の試作機もCO₂排出量の少ない植物由来の樹脂を使用した3Dプリンターで試作機を制作。

●人も企業も地域も活性化する取り組み

社内の活性化と生産性向上のため、社内に多目的ルームを設置。社内情報誌も従業員間のコミュニケーションツールになっている。大学との共同研究は学生と企業がお互いの活性化に繋がっている。

●次世代の地球科学への興味・関心を深める

地域の学校の企業訪問学習を受け入れ、体験型プログラムを通じて子供達の好奇心を育てる教育活動を実施。高校や大学でも講演し次世代の地球科学への興味を高め、地質調査の重要性を伝えている。

●社会的課題の解決に貢献

開発途上国の水不足問題を解決するプロジェクトに参加。国内外の行政機関と連携し、積極的に地域の社会的課題の解決に貢献している。

【事例3】株式会社 積丹スピリット

3番目の事例は、SDGsに取り組む創業企業に金融機関が出資し起業段階から経営支援を継続している事例である。株式会社 積丹スピリットは農林水産業のコンサルタントであった岩井宏文社長が2018年に創業。北洋銀行の「SDGs推進ファンド」の出資を活用し、蒸留所が完成し、ジン製品を製造。その製品は「東京ウイスキー&スピリッツコンペティション2022」で金賞を受賞するなど高い評価を受け、大きな注目を浴びている。



「積丹スピリットのジン：火の帆」
(株式会社 積丹スピリッツ HP より)

●耕作放棄地を再生、環境資源の活用

岩井社長は、積丹の地形、気候が英国・スコットランドと似ていることから、ジンの製造の肝となるボタニカル（ハーブ、スパイス、果皮など香りのもとになる植物）の栽培や蒸留に適しているのではないかと関係者のアイデアに着目。積丹町が所有する耕作放棄地を活用したジンのボタニカル生産を開始した。また、畑を耕す際、機械作業ではなく、馬を活用して整地作業を進めることで、馬も資源の一つとして捉え、観

光につなげる取り組みも行っている。

●自治体も含めた「対話」による住民理解

積丹町の経済産業団体の「積丹町地域活性化協議会」等を活用しながら、地域住民や議会、関係者との「対話」を重ね、住民理解を図ってきた。

●地域観光振興と地域活性化

積丹町は、夏場のウニ漁が盛んな時期以外の誘客が行われていなかった。ジンの蒸留体験や圃場でのボタニカルツアーといった体験ツアーを計画。産官金でジン販売を通じての観光振興、関係人口の創出、地域経済や域内資金の循環、地域活性化に取り組んでいる。

【事例4】NPO 法人 森の生活（下川町）

最後に紹介する事例は、SDGs への取り組みについて、企業主体ではなく行政が主導し、住民参加型で地域活性化を進めている事例である。人口3千人台の、上川管内下川町では、面積の88%を占める森林資源を活かして「森林保全」や「環境教育」を下川町とNPO法人 森の生活を中心に、行政と住民と一体に取り組んでいる。この取り組みは、政府の第1回SDGs アワードで最高賞の総理大臣賞を受賞し、下川町はSDGs 未来都市に選定されている。

●下川版SDGsの取り組みと高い熱自給率

下川町は、輸入自由化による木材価格の下落や下川鉱山の休山、名寄線の廃止などで人口が流出、1980年に人口流出率が道内一になり町の存続が危ぶまれる危機に陥った。そこで力を入れたのは、もともと地域にある森林資源の活用である。

限界集落地区であった一の橋地区を町の「集落再生モデル地区：バイオブレッジ」と名付け26戸の町営住宅や障害者支援施設などの暖房・給湯に、間伐材のチップを燃やす木質バイオマスボイラーの熱を利用。さらにバイオマスの熱を利用したビニールハウスで、おがくずを固めたシイタケの菌床栽培を開始。現在、年間100トン近く出荷している。

バイオマス利用はバイオブレッジだけではなく、町内全体の熱エネルギーの56%を賄っており、公共施設に限れば重油や灯油の削減効果は年間3800万円である。

国連でSDGsが採択された2015年に就任した谷一之町長は、下川版SDGsを住民と一緒に話し合い、取りまとめ「全国一SDGsが町民に根差した町」を自負している。



「下川町シイタケ菌床栽培施設」
(下川町特用林産物栽培研究所FB より)

●森の製品開発販売事業

NPO 法人 森の生活（麻生翼代表）では、下川の森から生まれた製品を販売し、森のある暮らしを提案すると同時に、これまで有効活用されてこなかった広葉樹を中心に、木工用材の供給や製品開発に取り組んでいる。



「広葉樹のオーダーメイドテーブル」
(NPO 法人 森の生活 HP より)

●森のまちづくり事業

さらに、NPO 法人 森の生活では、雑木林「美桑が丘」や「五味温泉体験の森」の管理

運営行い、住む人、訪れる人、どちらにとっても魅力ある、森を活かした地域づくりに取り組んでいる。また、行政と市民の協働や対話、住民自治の促進に関する活動も行っている。

●森の体験事業・伝える事業

人々が下川に滞在しながら様々な交流や体験を楽しむために、地域交流施設「森のなかヨックル」および併設の「ヨックルガーデン」を管理運営、子供から大人まで、森で遊び、学ぶ機会を提供し、次世代へ森の体験を伝える活動も行っている。



「小学4年生の森林環境教育」
(NPO法人 森の生活 HP より)

5. SDGs 経営の取り組み手順

どのようにSDGs経営に取り組んでいけばいいのか、その手順については、国連グローバル・コンパクト(UNGC)等で作成され、最もスタンダードでかつ、実際に日本でも広く実践されているガイドラインである「SDGsコンパス」に沿って順番に見ていくこととする。

ステップ1：SDGsを理解する

まずは、SDGsに関して十分理解することから始める。SDGsの指標である17のゴールと169のターゲットを把握し、どのような形で自社に取り入れられそうか、または既に貢献しているものがあるかを確認する。

ステップ2：優先課題を決定する

自社の事業の中で優先的に取り組む課題を見つけるために、SDGsの指標に沿って自社の課題を洗い出す作業を行う。結果的に優先課題を決定することを行う。

ステップ3：目標を設定する

優先的に取り組む課題に対して目標の設定を行う。具体的な数値や期限、期間のある目



「SDGs コンパス」
（『SDG Compass GRI (Global Reporting Initiative)』より）

標が望ましく、設定した目標の達成度に対する KPI（Key Performance Indicators 「重要業績評価指標」）も決めておく。KPI のアプローチ方法として企業目線から取り組むインサイド・アウト・アプローチと、世界的・社会的ニーズから目標を設定するアウトサイド・イン・アプローチの方法があるが、後者の視点での取り組みが理想である。

ステップ4：経営へ統合する

実際に目標を経営に統合し、達成を目指す。中長期的な事業や企業のガバナンスに SDGs を組み込む。業務内で実際どのように取り組めば目標が達成できるか落とし込んでいく。その際、必要不可欠な一般従業員の協力を仰ぐために、SDG の意識を企業内に浸透させる必要がある。

ステップ5：報告とコミュニケーションを行う

SDGs に関して取り組んだ事項を、ステークホルダーへ報告する。課題を設定した経緯・理由や、目標と戦略、進捗状況などを、自社の公式HP や SNS などを活用して報告することも可能である。

SDGs に関しての、具体的な取り組みと推進については、将来を見据えた経営者の強い意思が不可欠ではあるが、積極的に SDGs 経営実践に向けたサポート支援活動を行っている北洋銀行等の金融機関や国・道の公的支援機関の専門家を活用することが有効であると考える。

6. おわりに

SDGs の取り組みといっても、遠いグローバルな目標ではない。今取り組んでいること、これまで会社として大事にしてきたこと、また本業自体の見せ方を社会的貢献的にしていくという対外的な PR 活動やブランディングをしていくといった、もっと身近な、第一歩から始めてもいいと考える。SDGs の取り組みが、現在のコロナやウクライナ問題といった外的危機や、今後、未来に起こりうる、様々な社会的な大きな逆風や荒波を乗り越えていく、羅針盤になればいいと、心から願っている。

以上

参考資料

- ・持続可能な開発のための世界経済人会議:WBCSD (2019)『ビジネスと人権に関する CEO ガイド』
- ・中小企業庁 (2022)『2022 年度版 中小企業白書』
- ・ビジネス&持続可能開発委員会 (2013)『Better Business Better World』
- ・古澤広祐 (2014)「持続可能な開発・発展目標 (SDGs) の動向と展望」『国際開発研究』第 23 巻第 2 号
- ・笹谷秀光 (2022)『Q & A SDGs 経営』日本経済新聞出版
- ・関口裕士 (2022)『北海道で SDGs』北海道新聞社
- ・村尾隆介 (2020)『今日からできる小さな会社の SDGs』青春出版社
- ・中田和則 (2022)『いまさら聞けない SDGs と北海道内企業の実践事例について』ほくよう調査レポート No313
- ・独立法人中小企業基盤整備機構 (2021)『中小企業のための SDGs 活用ガイドブック』
- ・北海道コカ・コーラボトリング株式会社 (2022)『北の大地とともに サステナビリティレポート 2022』
- ・株式会社レアックス, <http://www.raax.co.jp/publics/index/103/> (閲覧 2022/11/4)
- ・株式会社積丹スピリット, <https://shakotan-spirit.co.jp/information.html> (閲覧 2022/11/4)
- ・NPO 法人 森の生活, <https://morinoseikatsu.org/> (閲覧 2022/11/4)
- ・北洋銀行 (2022)『サステナビリティ方針・北洋銀行 SDGs 宣言』

中田 和則 (nakata_office2016@yahoo.co.jp)

第2部：北洋大学のこの一年

1 新聞記事に見る「北洋大学」のこの1年：

①学生・部活動関係

苫小牧民報

日付	見出し
4月15日	新戦力加入、チームに活気 北洋大 1年生2桁入部
4月22日	あす開幕、北洋大は第1節不戦勝
4月25日	春期リーグ開幕
4月29日	北洋大が今季初陣
5月1日	東農大網走3連勝
5月2日	北洋大、東農大に連敗
5月2日	東農大網走4連勝
5月6日	北洋大 気持ち切り替え3節へ
5月8日	東農大網走5連勝
5月10日	北洋大、函教大に連勝
5月13日	北洋大、第4節で函大と激突
5月13日	東農大網走8連勝
5月15日	東農大網走7連勝
5月17日	北洋大、函大と1勝1敗
5月17日	北洋大は準優勝 北海道新人戦
5月20日	北洋大、最終節へ奮起
5月22日	函大がVに望み
5月23日	北洋大、2位タイで終える
5月23日	東農大網走33度目V
7月4日	学費の心配なく学べる社会に 渡辺あゆみさん
9月3日	1部秋期リーグ 第2節へ意気込み
10月20日	北洋大 新チーム始動 3年生以下、主力争い激化
10月20日	捕手・臼井 さらなる成長目指す
11月17日	留学生が読み聞かせ 23日に北洋大 語りも披露
11月28日	留学生らが読み聞かせ 故郷の伝承も披露
12月5日	なんでもトーク 留学生との交流うれしい
12月7日	金賞目指し練習大詰め 一般の部に北洋大生所属バンドも
12月21日	北洋大生 まちづくり要望 市議会総務委が意見交換会
12月23日	苫小牧勢の活躍に沸く スマイルJ悲願の決勝T進出

1月6日	スピード男子500杉山25位 フィギュア男子 坪井26位
1月14日	1部昇格を祝う 北洋大学女子バスケット部「インカレ出場目標に」
1月16日	北洋大学2年生 高橋こはくさん 居心地良いが願望も
1月31日	スピード引地は決勝へ フィギュア坪井23位

②大学・教職員関係

苫小牧民報

日付	見出し
4月2日	35人が新生活スタート 北洋大で入学式
4月15日	前期授業の聴講生募集 語学や一般教養など22日まで
4月18日	まちかど発信 西岡翔太さん
4月26日	アジア7大学と交流協定締結 年度内20校目指す
5月20日	道栄高留学生に日本語指導 北洋大、国内での進学後押し
5月31日	面接、試験対策に本腰 大学生ら採用選考あす解禁
6月15日	キャンパスに留学生戻る 北洋大、入国規制緩和で
6月23日	2日に公開イベント 防災展示や講演、キッチンカー
7月7日	防災テーマに有事の備え学ぶ 北洋大、市民公開イベント
7月19日	北洋大、22日までオンライン授業 新型コロナ学生7人感染で
8月13日	北洋大で読み聞かせ 18日「気軽に遊びに来て」
8月22日	大学図書館で読み聞かせ楽しむ 北洋大学と市立中央図書館
8月26日	北洋大にカフェテリア開店 市民の利用も歓迎
9月2日	犬猫の保護活動身近に 4日に北洋大でペットイベント
9月5日	保護猫の飼い主ら交流 北洋大でチャリティーイベント
9月9日	苫小牧市内でインターンシップ
10月24日	まちかど発信 馮一峰さん
10月24日	印象良くする技術学ぶ 北洋大学で身だしなみ、メイクセミナー
11月4日	北洋大にeスポーツクラブ 個人、チームで大会出場目指す
11月5日	犬猫の保護活動知って 譲渡会申し込み相次ぐ
12月5日	言語習得の仕組み学ぼう 北洋大で公開講座
12月10日	元スマイルJ 大澤さん講話
12月10日	スマホで日本語文章作成 リソグラの開発テストに協力
12月13日	長期の就業体験開始
1月14日	大学入学共通テスト 大一番「自信もって」

- 1月14日 北洋大学教授 山田利一さん 海外への憧れ 入り口は映画
- 1月17日 最初の関門440人挑む 共通テスト 東胆振・日高でも始まる
- 1月21日 北洋大 願書受け付け中
- 1月24日 北洋大 図書館前を子どもに開放
- 1月28日 北洋大 冬休みで3月末まで休業 カフェテリア「ウエステラ」

北海道新聞

日付	見出し
7月1日	市民の参加促す責任 西川祥一さん
9月5日	犬猫の保護活動身近に 市内 札幌の団体がイベント
9月8日	北洋大にカフェ開業 市民の利用可



北洋大学紀要 投稿規程 (2022 年 7 月)

1. 投稿論文は、複数の査読者による査読結果を基に研究・図書・情報委員会が任命する編集委員会の審査を経て受理する。
2. 当紀要誌は、北洋大学における多文化間の理解や学際的研究の方法の発展を目指す研究成果の投稿を受け付ける。
3. 投稿資格は、本学専任及び非常勤講師に限る。ただし、編集委員会が認めた場合は、この限りではない。
4. 同一論文を異なった投稿先に同時に投稿してはならない。
5. 同一号への掲載は、単著 1 編と筆頭著者ではない共著 1 編、あるいは、共著 2 編（そのうちの 1 編は筆頭著者ではないもの）までとする。
6. 論文執筆に際しては、以下の指示に従うものとする。
 - i. 使用言語は、原則として、日本語もしくは英語とする。また、母語以外の言語で執筆した場合、ネイティブ・スピーカーのチェックを受ける等、著者の責任においてミスのないように努めること。
 - ii. 論文は、未発表のものに限ること。ただし、口頭発表したもので、その旨を記してある場合は、この限りではない。また、博士論文や修士論文、ならびに、その一部を論文として投稿することは認めない。なお、論文の内容・文体などについては、多様な専門分野の研究者のリーダービリティに十分に應えるものとする。
7. 論文の体裁については、執筆要領を参照すること。
8. 著者校正は、原則として、初校のみとし、印刷上のミスに限るものとする。
9. 著者は、本刷 3 部を受け取ることができる。ただし、抜き刷りについては、希望により別途著者負担で作成するものとする。
10. 完成した原稿は電子メール添付にて、件名を「氏名_紀要第〇号投稿」とし、北洋大学図書館 (tocho@hokuyo.ac.jp) 宛に送付すること。投稿の締め切りは、11 月末日の日本時間 23:59 とする。添付する原稿のファイル名は「氏名_タイトル_年月日 8 桁」とすること。
11. 諸事情により予定号に掲載できない場合は、編集責任者の判断で次号に回す場合がある。

北洋大学紀要 執筆要領 (2022 年 7 月)

1. 使用ソフト、枚数・用紙設定に関して

- i. 執筆には、原則として、MS Word (98 以降) をご使用ください。
- ii. 原稿は 原則として、A4 横書き、注・参考文献・図表を含めて 10～15 頁を目処とします。
- iii. 原稿のページ設定については、ワードの初期設定 (「ページレイアウト」→「ページ設定」) 文字数と行数の設定 [44 字×36 行]、余白 [上 35 ミリ、下・左・右 30 ミリ] でお書きください。*既存の Word 文書フォーマットを使用場合は、[44 字×36 行] の設定が適用されないことがあり、文字数超過例が多いです。できる限り新規作成してください。
- iv. 編集の都合上、ページ数は挿入しないでください。
- v. 原稿のファイルは、原則として、Word 形式および PDF 形式の両方でご提出ください。
- vi. 原稿の Word ファイルは必ず互換モードで保存の上、お送りください。

2. タイトルと著者名

- i. ページの最初にタイトルをお書きください。その下に著者名と () 内に所属機関をお書きください。
- ii. タイトルと著者名のフォントは、和文 MS ゴシック・英文 Times New Roman にて作成してください。
- iii. タイトルは、14 ポイント、中央揃えにしてください。ボールド体 (太字) は使わないでください。
- iv. 著者名は、姓 (氏) と名の間にスペースを一文字 (全角) 空け、12 ポイント、中央揃えにしてください。ボールド体 (太字) は使わないでください。
- v. 和文の場合、日本語でタイトル・著者名・所属機関名を記した後に、1 行をあげ、同じ順序で英語表記を付してください。ポイントに関しては和文に準じてください。
- vi. タイトルと著者名 (所属機関) の間は行をあげず、著者名と第 1 章のタイトルの間は 1 行あけてください。
- vii. 所属機関の書き方
所属先は基本的に 1 つのみとします。(何らかの事情があって、2 つ以上の所属を書かなければならないときは、注をご利用ください。)

3. 要旨

- i. 和文の場合、要旨は日本語以外 (英語・中国語など) で作成してください。
- ii. 英文の場合、要旨は英語以外 (日本語・中国語など) で作成してください。

- iii. 要旨の分量は、日本語・中国語の場合 400 字以内、英語など欧文では 200 語以内で作成してください。

4. 章・節のタイトルのフォント

- i. 章立ては、1. 2. … (半角) としてください。その下にセクション (節) を立てる場合は、1.1. 1.2. 1.2.1. 1.2.2. と半角数字を半角ピリオドで区切ってください。
- ii. 章のタイトルは MS ゴシック・12 ポイント、英数字の場合は Times New Roman・半角・12 ポイントでお書きください。ボールド体 (太字) は使わないでください。
- iii. 節のタイトルは MS ゴシック・10.5 ポイント、英数字は Times New Roman にしてください。ボールド体 (太字) は使わないでください。
- iv. 各章のはじまりは 1 行あけ、その下のセクションは行をあげないでお書きください。

5. 本文のフォント

【和文】

- i. 本文は MS 明朝・10.5 ポイント、英数字の場合は Times New Roman・半角・10.5 ポイント、両端揃えでお書きください。
- ii. 句読点は、「。」(句点) と「、」(読点) を使用してください。句点 (。) 読点 (、) ともに全角を使用してください。
- iii. 本文中の括弧は全角を使用してください。

【英文】

- iv. 本文は Times New Roman・半角・10.5 ポイント、両端揃えでお書きください。
- v. 句読点は、「.」(ピリオド) と「,」(コンマ) を使用してください。「.」(ピリオド) 「,」(コンマ) ともに半角を使用してください。
- vi. 本文中の括弧は半角を使用してください。

6. 図と表

- i. 図・表の上下に 1 行あけてください。
- ii. 表のキャプションは表の上に、図のキャプションは図の下に記載してください。図・表のキャプションの文字は MS 明朝 10.5pt・半角英数字 Times New Roman・中央揃えでお書きください。
- iii. 表中の文字は MS 明朝 10pt・英数字 Times New Roman でお書きください。

7. 注や参考文献など

- i. 注や参考文献のタイトルは MS ゴシック・10.5 ポイントでお書きください。
- ii. タイトル以外の部分は 9 ポイントでお書きください。ポイントを除いた書式については執筆者の専門分野に一任します。

8. 末尾連絡先

注や参考文献を含めた論文の最終行の後に1行あけて、著者名とメールアドレスを右揃えでお書きください。著者名は、姓(氏)と名の間スペースを一文字(全角)空け、MSゴシック・10.5ポイントでお書きください。その右隣の()内に、連絡用メールアドレスを英数字(Times New Roman・半角・10.5ポイント)でお書きください。括弧は全角にしてください。

編集後記

『北洋大学紀要』第2号発行に際し、北洋大学としての発展途上の中でスケジュールや執筆要領等で、執筆者・査読者の皆さま、そして北斗プリント社、特に山崎隼和さまには大変お手数をおかけいたしました。それにも関わらず皆さまご理解ご協力いただいたこと、改めて多謝申し上げます。

本号は、言語や文化、教育、経済など幅広い研究分野より計10本の論文・実践報告が集まりました。大きな学会誌では雑誌編集方針の都合上、議論を深めることが難しいトピックなども含め紀要ならではの意義が見出された号になったのではと感じます。この紀要発行により、地方大学として地域へのさらなる貢献に繋がることを祈っております。

(T・F)

北洋大学紀要 第2号

令和5(2023)年3月31日印刷発行

編集発行

北洋大学

〒059-1266 苫小牧市錦西町3丁目2番1号
電話 0144-61-3111

印刷

株式会社北斗プリント社

BULLETIN OF HOKUYO UNIVERSITY

Vol. 2

(Part 1)

Articles

A Study of the relationship between branching structure and pitch pattern in Mongolian: The cases of noun phrases beginning with a numeral or a pronoun	◀ UETA Naoki ▶	3
Recommendations for Elementary English Language Education	◀ OKASAKO Akira ▶	17
Division of Roles between AI and Language-Teacher	◀ OKUMURA Kuniyo ▶	27
The Medium and Small-Sized Enterprises which Supports Local Economy	◀ TAKINAMI Yoshinobu ▶	41
Labeling of Complex Noun Phrase and Numeral Phrase in Mandarin Chinese	◀ FENG Yifeng ▶	53
A study on the Semantic Function of “made-aru” in Young People’s Words. — Based on a survey of usage cases using Twitter. —	◀ FUJITA Koki ▶	69
A Study of the Use of Honorifics in Human Relationships in Modern Japanese Society — Through Conversation Examples in Novels and TV Drama Scenarios in the Early Heisei Period —	◀ FUKUMOTO Tatsuya ▶	81
A Note on vP Domain	◀ FUKUSHIMA Tsuyoshi ▶	97
Hollywood as Jewish Culture	◀ YAMADA Toshikazu ▶	113
Reports and Remarks		
“SDGs” and Practical Examples of Companies and Regions in Hokkaido	◀ NAKATA Kazunori ▶	129
(Part 2) What’s New at Hokuyo University		143